取扱説明書
デジタル複合機

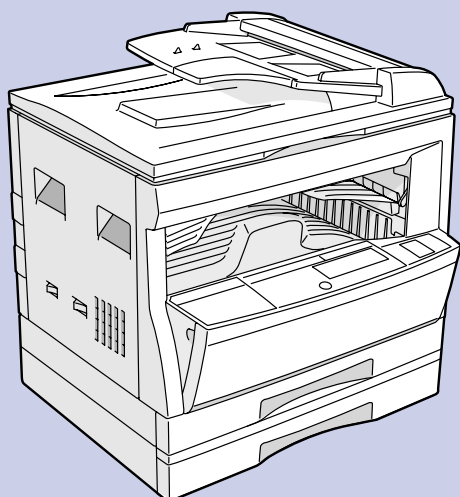
形名 AR-F161
AR-F201

コピー機能編

ページ

このたびはシャープデジタル複合機AR-F161／AR-F201をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。万一、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。

● お願い ●

- この取扱説明書（コピー機能編）は内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気付きのことがありましたら、もよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および別売品の使用誤りや、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠ **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

絵表示の意味

△ 記号は、気をつける必要があることを表しています。
図の中には、具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⃠ 記号は、してはいけないことを表しています。
図の中や近くに、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、しなければならないことを表しています。
図の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

電源は15A以上、100Vの専用コンセント以外で使用しないでください。
また、タコ足配線はしないでください。
火災・感電の原因となります。

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常があるときは、使用しないでください。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そして、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

アース線を必ず接続してください。
アース線が接続されておらず、漏電した場合は火災・感電の原因となります。
なお、アース工事はお買いあげの販売店または電気工事店にご依頼ください。
（アース工事は有料です。）

機器のキャビネットは外さないでください。
内部には電圧の高い部分があり感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。
また、重い物をのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。

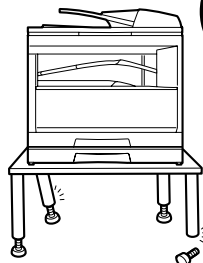
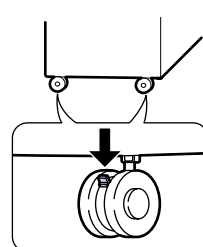
機器の上に水などの入った容器、または内部に入り込むおそれのある金属片を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

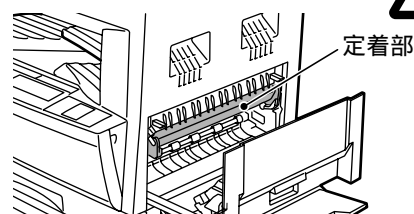
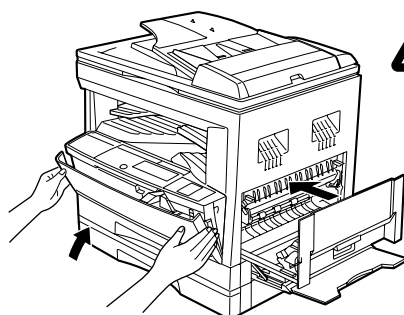
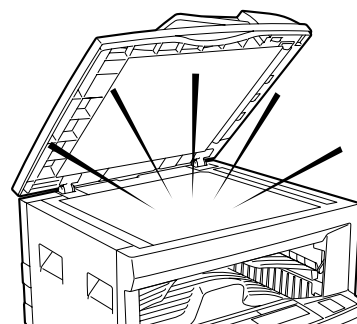
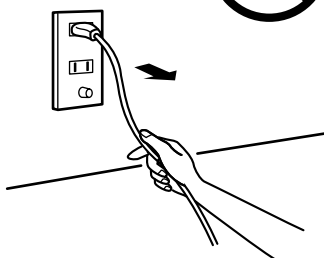
万一、金属片、水などが機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そしてお買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となります。

別売品の専用台をご使用のときは、車輪（前面2箇所）をロックしてください。
動いたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

定着部は高温になっています。
紙づまりの処置の際には、やけどをしないよう十分に注意してください。

紙づまりの処置やお手入れのときなど、前カバーや側面カバーを閉じるときは、指をはさまないようにしてください。

光源を直視しないでください。
目を痛めるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。
電源コードを引っぱるとコードが芯線の露出、断線など傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

機器を移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

トナーまたは、トナーの入った容器（トナーカートリッジ）を火中に投じないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。

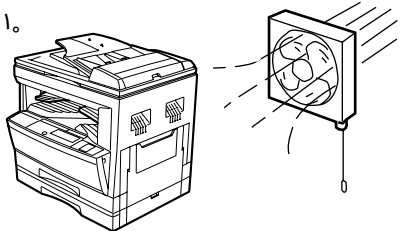
設置場所について

本機の性能は、設置場所の環境条件により影響を受けます。次のような場所には設置しないでください。

●高温・高湿・低温・低湿の場所（ヒーター、加湿器、クーラーなどの近く）

● 用紙が湿ったり、機器内部に露が発生し、紙づまりやコピー汚れの原因となります。
（使用環境：温度15℃〜30℃、湿度20%〜85%）
なお、超音波式の加湿器には加湿器用純水器をご使用ください。水道水等を給水するとミネラル成分も噴出されるため、機器内部に汚れが付着し、コピー汚れの原因となります。

●通気性の悪い場所

● コピー中、機器内部でオゾンが発生します。その量は人体に悪影響をおよぼさないレベルですが、大量にコピーをとる場合には臭気が気になることがありますので、窓や換気扇のある部屋に設置し、ときどき換気してください。

※窓のそばに設置される場合は直射日光の当たらない場所をお選びください。

●壁に近い場所

● 機器の後部は10cm以上壁などから離して設置し、ゆとりをもって操作のできるスペースを取ってください。

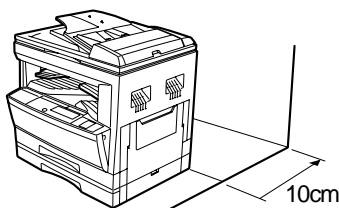
●ホコリの多い場所

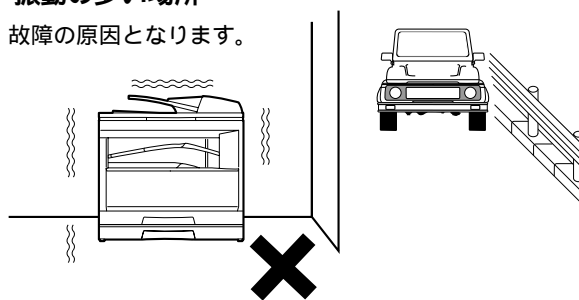
● 機器内部にホコリが入ると、コピー汚れや故障の原因となります。

●直射日光の当たる場所

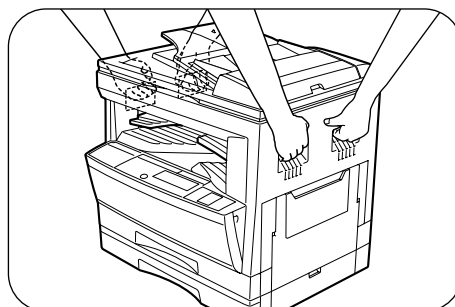
● プラスチック部品が変形したり、コピー汚れの原因となります。

●アンモニアガスの充満している場所

● ジアゾコピーなどのそばに置くと、コピー汚れの原因となることがあります。

●振動の多い場所

● 故障の原因となります。

● お願い ●

● **本機の電源プラグを照明器具と共通回路のコンセントに差し込んでご使用になると、ランプのチラツキが生じる場合があります。本機はランプとつながっていない専用のコンセントに差し込める場所に設置してご使用ください。**

● **機器を移動するときは、必ずお二人で機器の両側面にある移動用取っ手を両手でしっかり持って運んでください。**

コピー禁止事項

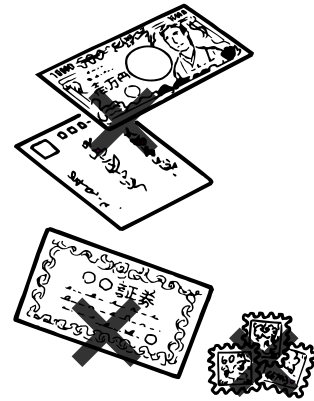
コピーを所有するだけでも法律で罰せられることがあります。

(1)法律で禁止されているもの

① 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方債証券などはコピー禁止です。たとえ見本の印が押してあっても、コピーをしてはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

② 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止です。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

③ 未使用郵便切手、官製ハガキの類は政府の許可を受けないでコピーをとることは禁止されています。
（郵便切手類模造等取締法）

④ 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙類などのコピーも禁止です。
（印紙等模造取締法）

(2)コピーに注意を要するもの

① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしない方がよいと考えられています。

(3)著作権にも注意すること

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図画、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外はコピーを禁止されています。

高調波ガイドライン適合品

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

おもな特長

1 快速レーザーコピー

●ファーストコピー・タイム7.2秒（通常モード※）を実現しています。

●毎分16枚（AR-F161）／20枚（AR-F201）のコピーがそれぞれでき、スピーディーな作業を行うことができます。

※省エネルギー機能（☞ 15ページ）がはたらいていない状態

2 デジタル高画質

●600dpiの高画質コピーができます。

●自動濃度調整に加え、好みの濃度を5段階に調節できる手動モードを搭載しています。

●白黒の写真、カラー写真など原稿の微妙な中間調に対しても、より鮮明にコピーできる写真コピー機能を搭載しています。

3 充実したコピー機能

●ズーム機能の採用により、50%〜200%まで1%ごとに151段階の倍率を選択できます。

●最大99枚の連続コピーが可能です。

●トナーセーブモードを設定することにより、トナーの消費量を通常より約10%抑えてコピーすることができます。

●本などの見開き原稿を左右1ページずつ連続コピーできる1セット2コピー機能や、原稿の白い部分と黒い部分を反転させてコピーできる白黒反転コピー機能など便利な機能を搭載しています。

4 1スキャンマルチコピー機能※（AR-F201のみ）

●原稿を1回読み取るだけで最高99枚まで連続コピーすることができます。
同じ原稿に対して指定した枚数分だけスキャンを繰り返す従来方式に比べ、コピー時の動作音を抑えることができ、同じ原稿を大量にコピーしたいときに便利な機能です。

※メモリーを搭載して、その中に1ページ分の読み取った内容を記憶してからコピーする機能

5 ファクス機能

●普通紙のスーパーG3レーザーファクス機能を搭載しています。（☞ ファクス機能編取扱説明書）

6 レーザープリンタ機能（オプション）

●別売品のプリンタ拡張キットを装着することにより、レーザープリンタとしても使用することができます。

7 環境にやさしい設計

●コピー受けを機器内部に配置し、省スペース化を実現しています。

●省エネルギー機能搭載により、待機中の消費電力を少なく抑えます。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、次のような表記のしかたをしています。

⚠警告 …… 特に気をつけていただきたいことや、無視すると死亡事故や重傷を負うおそれがあることがらについて説明しています。

⚠注意 …… 気をつけていただきたいことや、ケガをする可能性があることがらについて説明しています。

お願い …… 制約事項や、紙づまりなどの不具合を避けることがらについて説明しています。

メモ ………… 関連する内容の情報、詳細、操作の補足などについて説明しています。

取消 ……… 操作を間違えたときなど、取り消す操作について説明しています。

取扱説明書の内容

この説明書は、コピー機能の使いかたおよびコピー機能とファクス機能に共通する用紙の補給、紙づまりのときの処理などについて説明しています。ファクス機能の使いかたについての説明は、別冊の取扱説明書［ファクス機能編］をご覧ください。

お使いになる前に

この製品をお使いいただく前の基本的な知識を説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

コピーする

標準的なコピーのとりかた、拡大・縮小コピーのとりかたなど、コピー機能の基本的な操作方法について説明しています。

便利な機能

目的に応じた機能について説明しています。必要な部分を選んでお読みください。

機器の管理

用紙の補給、清掃などの作業について説明しています。

こんなときは

紙づまりなど、使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明しています。

周辺装置の使いかた

電子ソートボード、給紙ユニットなどの別売品を取り付けたときの使いかたを説明しています。

知っておいていただきたいこと

この製品を使用するために知っておいていただきたい参考知識を説明しています。

付録

部門カウンターの設定などについて説明しています。必要に応じてお読みください。

もくじ

各部のなまえとはたらき

外　観

❶ **原稿セット台**
原稿はコピーしたい面を上向きにして、ここにセットします。（☞ 19ページ）

❷ **原稿ガイド**
原稿セットのとき、原稿サイズに合わせます。（☞ 19ページ）

❸ **原稿台**
原稿自動送り装置を使わないとき、このガラス面に原稿をセットします。（☞ 19ページ）

❹ **移動用取っ手**
本機を移動させるときにここを持って運びます。（☞ 3ページ）

❺ **保温ヒータースイッチ**
機器内部の結露や用紙の吸湿を防ぐヒーターのスイッチです。（☞ 15ページ）

❻ **電源スイッチ**
電源を入れる、または切るためのスイッチです。（☞ 14ページ）

❼ **操作パネル**
操作を行うキーや表示ランプなどが配置されています。（☞ 12ページ）

❽ **原稿給紙部カバー**
セットした原稿を給紙するローラーのカバーです。原稿づまりのときに開けます。（☞ 57ページ）

❾ **原稿出紙部**
原稿自動送り装置を使用中、コピーの終わった原稿はここから出てきます。

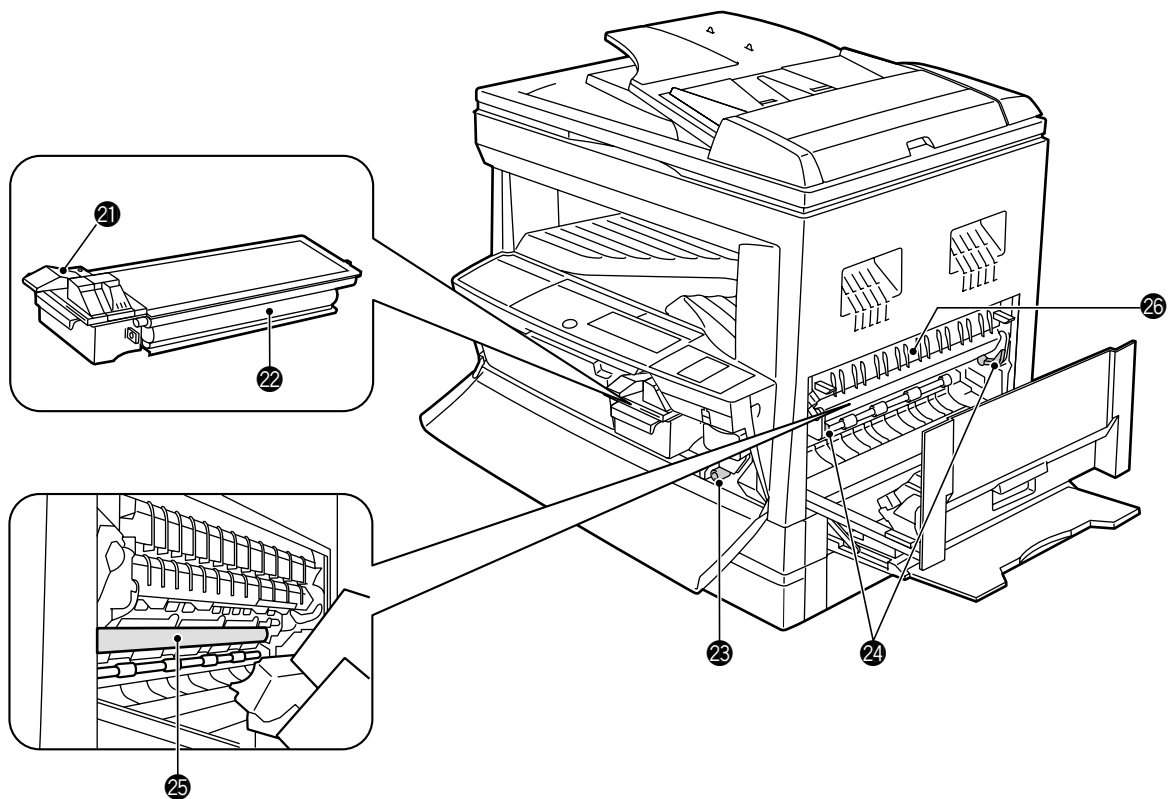
❿ **ジョブセパレーター**
受信したファクスの用紙を受けます。

⓫ **コピー受け**
コピーされた用紙を受けます。（☞ 21ページ）

⓬ **前カバー**
紙づまりの処置のときに開けます。（☞ 60ページ）

⓭ **トレイ**
コピー用紙がそれぞれ約250枚ずつ収納できます。（☞ 48ページ）

⓮ **側面カバー開閉用取っ手**
側面カバーを開くとき、この取っ手を押し上げながら開きます。（☞ 59ページ）

内　部

⑮ 原稿搬送部カバー
原稿搬送部の紙づまりのときに開けます。
（☞ 57ページ）

⑯ 側面カバー
紙づまりの処置のときに開けます。（☞ 59ページ）

⑰ 手差しガイド
手差しコピーのとき、用紙のサイズに合わせます。
（☞ 30ページ）

⑱ 手差しトレイ
手差しコピーのとき、ここから用紙を挿入します。
（☞ 30ページ）

⑲ 延長トレイ
手差しトレイにB4、A3サイズの用紙をセットするときに延ばします。（☞ 30ページ）

⑳ チャージャークリーナー
転写チャージャーを清掃するときに使います。
（☞ 54ページ）

㉑ ロック解除レバー
トナーカートリッジを交換する際、このレバーを押しながら、引き出します。（☞ 52ページ）

㉒ トナーカートリッジ
トナーが入っています。（☞ 51ページ）

㉓ 紙送りノブ
紙づまり処置のときに回して、つまった紙を取り除きます。（☞ 60、61ページ）

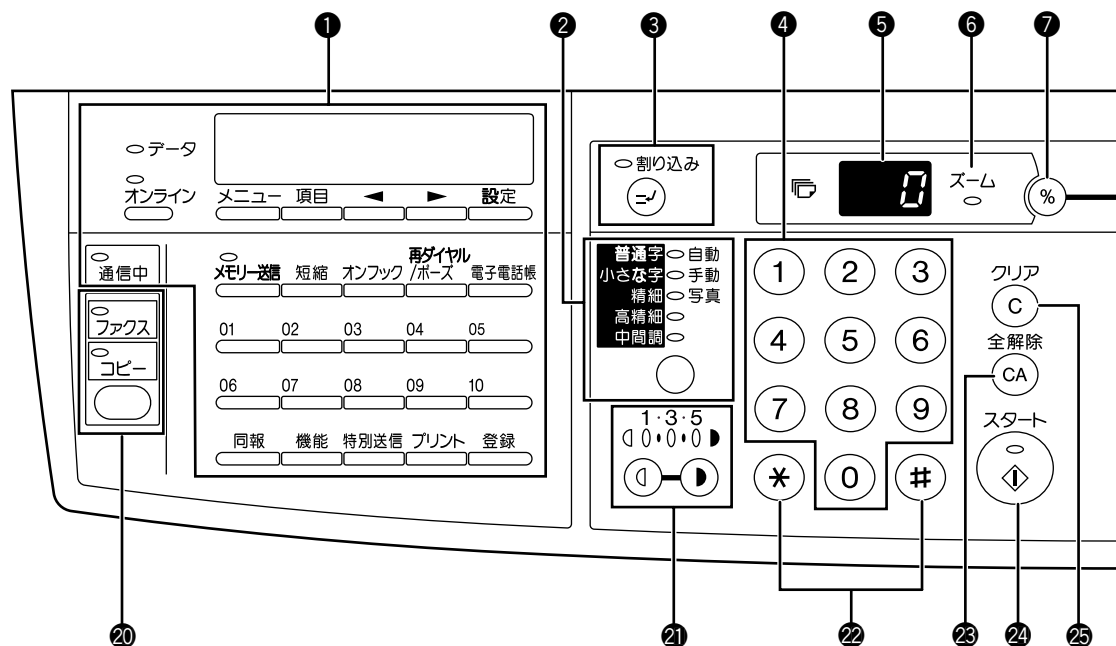
㉔ 定着部解放レバー
定着部の内部で紙づまりが発生したとき、レバーを押し下げて、つまった紙を取り除きます。（☞ 61ページ）

⚠注意

定着部は高温になっています。紙づまりを取り除くときは、定着部に触れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。

㉕ 感光体ドラム
表面に感光体を塗布したドラムです。この感光体上に画像が作られます。

㉖ 紙送りガイド**（☞ 62ページ）**

操作パネル

❶ **ファクス機能用キー群（☞ ファクス機能編）**

❷ **濃度切替キー／表示ランプ（コピーモード）**
画質切換キー／表示ランプ（ファクスモード）（☞ ファクス機能編）
自動濃度調整から、手動あるいは写真モードに切り替えるときに押します。
選択されているモードのランプが点灯します。
（☞ 23、24ページ）

❸ **割り込みキー／表示ランプ**
連続コピーの途中で割り込みコピーをするときに押します。（☞ 40ページ）

❹ **数字キー**
コピー枚数を設定します。（☞ 22ページ）
また、ユーザープログラムの機能／設定コードを入力するときに使います。（☞ 44ページ）
連続コピー中に0キーを押すと、コピー済みの部数が表示されます。

❺ **コピー枚数表示部**
設定したコピー枚数が表示されます。
その他、拡大・縮小倍率、ユーザープログラムの機能／設定コード、故障したときのトラブルコードが表示されます。

❻**ズームランプ**
拡大・縮小倍率が設定されているときに点灯します。
（☞ 27ページ）

❼ **%キー**
このキーを押すと、コピー枚数表示部に倍率が表示されます。（☞ 27ページ）

❽ **ズームキー**
50%から200%の範囲で1%きざみに拡大・縮小倍率を設定するときに押します。（☞ 27ページ）

❾ **用紙サイズ設定キー**
トレイの用紙サイズを設定するときに押します。（☞ 50ページ）

❿ **部門カウント終了キー**
部門カウンターを設定してコピーを使用中、コピーを終了したあと、暗証番号入力待ち状態に戻すときに押します。（☞ 17ページ）

⓫ **予熱ランプ**
消費電力を抑える省エネルギー機能がはたらくと、ランプが点灯します。（☞ 42ページ）

⓬ **警告表示ランプ**
［ ］　メンテナンスランプ（☞ 56ページ）
［ ］　トナーカートリッジ交換ランプ（☞ 51、56ページ）
［ ］　ミニメンテナンスランプ（☞ 56ページ）
［ ］　用紙補給ランプ（☞ 48、56ページ）
［ ］　紙づまりランプ（☞ 56、57、79ページ）

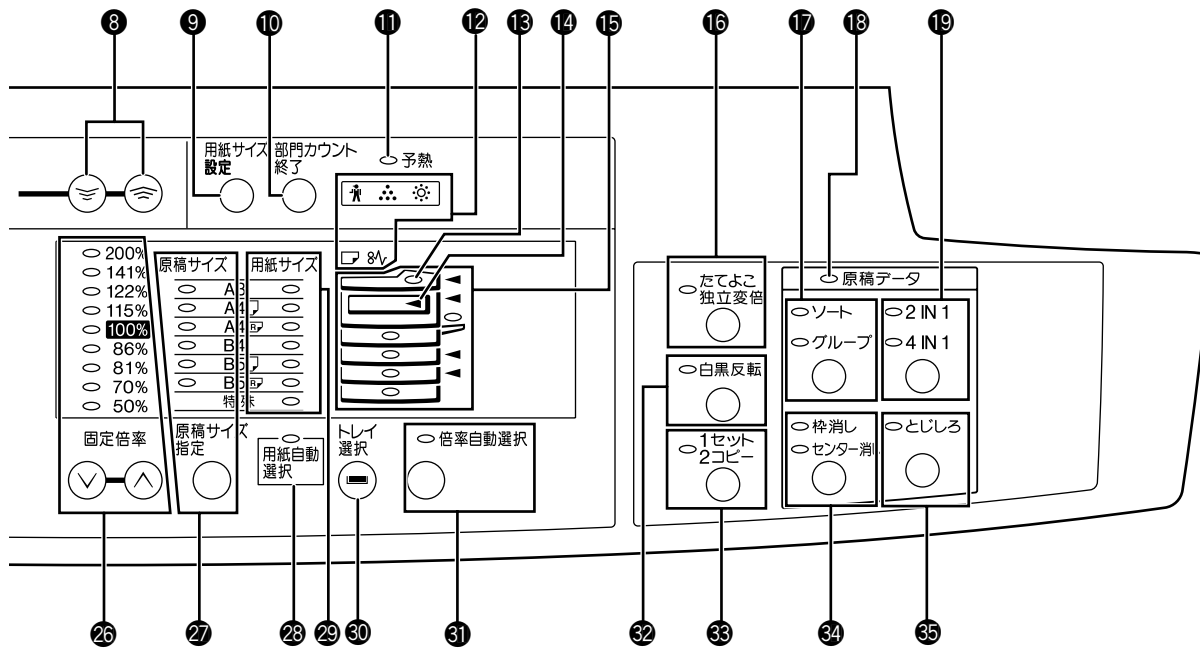
⓭ **原稿送り表示ランプ**
原稿自動送り装置に原稿がセットされたときに点灯します。（☞ 19ページ）

⓮ **満杯検知表示ランプ**
ジョブセパレーター（上トレイ）に100枚をこえる用紙が排紙されたときにランプが点灯します。

⓯ **トレイ位置／紙づまり位置表示ランプ**
選択されているトレイを表示します。（☞ 31ページ）
また、紙づまり箇所を◄で点滅表示します。
（☞ 57、79ページ）

⓰ **たてよこ独立変倍キー／表示ランプ**
たてよこ別々の倍率で拡大・縮小コピーするときに押します。
機能がはたらいているときにランプが点灯します。
（☞ 38ページ）

⓱ **ソート/グループキー／表示ランプ**
別売品の電子ソートボード装着時のみ
ソート／グループのモード（状態）を選択するときに押します。
選択されているモードの表示ランプが点灯します。
（☞ 66ページ）

⓲ **原稿データランプ**
別売品の電子ソートボード装着時のみ
読み込んだ原稿データでメモリーがいっぱいになったときに点滅します。（☞ 67ページ）

⑲ 2 IN 1 / 4 IN 1キー／表示ランプ

別売品の電子ソートボード装着時のみ

2 IN 1／4 IN 1のモード（状態）を選択するときに押します。
選択されているモードの表示ランプが点灯します。
（☞ 69ページ）

⑳ モード切替キー／表示ランプ

コピー機能（コピーモード）とファクス機能（ファクスモード）を切り替えるときに押します。（☞ 16ページ）

㉑ 濃度調整キー／表示ランプ

手動モードまたは写真モードで、コピーの濃さを調節するときに押します。
選択されている濃さのランプが点灯します。
（☞ 23、24ページ）

㉒ ⁎キー／♯キー

コピー機能では使用しません。

㉓ 全解除キー

初期状態に戻したいときに押します。（☞ 14ページ）

㉔ スタートキー

コピーをとるときに押します。（☞ 20ページ）
また、オートパワーシャットオフモードから初期状態に戻すとき、ユーザープログラムを設定するときに押します。

㉕ クリアキー

設定したコピー枚数を消去するときや、連続コピーを中止するときに押します。（☞ 20ページ）
ユーザープログラムの設定中、入力を訂正するときに押します。

㉖ 倍率選択キー／表示ランプ

固定倍率を選択するときに押します。
選択されている固定倍率が点灯します。（☞ 27ページ）

㉗ 原稿サイズ指定キー／表示ランプ

原稿サイズを選択するときに押します。
選択されている原稿サイズが点灯します。

㉘ 用紙自動選択表示ランプ

用紙自動選択機能がはたらいているときに点灯します。
（☞ 21ページ）

㉙ 用紙サイズ表示ランプ

選択されている用紙のサイズを示します。

㉚ トレイ選択キー

コピーしたい用紙が入っているトレイを選択するときに押します。（☞ 25、31ページ）

㉛ 倍率自動選択キー／表示ランプ

拡大・縮小倍率を自動選択するときに押します。
機能がはたらいているときにランプが点灯します。
（☞ 25ページ）

㉜ 白黒反転キー／表示ランプ

白い部分と黒い部分を反転させてコピーするときに押します。
機能がはたらいているときにランプが点灯します。
（☞ 37ページ）

㉝ 1セット2コピーキー／表示ランプ

見開きページを左右別々にコピーするときに押します。
機能がはたらいているときにランプが点灯します。
（☞ 35ページ）

㉞ 枠消去キー／表示ランプ

別売品の電子ソートボード装着時のみ

枠消し／センター消しのモード（状態）を選択するときに押します。
選択されているモードのランプが点灯します。
（☞ 74ページ）

㉟ とじしろキー／表示ランプ

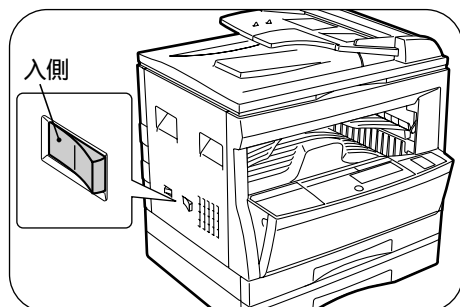
別売品の電子ソートボード装着時のみ

とじしろを作ってコピーするときに押します。
機能がはたらいているときにランプが点灯します。
（☞ 72ページ）

メモ　ファクス機能で使用するキーと表示ランプについては、ファクス機能編の「操作パネル」（☞ 1-4ページ）を参照してください。

電源を “ 入れる ”・“ 切る ”

電源を入れるとき、または切るときは、本機左側面にある電源スイッチを使います。

電源を “ 入れる ”

1 **電源スイッチを “ 入 ” 側にする**

約35秒でコピーできる状態になります。
コピーできる状態になるまでのウォームアップ中のあいだは予熱ランプが点滅します。（コピーできる状態になると消えます。）
ウォームアップ中でもコピー設定の操作は行えます。
コピーモードとファクスモードの切り替えは、モード切替キーを押します。（☞ 16ページ）

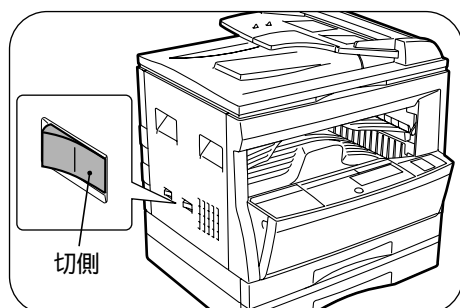
メモ 電源を入れたとき、コピーモードになるかファクスモードになるかは、前回電源を切った直前のモードと同様になります。コピーモードで電源を切ったときはコピーモード、ファクスモードで電源を切ったときはファクスモードの状態になります。

メモ 全解除キー(CA)を押したときやコピーを終了したあと、約1分を経過したときも、「オートクリア（全解除）」がはたらいて初期状態に戻るよう、工場出荷時に設定されています。オートクリアがはたらくと、前に設定していた機能はすべて解除されます。この機能はユーザープログラムで設定を変えることができます。（☞ 42ページ）

メモ 電源を入れたあと、コピーやファクスをしない状態で一定時間が経過すると自動的に消費電力を抑える状態に入るよう、工場出荷時に設定されています。この機能はユーザープログラムで設定を変えることができます。（☞ 42ページ）

電源を “ 切る ”

● お願い ●

- **ファクシミリとして使用している場合は電源スイッチを切らないでください。電源スイッチを切ると相手先からのファクシミリ受信ができなくなります。**

1 **動作中ではないことを確認し、電源スイッチを “ 切 ” 側にする**

動作中に電源スイッチを切ると、紙づまりなどが発生する場合があります。また、設定されていた機能はすべて解除されます。

動作中でないことは、次のことを確認してください。

【コピーモード】

●スタートキーのランプが点灯している。（初期状態）
●予熱ランプが点灯している。（プレヒートまたはオートパワーシャットオフ状態）（☞ 42ページ）

【ファクスモード】

●メッセージ画面が下記の表示になっている。（初期状態）

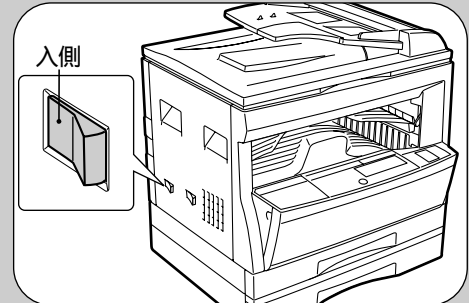
```
05-07  FRI  06:30
ｿｳｼﾝ ﾃﾞｷﾏｽ       100%
```

●通信中表示ランプが消灯している。

保温ヒータースイッチについて

機器内部の結露やトレイ内の用紙の吸湿を防ぐ保温ヒーターが内蔵されています。
機器内部で結露が発生したり用紙が吸湿すると画質低下や紙づまりの原因となりますので、次のような場合はお使いにならないときも保温ヒータースイッチを“入”の位置にしておくことをお薦めします。（電源プラグをコンセントから抜くと、保温ヒーターがはたらきません。）

- 冬期間中の使用（暖房を入れた直後など急激な温度変化が起こる場所では、結露しやすくなります。）
- 梅雨期などの高湿時や高湿な地域での使用
- 夏期などの高温時は、保温ヒータースイッチを切ってご使用ください。

※ 別売品の1段給紙ユニットAR-DE5または2段給紙ユニットAR-DE6を装着している場合は、これらに内蔵されている保温ヒーターもこのスイッチで入/切できます。

省エネルギー機能

本製品は、お客さまの電力消費コストを節減するとともに、環境保全の観点から天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすための工夫として、次のような2つの省エネルギー機能を備えています。

- プレヒート
  待機状態のときの消費電力を少なくするため、設定された時間が経過すると自動的に定着部のヒーターの温度を下げて低消費電力状態にする機能です。

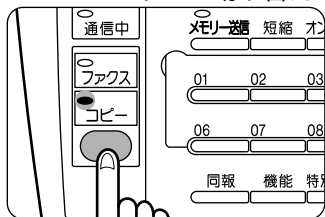
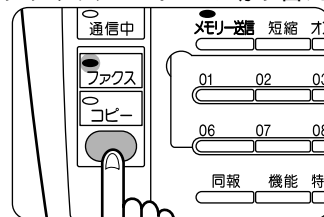
- オートパワーシャットオフ
  待機状態のときの消費電力を少なくするため、設定された時間が経過すると自動的に定着部のヒーターへの通電を切り、プレヒート状態よりさらに低消費電力状態にする機能です。（国際エネルギースタープログラムのガイドラインに準拠）
  〈これらの機能がはたらくまでの設定時間はユーザープログラムで変更することができます。（☞ 42ページ）〉

コピーモードとファクスモード

この製品には、コピーモードとファクスモードがあります。モード切替キーの上のコピー表示ランプが点灯しているときは、コピーモードで、複写機として使用することができます。ファクス表示ランプが点灯しているときは、ファクスモードで、ファクシミリとして使用することができます。
電源を入れたとき、前回電源を切ったときと同じモードになり、そのモードの初期状態になります。

■モードの選択

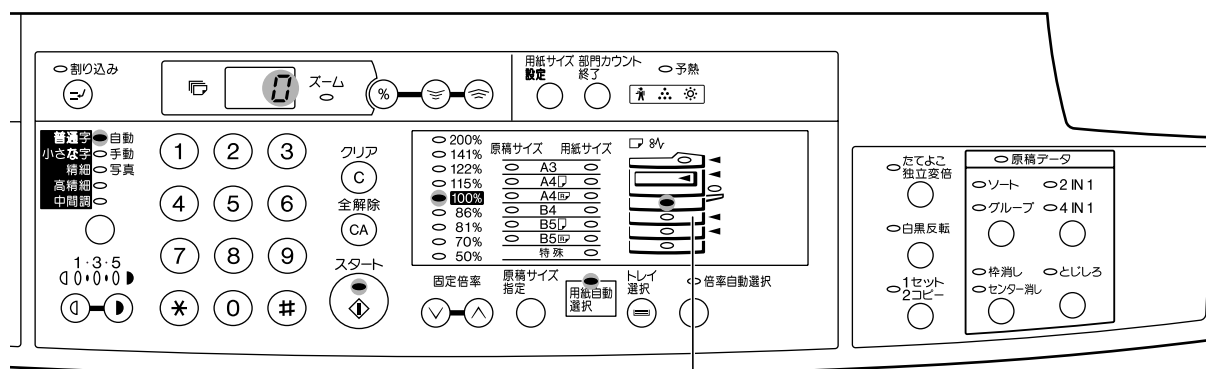
コピーモードとファクスモードとのあいだでモードを切り替えるには、モード切替キーを押します。選択されるモードに応じて表示ランプが点灯します。

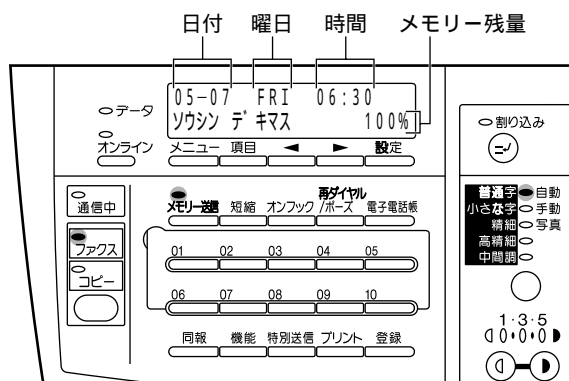
コピーモードへの切り替え

ファクスモードへの切り替え

メモ　コピー動作中は、モードを切り替えることはできません。ファクシミリ手動受信など、お急ぎの場合、クリアキーⓒを押してコピーを中止してから、モード切替キーを押してください。

メモ　ファクスモードでの処理が終了すると、初期状態に戻りますが、ファクスモードとコピーモードとのモード切り替えは起こりません。

メモ　**コピーの途中に割り込んでファクスモードに切り替えるには…**
モード切替キーを押します。コピー表示ランプが点灯した状態で、ファクス表示ランプが点滅します。（ファクス・モード予約）動作中のコピーが終了すると、ファクス表示ランプのみの点灯となり、ファクスモードに切り替わります。

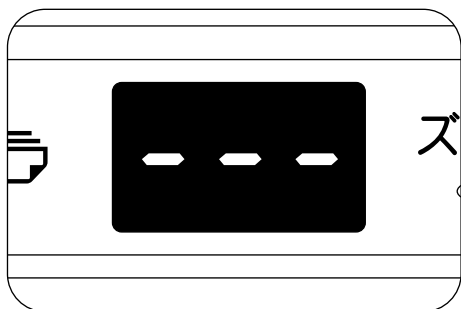
■初期状態の操作パネル

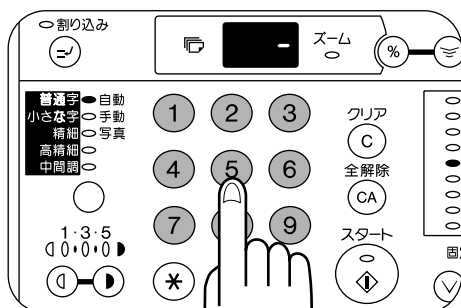
【コピーモード】次のランプが点灯します。

電源を「入」にした際の選択トレイは、前回電源を「切」にした時点で選択されていたトレイが選ばれます。

【ファクスモード】次のランプが点灯し、メッセージ画面に次のようなメッセージが表示されます。

部門カウンターが設定されている場合でのコピーのとりかた

コピー枚数表示部に3ケタの「ーーー」が点灯しているときは、部門※ごとにコピー枚数のカウントを行う部門カウンターが設定されています。

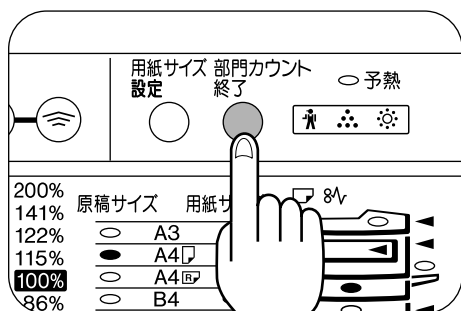
※ コピーモード・ファクスモードそれぞれ最大20部門まで設定することができます。ファクスモードでの部門カウンターの使いかたについては、ファクス機能編1-9ページを参照してください。

《この機能は、「部門カウンターの設定」（☞ 88ページ）を参照して設定してください。》

この場合はコピーをとる前に部門番号（3ケタの暗証番号）の入力が必要になります。（正しい部門番号が入力されないとコピーすることができません。）

次の手順で部門番号を入力し、コピーしてください。

1 数字キーであなたの部門番号（3ケタの暗証番号）を入力する

> **取消** **部門番号の入力を間違えたときには…**
> クリアキーⓒを押したあと、正しい部門番号を入力しなおしてください。

2 それぞれの手順に従い、コピーする

> メモ 割り込みコピー（☞ 40ページ）を行ったときは、割り込みコピーが終わったあと、必ず割り込みキーを押して割り込みコピー状態を解除してください。

3 コピーが終了したら、部門カウント終了キーを押す

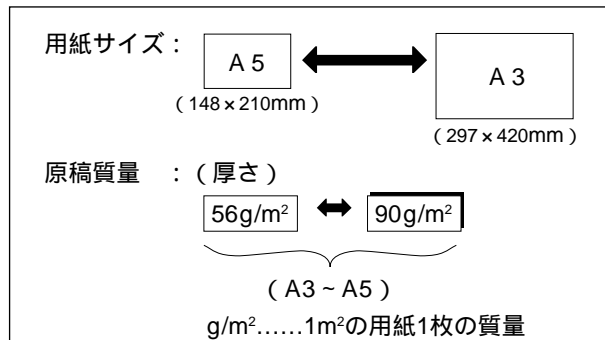
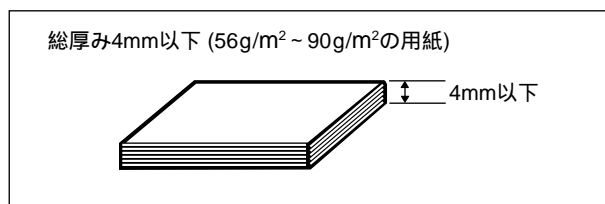
> メモ 紙づまりや用紙切れなどでコピー途中で止まっているときは、部門カウント終了キーを押しても終了しません。

原稿自動送り装置について

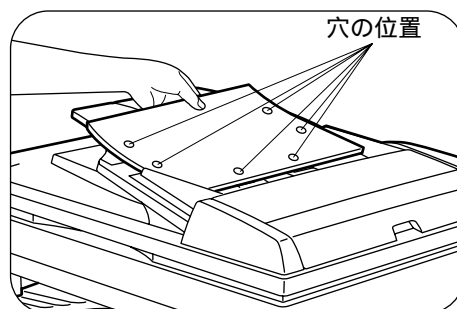
原稿自動送り装置を使用すると、原稿を自動的に搬送して連続コピーすることができます。1枚ずつ原稿をセットする必要がありませんので大量の原稿をコピーする場合など、時間が短縮できます。

使用できる原稿

同一サイズのとじていない原稿を最大30枚（規定の総厚み範囲内）セットできます。

●使用できる原稿のサイズと質量（厚さ）

●原稿セット台にセットできる原稿の量

左図の総厚みの範囲内で、最大30枚までセットできます。

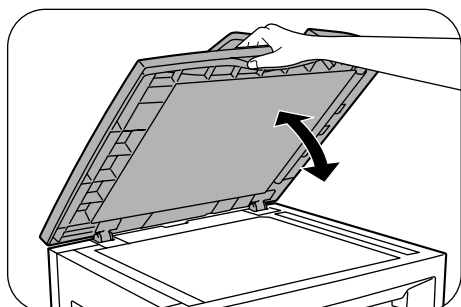
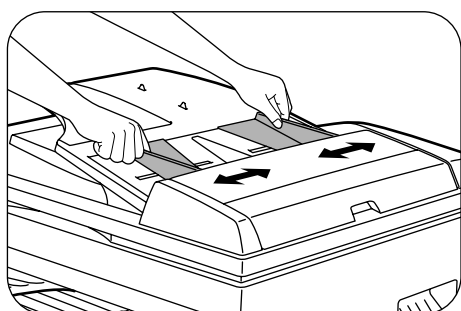
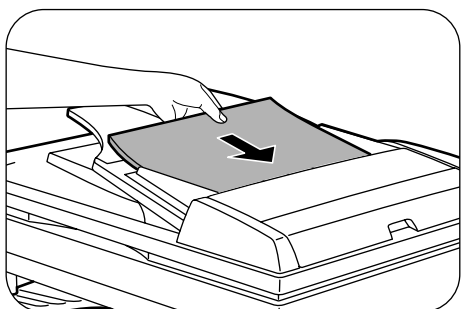
● お願い ●

- **規定のサイズ、質量（厚さ）の原稿を必ずご使用ください。規定外の原稿を使用すると原稿がつまることがあります。**
- **クリップやステープルの針は、原稿から取りはずしてセットしてください。**
- **ファイル用の穴のあいている原稿（2穴、3穴のファイル穴原稿）は、図のように穴位置が原稿挿入口側になるようにセットするか原稿ガイドに添うようにセットしてください。**

使用できない原稿

次のような原稿は使用できません。原稿がつまったり、コピー汚れの原因となります。

・OHPフィルムや第2原図用紙、トレーシングペーパーなど、透明あるいは半透明の原稿
・カーボン紙
・感熱紙
・しわ、折れのある原稿、破れている原稿
・貼り合わせ、切り抜きのある原稿
・ファイル用の穴がたくさんあいている原稿（2穴、3穴のファイル穴原稿は使用できます。）
・インクリボン（熱転写方式）で印刷した原稿（熱転写用紙など）

原稿セットのしかた

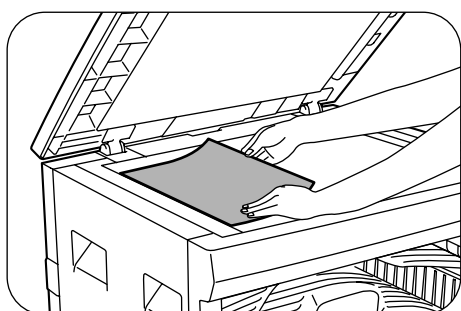
原稿自動送り装置を使うとき

1 **原稿自動送り装置を開き、原稿台に原稿が残っていないことを確認したあと、静かに原稿自動送り装置を閉じる**

2 **原稿セット台の原稿ガイドを原稿サイズに合わせる**

3 **原稿の端面をそろえ、コピーしたい面を上向きにして原稿セット台にセットする**

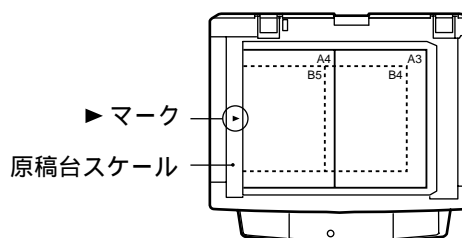
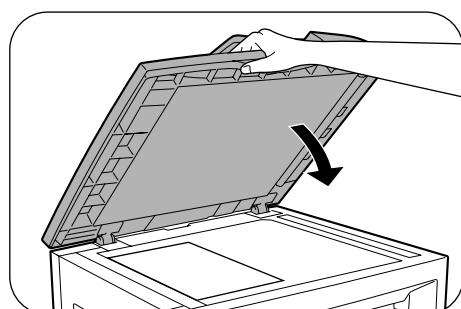
原稿セット台の奥まで確実に挿入します。

原稿がセットされると、原稿送り表示ランプが点灯します。

● お願い ●

- **異なるサイズの原稿を、一緒にセットしてコピーしないようにしてください。原稿づまりの原因となります。**

原稿台（ガラス面）を使うとき

1 **原稿自動送り装置を開き、原稿をセットする**

原稿はコピーしたい面を下に向け、原稿台スケールのサイズに合わせてセットしてください。（▶マークに原稿端面の中心を合わせてください。）

2 **原稿自動送り装置を静かに閉じる**

原稿自動送り装置を使ってコピーする

1 原稿を原稿セット台にセットする（☞ 19ページ）

検知したサイズの原稿サイズ表示ランプが点灯します。

2 原稿と同じサイズの用紙がセットされているトレイが自動的に選択される（A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズ用紙のみ）

用紙サイズ表示ランプが点灯しているか確認してください。

点灯していない場合は、原稿サイズにあった用紙がトレイにありません。

用紙を入れ替えるか、手差し給紙でコピーしてください。

（☞ 29、48ページ）

違うサイズの用紙にコピーするときは、トレイ選択キーで選択してください。

手差しトレイは、自動的には選択されません。

3 数字キーでコピー枚数を設定する

最大99枚まで設定できます。

1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーできます。

> **取消　設定枚数を間違えたときには…**
> クリアキーⓒを押してから、正しく設定しなおしてください。

4 スタートキーを押す

コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

> メモ　別の原稿をセットして同じ枚数をコピーできます。
>
> メモ　コピーが終わったあと、本機を放置しておくと、約1分で「オートクリア」がはたらき、初期状態に戻ります。（☞ 16ページ）
>
> メモ　コピー中に用紙切れなどで一時停止した場合、トレイを切り替えることができます。現在使用している用紙と同じサイズで同じ方向の用紙が設定されたトレイまたは手差しトレイを選択すると、コピーを再開することができます。

> **取消　連続コピーを中止するには…**
> クリアキーⓒを押すとコピーが止まり、枚数表示が「0」になります。

コピー受けについて

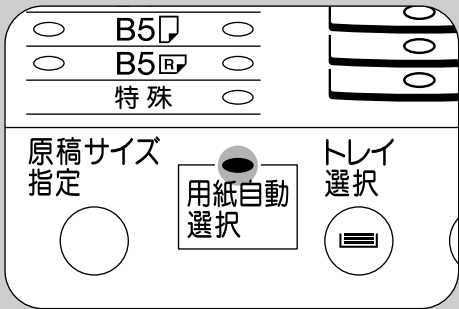
コピーされた用紙は機器内部に配置されたコピー受け（下段）に出てきます。（最大150枚まで収容可能）

● お願い ●

- **コピーされた用紙が出てくる部分には、センサーがあります。触れないでください。破損するおそれがあります。**

用紙自動選択機能について

セットした原稿（A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズのみ）と同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。

- 原稿をセットしたあと、倍率を指定すれば、倍率に適した用紙サイズが自動的に選択されます。
- 倍率自動選択機能を設定したり、トレイ選択キーでトレイを選択すると、用紙自動選択機能は解除されます。全解除キー(CA)を押すか、オートクリアがはたらくことにより再び機能します。
- ユーザープログラムにより設定を「解除」にすることができます。（☞ 42 ページ）

原稿台（ガラス面）を使ってコピーする

原稿自動送り装置で搬送できない原稿や厚手の原稿などは、原稿自動送り装置を開いて原稿台（ガラス面）にセットしてコピーすることができます。

1 原稿を原稿台（ガラス面）にセットする（☞ 19ページ）

検知したサイズの原稿サイズ表示ランプが点灯します。

2 原稿と同じサイズの用紙がセットされているトレイが自動的に選択される（A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズ用紙のみ）

用紙サイズ表示ランプが点灯しているか確認してください。

点灯していない場合は、原稿サイズにあった用紙がトレイにありません。

用紙を入れ替えるか、手差し給紙でコピーしてください。

（☞ 29、48ページ）

違うサイズの用紙にコピーするときは、トレイ選択キーで選択してください。

手差しトレイは、自動的には選択されません。

3 コピー枚数を設定する

最大99枚まで設定できます。

1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーできます。

> **取消 設定枚数を間違えたときには…**
> クリアキーⓒを押してから、正しく設定しなおしてください。

4 スタートキーを押す

コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

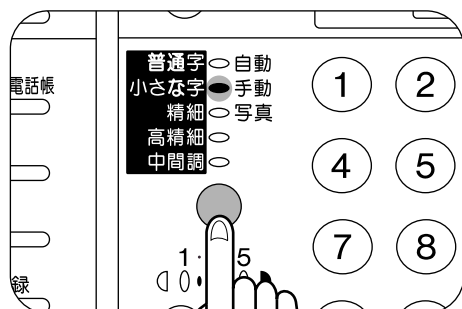
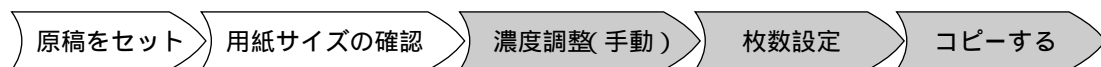
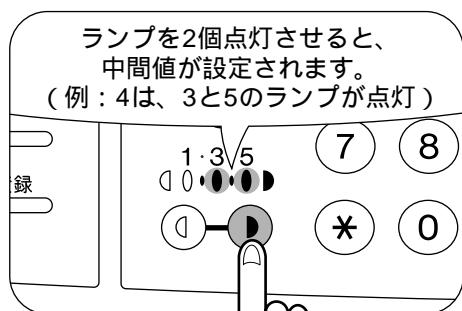
> メモ 別の原稿をセットして同じ枚数をコピーできます。
>
> メモ コピーが終わったあと、本機を放置しておくと、約1分で「オートクリア」がはたらき、初期状態に戻ります。（☞ 16ページ）
>
> メモ コピー中に用紙切れなどで一時停止した場合、トレイを切り替えることができます。現在使用している用紙と同じサイズで同じ方向の用紙が設定されたトレイまたは手差しトレイを選択すると、コピーを再開することができます。

> **取消 連続コピーを中止するには…**
> クリアキーⓒを押すとコピーが止まり、枚数表示が「0」になります。

> **メモ 本や、折り目、しわのある原稿をコピーするときには…**
> 図のように原稿自動送り装置を押さえながらコピーしてください。原稿自動送り装置がきっちりしまっていない状態でコピーすると、コピー画像に影が出たり画像がぼやけたりすることがあります。折り目、しわのある原稿はセットする前によくのばしてください。

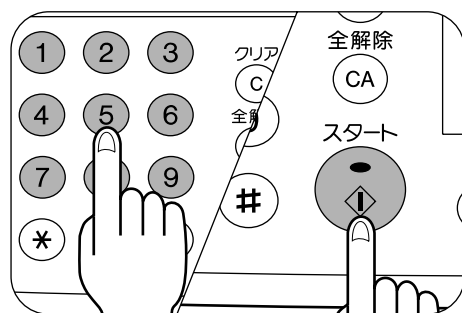
コピーを濃くする・薄くする　手動濃度調整

初期状態では、コピーする原稿に合わせて濃度を自動的に調整する「自動濃度調整」がはたらいています。
自分で濃度を調節したいときは、手動で5段階の濃度設定から選択することができます。
原稿をセットし、用紙サイズを確認したあと、次の手順でコピーします。

原稿をセット ＞ 用紙サイズの確認 ＞ 濃度調整（手動） ＞ 枚数設定 ＞ コピーする

1 濃度切替キーを押して、手動ランプを点灯させる

2 濃度調整キーを押して、コピー濃度を調整する

濃くとりたいときには、濃度調整キー◗を押して調整します。
薄くとりたいときには、濃度調整キー◖を押して調整します。
中間値（2、4）を設定すると、ランプが2個同時に点灯します。

濃度の数値の目安

1〜2	新聞などの濃い原稿
3	普通の濃さの原稿
4〜5	鉛筆書きや薄い色文字の原稿

3 コピー枚数を設定し、スタートキーを押す

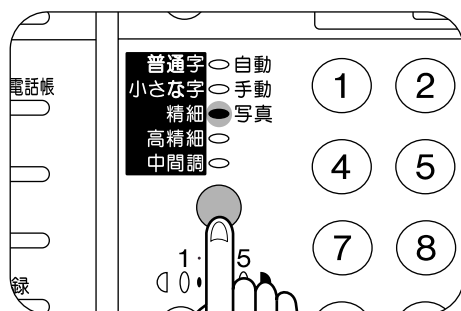
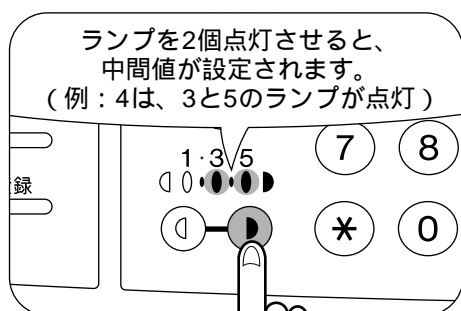
選択した濃度で原稿がコピーされます。

自動濃度調整に戻すには…
濃度切替キーを押し「自動」を選択します。

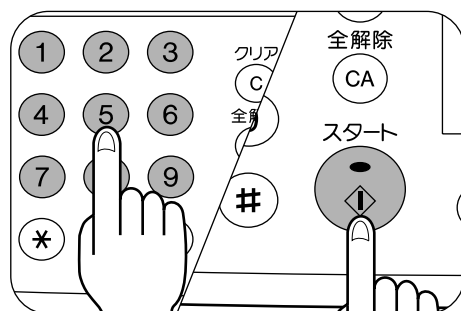
自動濃度調整の濃度レベルを調整することもできます。（☞ 46ページ）

写真などをコピーする　写真コピー

写真などの中間階調をより鮮明にコピーする機能があります。手動で5段階の濃度設定から選択することができます。
原稿をセットし、用紙サイズを確認したあと、次の手順でコピーします。

原稿をセット → 用紙サイズの確認 → 濃度調整(写真) → 枚数設定 → コピーする

1 濃度切替キーを押して、写真ランプを点灯させる

2 濃度調整キーを押して、コピー濃度を調整する

濃くとりたいときには、濃度調整キー◗を押して調整します。
薄くとりたいときには、濃度調整キー◖を押して調整します。
中間値（2、4）を設定すると、ランプが2個同時に点灯します。

3 コピー枚数を設定し、スタートキーを押す

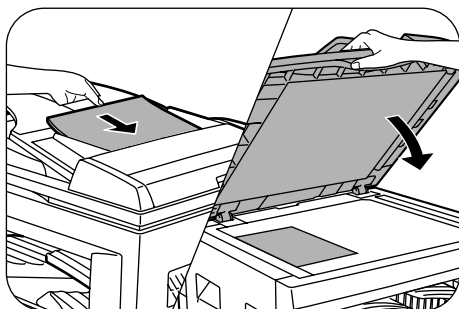
選択した濃度で原稿がコピーされます。

取消　自動濃度調整に戻すには…
濃度切替キーを押し「自動」を選択します。

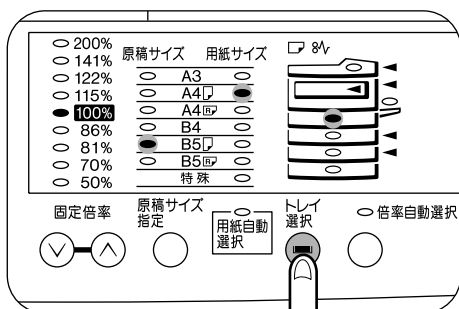
拡大・縮小コピーする

拡大・縮小コピーのとり方には次の2通りの方法があります。用途に応じた方法をお選びください。
●用紙サイズに合わせて自動で倍率を選択する方法 ………… 倍率自動選択（☞ 下記）
●倍率選択キー、ズームキーで任意の倍率を選択する方法 … 固定倍率／ズーム（☞ 27 ページ）

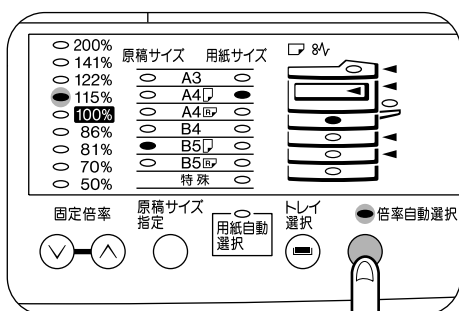
自動で倍率を選ぶ（倍率自動選択）

コピーしたい用紙サイズを指定すると、拡大・縮小倍率が自動的に選択されます。

1 原稿自動送り装置または原稿台（ガラス面）に原稿をセットする（☞ 19ページ）

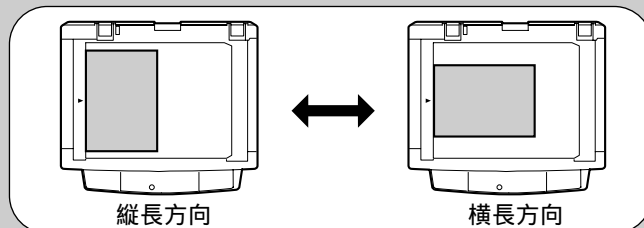
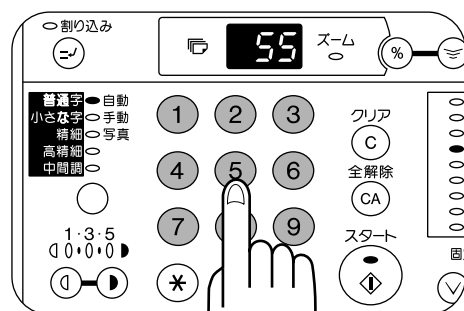
セットされた原稿サイズの表示ランプが点灯します。

メモ 倍率自動選択は、原稿サイズがA3、B4、A4、A4R、B5、B5Rのときのみ利用できます。
それ以外のサイズでは、倍率自動選択は使えません。

2 トレイ選択キーで用紙サイズを選ぶ

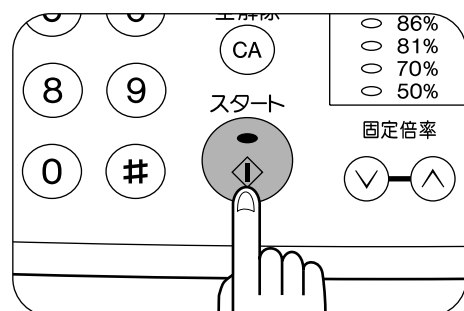
メモ **コピーしたい用紙サイズが点灯しないときには…**
トレイの用紙をコピーしたい用紙サイズに交換してください。
（☞ 48ページ)

メモ 手差しコピー（☞ 29ページ）をしているとき、または用紙サイズが特殊に設定されているトレイを選択しているときは、倍率自動選択は行えません。

3 倍率自動選択キーを押す

倍率自動選択表示ランプが点灯し、セットした原稿サイズと選んだ用紙サイズに応じた適切な倍率が選択されます。（選択された倍率の表示ランプが点灯します。）

メモ **原稿サイズランプが点滅したときには…**
原稿のセット方向を変えてください。

メモ 倍率表示ランプが点滅している状態でコピーすると、原稿の画像がはみ出てコピーされる場合があります。

4 コピー枚数を設定する

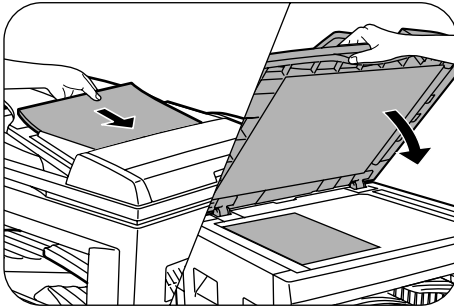
最大99枚まで設定できます。
1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーできます。

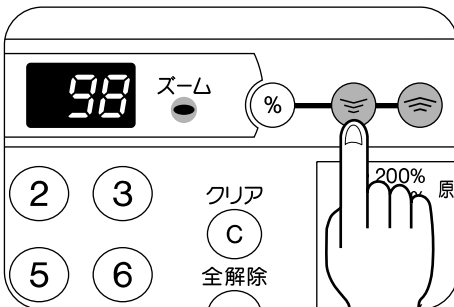
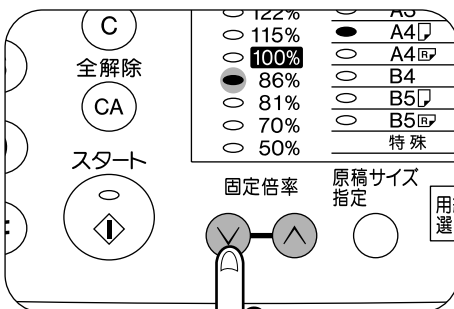
> **取消 枚数を間違えたときには…**
> クリアキーⓒを押してから、正しく設定しなおしてください。

5 スタートキーを押す

コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

> **取消 倍率自動選択を解除するには…**
> 倍率自動選択キーを押してください。倍率自動選択表示ランプが消灯して解除されます。
> 原稿自動送り装置を使用しているときは、スタートキーを押してコピー動作を開始させると自動的に解除されます。

手動で倍率を選ぶ（固定倍率／ズーム）

50%から200%の範囲で拡大・縮小コピーがとれます。倍率選択キー（ ）で、あらかじめ設定されている8種類の中から希望の倍率を素早く選ぶことができます。また、ズームキー（ ）で1%きざみに倍率を設定することができます。

1 原稿自動送り装置または原稿台（ガラス面）に原稿をセットする（☞ 19ページ）

2 倍率選択キー、ズームキーで倍率を選ぶ

固定倍率を選ぶ場合

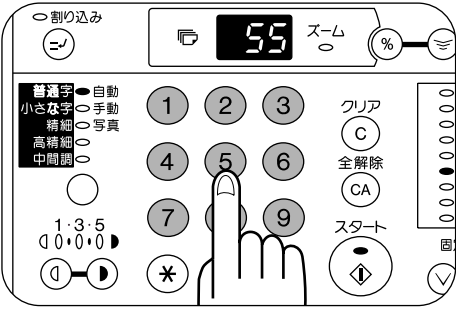
倍率選択キーを押すと、1段階上の倍率に切り替わります。
倍率選択キーを押すと、1段階下の倍率に切り替わります。

ズーム倍率を設定する場合

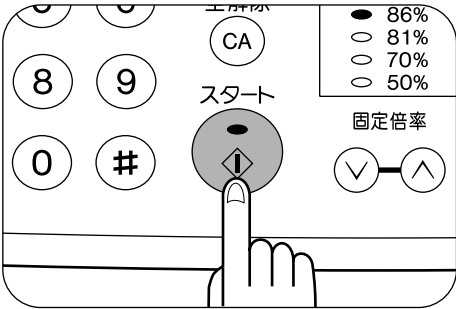
倍率選択キーで希望の倍率に近い値を選択してからズームキー を押して倍率を1%きざみで設定します。
ズームキー を押すと、ズームランプが点灯しコピー枚数表示部に倍率が表示されます。

メモ **設定した倍率を確認するときには…**
%キーを押し続けてください。
押しているあいだ、コピー枚数表示部に倍率が表示されます。

メモ 倍率表示ランプまたはズームランプが点滅している状態でコピーすると、原稿の画像がはみ出てコピーされる場合があります。画像が収まるようにコピーするには、点滅が点灯に変わるまでキーで倍率を下げてください。

メモ 用紙サイズ表示ランプが点灯していない場合は、トレイの用紙サイズを確認してから手順3へお進みください。

3 コピー枚数を設定する

最大99枚まで設定できます。
1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーできます。

取消 枚数を間違えたときには…
クリアキーⓒを押してから、正しく設定しなおしてください。

4 スタートキーを押す

コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

取消 倍率を等倍（100%）に戻すには…
倍率選択キー（ ∧ または ∨ ）を押して100%の表示ランプを点灯させてください。

倍率早見表

拡大・縮小コピーを行うときの、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせに応じた適切な倍率は次のとおりです。
（いずれも原稿と用紙のセット方向が同一方向の場合の倍率を示しています。）

（単位：%）

原稿＼用紙	A3	B4	A4	B5	A5	B6	A6
A3	100	86	70	61	50	−	−
B4	115	100	81	70	57	50	−
A4	141	122	100	86	70	61	50
B5	163	141	115	100	81	70	57
A5	200	173	141	122	100	86	70
B6	−	200	163	141	115	100	81
A6	−	−	200	173	141	122	100

手差しでいろいろな用紙にコピーする　手差しコピー

手差しトレイを使用すると、シャープ標準用紙以外の普通紙やラベル用紙などの特殊紙にコピーできます。
また、シャープ標準用紙は100枚（官製ハガキは40枚・封筒は10枚）まで一度にセットでき、トレイ給紙と同じように連続コピーができます。

● お願い ●

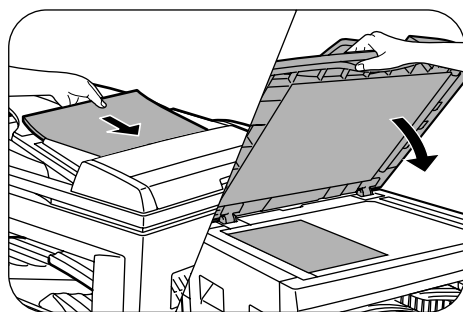
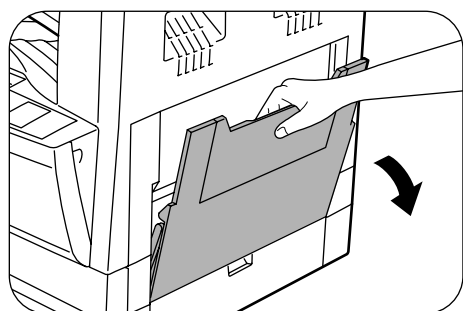
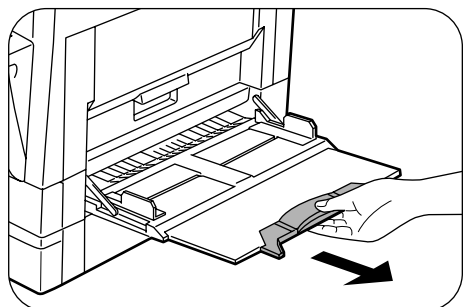
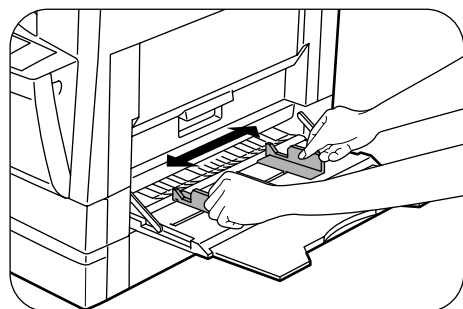
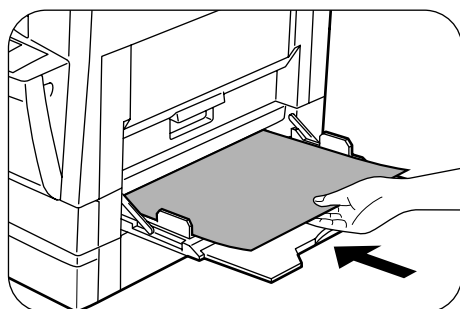
- **シャープ標準用紙以外の普通紙やラベル用紙などの特殊紙は、必ず手差しでコピーしてください。**

手差しでコピーできる用紙

シャープ標準用紙		☞ 81ページ
シャープ標準用紙以外の普通紙		● 次の範囲のものをご使用ください。 用紙サイズ：A 6（105×148mm）⟷ A 3（297×420mm） 用紙質量　：56g/m² ⟷ 104g/m² ⟷ 128g/m² （A3～A6）（A4～A6） g/m²……1m²の用紙1枚の質量 **● お願い ●** **● 上記の範囲以外の用紙は使用しないでください。定着不良（コピー用紙へのトナーの融着力が弱くなり、こすると画像が消える現象）や紙づまりの原因となります。**
官製ハガキ		● 往復ハガキは折り目のないものであれば使用できます。（折りたたみ済みのものは使用できません。） ● 私製ハガキ、絵ハガキは使用しないでください。 紙づまりやコピー汚れの原因となります。
封筒		● 長形３号（120 × 235mm）をご使用ください。 ● 次の封筒は使用しないでください。紙づまりの原因となります。 • 金属タブ、留め金、ひも、穴、窓があいているもの。 • 繊維の粗いもの、カーボン紙、和紙、光沢があるもの。 • 2つ以上の折り返しがあるもの。折り返しののりしろ部分にテープ、フィルム、紙が貼られているもの。折り返しが折られているもの。折り返しののりしろ部分に水をつけるとのりになるもの。 • ラベルや切手が貼られているもの。 • 空気が入り、ふくらんでいるもの。 • 接着部分からのりがはみ出しているもの。
特殊紙	**OHPフィルム** **ラベル用紙** **ハガキ用紙**	● シャープ推奨紙をご使用ください。（☞ 81ページ） 推奨紙以外の用紙をご使用になると、紙づまりやコピー汚れの原因となります。
	わら半紙	● 毛ばだちのひどいものは使用しないでください。コピー汚れの原因となります。
	のし紙	● 表面を金粉で加工してあるものや、毛ばだちのひどいものは使用しないでください。コピー汚れの原因となります。
	ノート用紙	● 手で破ったままの紙は使用しないでください。紙づまりの原因となります。

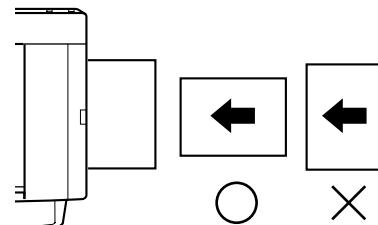
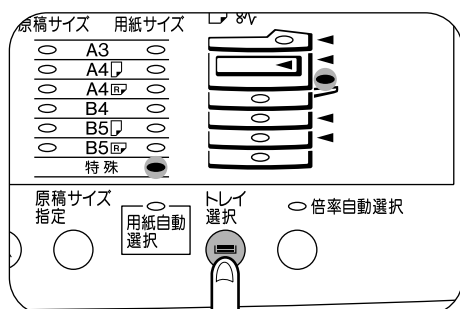
● お願い ●

- **一般に市販されている特殊紙にはさまざまな種類があり、なかにはこの製品で使用できないものもあります。ご使用になる際は、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。**

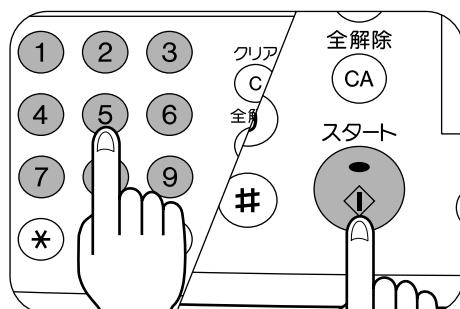
手差しコピーのしかた

1 **原稿自動送り装置または原稿台（ガラス面）に原稿をセットする（☞ 19ページ）**

2 **手差しトレイを開く**

B4、A3 サイズの用紙をセットするときには、延長トレイを引き出します。

3 **手差しガイドを用紙サイズに合わせて調節する**

4 手差しガイドに沿って用紙を突き当たるところまで確実に挿入する

コピーしたい面を下向きにセットします。

● お願い ●

- **シャープ標準用紙で100枚まで、官製ハガキで40枚までセットできます。**
- **B6、A6（官製ハガキ）サイズの用紙は必ず右図のように横長方向（R）にセットしてください。**

- **封筒をセットするときは、先端部分がまっすぐであることを確認してください。**
- **シャープ標準用紙以外の普通紙や、官製ハガキおよびシャープ推奨のOHPフィルム以外の特殊紙、裏面へのコピーの場合は、必ず1枚ずつ挿入してください。**
  2枚以上挿入すると、紙づまりの原因となります。
- **用紙をつぎたすときは手差しトレイ上の用紙をいったん取り出し、つぎたす用紙と一緒にそろえてから再度セットしてください。そのままつぎたすと、紙づまりの原因となります。**
- **OHPフィルムは、シャープ推奨のSF-4A6Fをお使いください。コピーするときは、シールが貼られている面を上にして、手差しトレイにセットしてください。**
- **原稿よりも小さいサイズの用紙にはコピーしないでください。コピー汚れの原因となります。**
- **普通紙ファクシミリやレーザープリンタなどでプリントされた用紙にはコピーしないでください。コピー汚れの原因となります。**

5 トレイ選択キーを押して、手差しトレイを選ぶ

トレイ位置表示ランプの手差しのランプを点灯させてください。

手差しトレイを選んだときは、用紙サイズ表示ランプは常に特殊の表示ランプが点灯します。

6 必要に応じてコピー枚数などを設定し、スタートキーを押す

コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

● お願い ●

- **OHPフィルムにコピーしたときは、必ずコピーされて出てくるごとに1枚ずつ取り除いてください。コピー受けの上で積み重なるとカールすることがあります。**

連続コピー中に用紙切れになったときには…
手差しトレイに必要枚数の用紙をセットしたあと、コピーを続けてください。

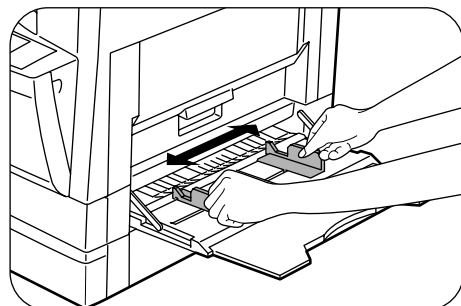
取消 連続コピーを中止するには…
クリアキーⓒを押すと、コピーが止まり、枚数表示が「」になります。

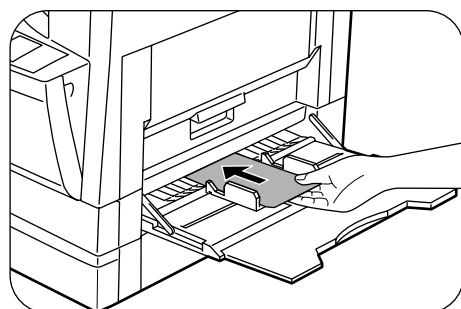
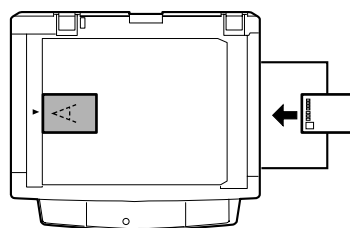
便利な機能 手差しコピー

官製ハガキにコピーする

実際に官製ハガキにコピーする前に、普通紙で試しコピーすることをお薦めします。

1 原稿を原稿台（ガラス面）にセットする（☞ 19ページ）

原稿自動送り装置には、ハガキサイズの原稿をセットすることはできません。ただし、A5サイズ以上の原稿をセットして原稿の一部分だけをコピーするか、縮小コピーすることはできます。

2 手差しトレイを開き、手差しガイドをハガキの幅に合わせる

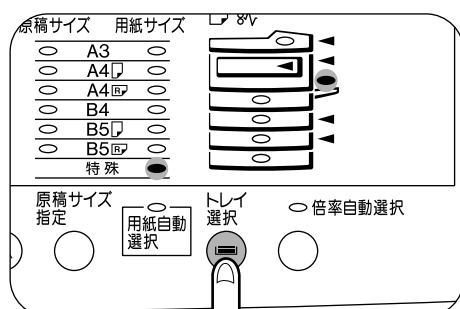
官製ハガキは、横長方向でのみ給紙できます。

3 官製ハガキを突き当たるところまで確実に挿入する

一度に40枚までセットできます。

● お願い ●

- カールや波打ちの大きい官製ハガキは、平らにしてからご使用ください。紙づまりや写り不良の原因となります。

4 トレイ選択キーを押して、手差しトレイを選ぶ

トレイ位置表示ランプの手差しのランプを点灯させてください。

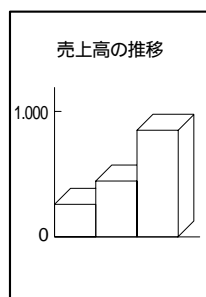
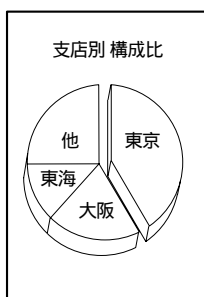
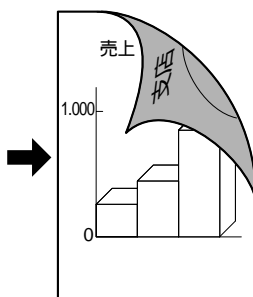
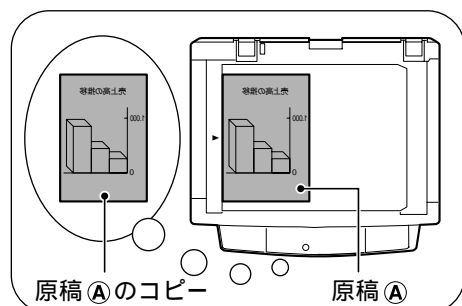
手差しトレイを選んだときは、用紙サイズ表示ランプは常に特殊の表示ランプが点灯します。

5 必要に応じてコピー枚数などを設定し、スタートキーを押す

コピー受けにコピーされた官製ハガキが出てきます。

● お願い ●

- 官製ハガキへの両面コピーはしないでください。紙づまりやコピー汚れの原因となります。
- 官製ハガキへのあて名書きは、コピーしたあとで行ってください。リボンカセットを使う熱転写方式のワープロなどで印字したあとでコピーすると、印字した文字がはがれたり、コピー汚れの原因となります。
- 折りたたんだ往復ハガキや私製ハガキ、絵ハガキは使用しないでください。紙づまりの原因となります。

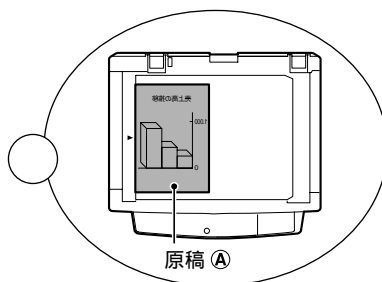
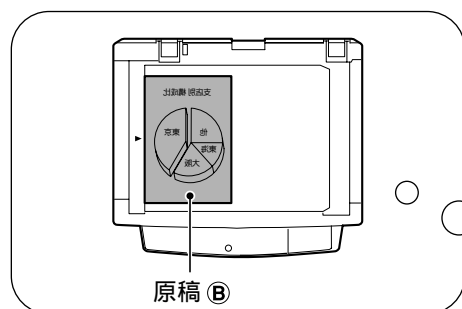
用紙の両面にコピーする　両面コピー

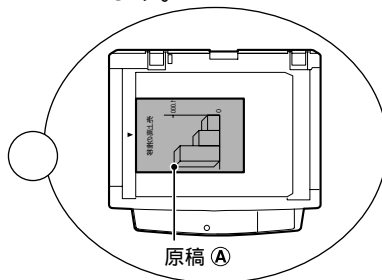
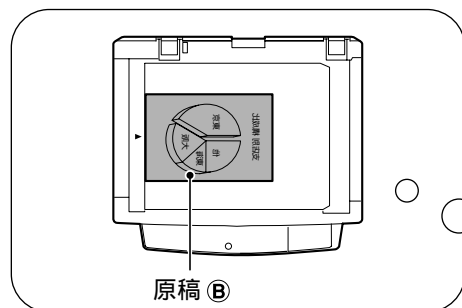
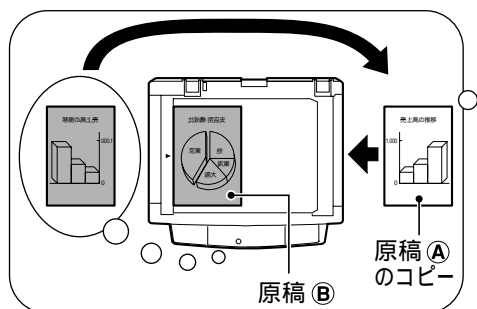
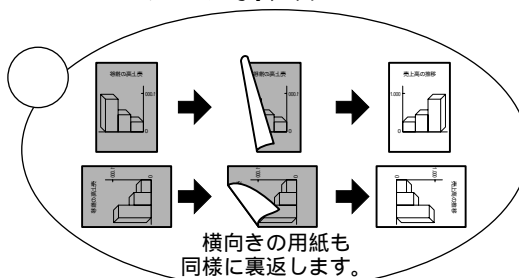
【例】原稿Ⓐ原稿Ⓑを用紙の両面にコピーする場合

以下の図は、主として原稿台（ガラス面）に原稿をセットする場合の方法を示しています。原稿自動送り装置を使うときは、次ページ下の図に示す向きに原稿を置きます。

1 原稿Ⓐをコピーする

コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

2 原稿Ⓑを下図のようにセットする

縦置き原稿の場合

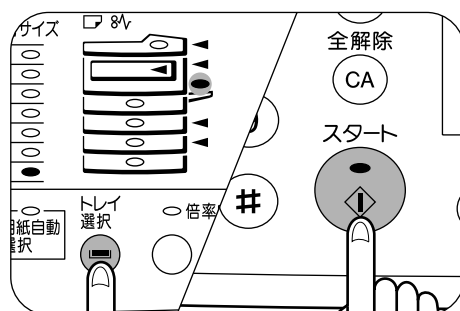
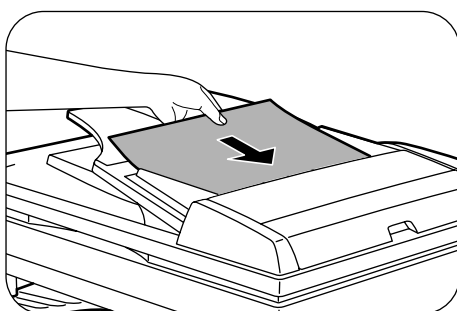
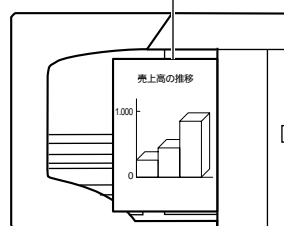
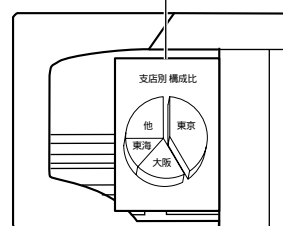
縦置きの原稿の場合は、原稿Ⓐと同じ向きにセットします。

横置き原稿の場合

横置きの原稿の場合は、原稿Ⓐのときと上端の位置を逆にしてセットします。

3 原稿Ⓐのコピーを、手前の位置を変えずに裏返して手差しトレイに挿入する

突き当たるところまで確実に挿入してください。

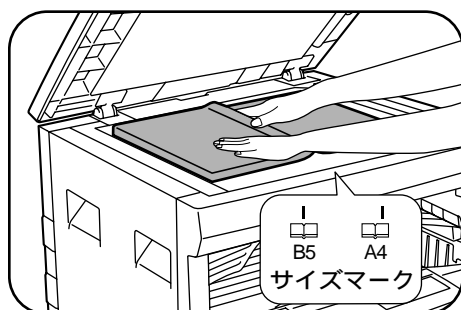
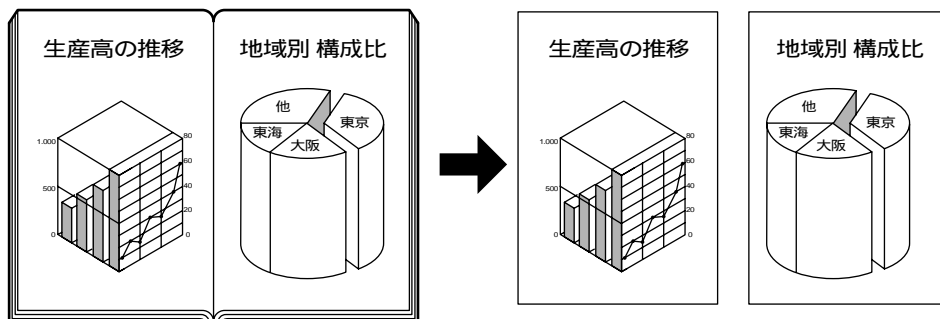
● お願い ●

- **裏面へのコピーは必ず手差しで 1 枚ずつ挿入してください。**
- **カールや波打ちの大きい用紙は、平らにしてからご使用ください。シワ寄りや紙づまり、写り不良の原因となります。**
- **官製ハガキは両面コピーしないでください。紙づまりや写り不良の原因となります。**

4 トレイ選択キーで手差しトレイを選んで、スタートキーを押す

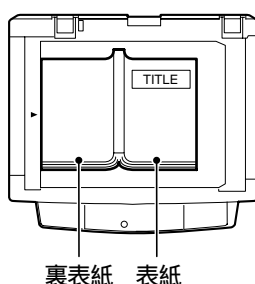
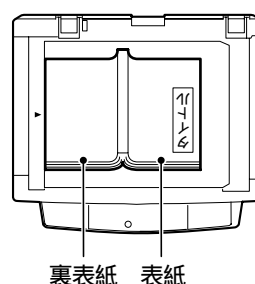
コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

原稿自動送り装置を使うときは、原稿を1枚ずつセットします。

見開きページを左右別々にコピーする　1セット2コピー

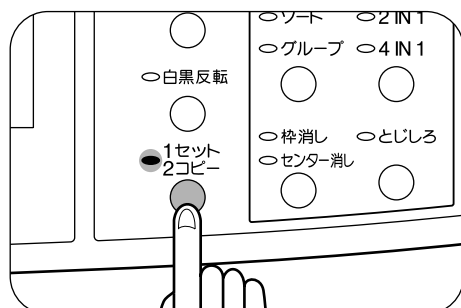
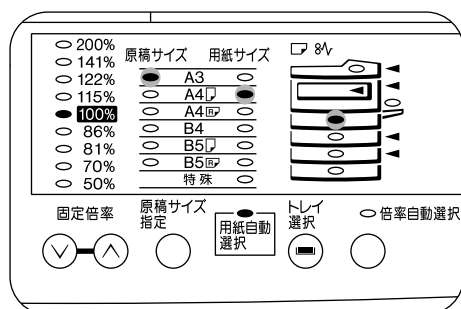
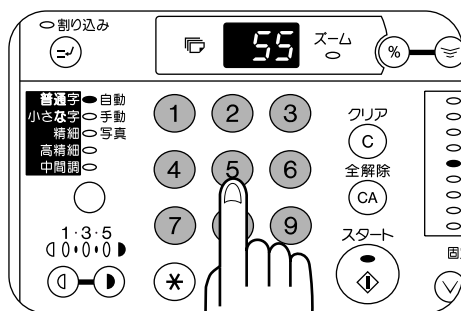
見開き原稿を片ページずつ自動的に分けてコピーします。本などの見開き原稿を1ページずつ順番にコピーするときに便利です。

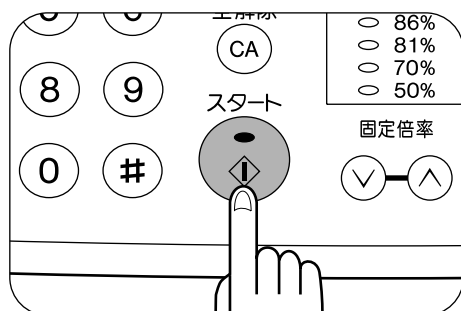
【例】本の左右ページをコピーする場合

1 原稿をセットし、原稿自動送り装置を閉じる

コピーしたい面を下に向け、左右ページの分れ目（とじ部分）をサイズマーク B5 A4 に合わせてセットします。

> 本を1冊コピーするような場合、または何ページにもわたってコピーする場合は、番号の若いページが原稿台の右側になるようにセットし、最初のページから順にコピーしてください。コピー受けに出てきた用紙がページ順にそろいます。

●左とじ（洋とじ）の原稿

●右とじ（和とじ）の原稿

2 1セット2コピーキーを押す

1セット2コピー表示ランプが点灯します。

> 倍率自動選択が設定されているときは、1セット2コピーを設定することはできません。

3 A4またはB5サイズのトレイが選択されていることを確認する

4 必要に応じてコピー枚数などを設定する

1セット2コピーでは縮小コピーはできますが、拡大コピーはできません。

5 スタートキーを押す

右側ページがコピーされたあと、続いて左側ページが自動的にコピーされます。

取消 **1セット2コピーを解除するには…**
1セット2コピーキーを押してください。1セット2コピー表示ランプが消灯して解除されます。

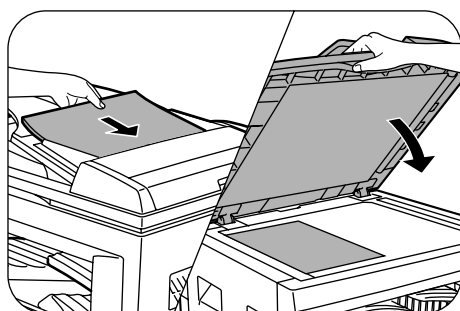
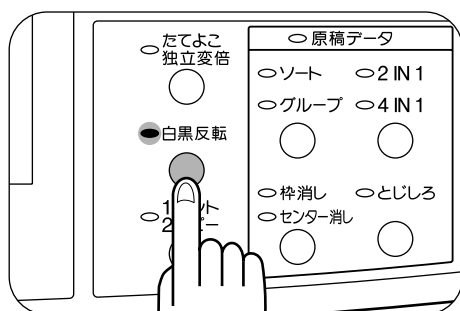
ソート／グループコピー（☞ 66ページ）と2 IN 1／4 IN 1コピー（☞ 68ページ）は、1セット2コピーと組み合わせてコピーすることはできません。

1セット2コピーと独立変倍コピー（☞ 38ページ）を組み合わせてコピーする場合は、1セット2コピーを設定してから独立変倍コピーを設定してください。（拡大コピーは設定することができません。）

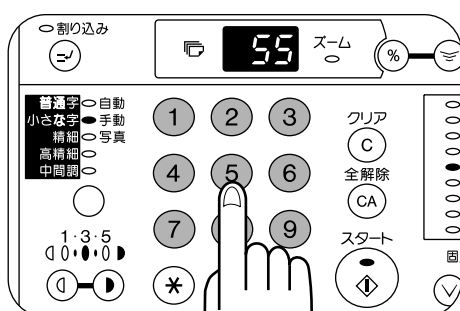
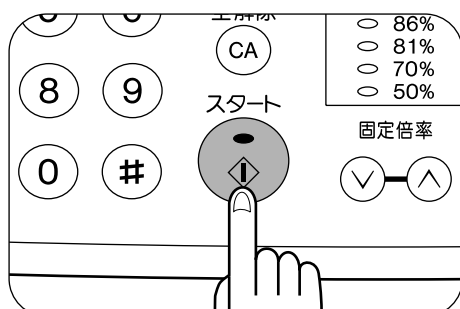
白い部分と黒い部分を逆にしてコピーする 白黒反転コピー

原稿全体の白い部分と黒い部分を反転させてコピーすることができます。

> メモ　白黒反転コピー機能が設定されると、濃度調整は自動的に手動モードが選択されます。

【例】

1 原稿自動送り装置または原稿台（ガラス面）に原稿をセットする（☞ 19ページ）

2 白黒反転キーを押す

白黒反転表示ランプが点灯します。

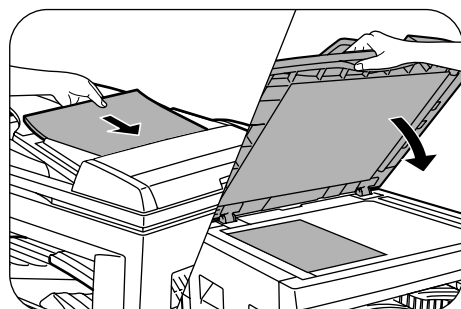
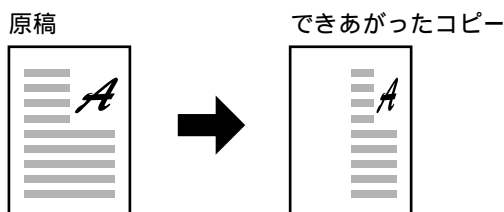
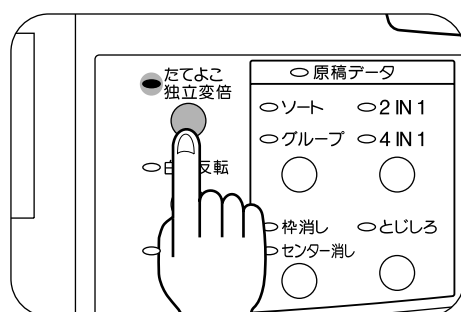
3 希望するサイズのトレイが選択されていることを確認する

4 必要に応じてコピー枚数などを設定する

5 スタートキーを押す

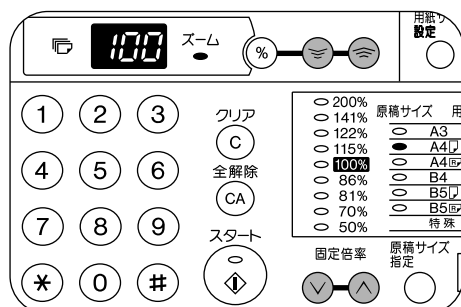
コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

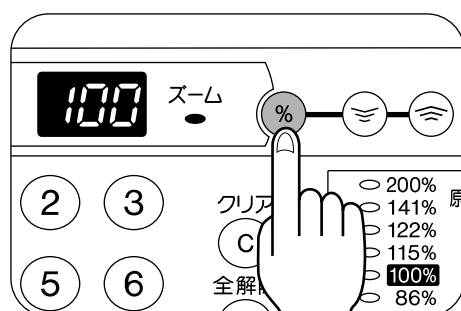
> 取消　**白黒反転コピーを解除するには…**
> 白黒反転キーを押してください。白黒反転表示ランプが消灯して解除されます。白黒反転コピーを解除しても、手動モードは解除されません。必要に応じて濃度調整を選びなおしてください。

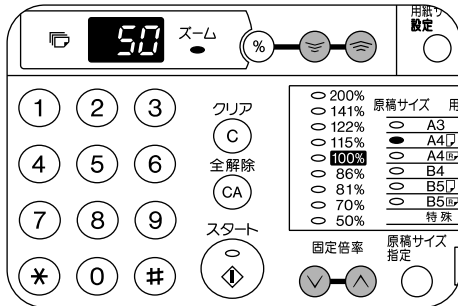
縦横別々の倍率で拡大・縮小コピーする　独立変倍コピー

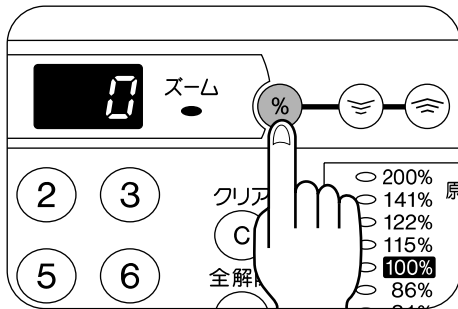
原稿の縦方向、横方向に独立した倍率を設定します。倍率は、縦横ともに50%から200%の範囲で1%きざみで設定できます。

【例】縦100%、横50%の倍率を設定した場合

1 原稿自動送り装置または原稿台（ガラス面）に原稿をセットする（☞ 19ページ）

2 たてよこ独立変倍キーを押す

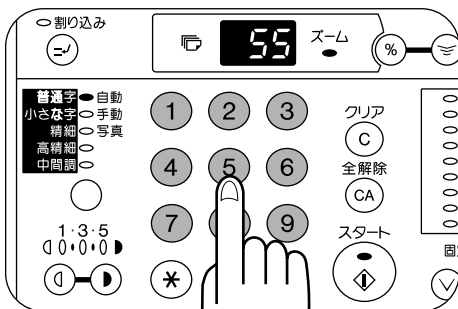
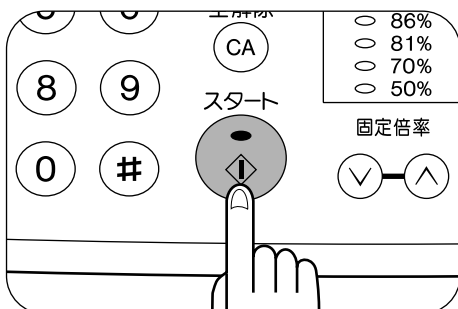
たてよこ独立変倍表示ランプが点灯します。

3 倍率選択キー、ズームキーで縦方向の倍率を選ぶ

倍率選択キー で希望の倍率に近い値を選択してからズームキー を押して倍率を1%きざみで設定します。
コピー枚数表示部に倍率が表示されます。

4 %キーを押す

縦方向の倍率が設定されます。

5 倍率選択キー、ズームキーで横方向の倍率を選ぶ

倍率選択キー ∧ ∨ で希望の倍率に近い値を選択してからズームキー を押して倍率を1%きざみで設定します。
コピー枚数表示部に倍率が表示されます。

6 %キーを押す

横方向の倍率が設定されます。
倍率の表示からコピー枚数の表示に戻ります。

用紙サイズ表示ランプが点灯しているか確認してください。
点灯していない場合は、原稿サイズにあった用紙がトレイにありません。
用紙を入れ替えるか、手差し給紙でコピーしてください。
（☞ 29、48ページ）

7 必要に応じてコピー枚数などを設定する

8 スタートキーを押す

コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

メモ 設定した倍率を確認するには、%キーを押し続けてください。縦方向、横方向の順に倍率が表示されます。

メモ 倍率を設定しなおす場合は、倍率選択キーまたはズームキーを押して、縦方向の倍率から設定しなおしてください。（☞ 38ページ手順3～39ページ手順6）

取消 **独立変倍コピーを解除するには…**
たてよこ独立変倍キーを押してください。たてよこ独立変倍表示ランプが消灯して解除されます。

メモ 独立変倍コピーと2 IN 1／4 IN 1コピー（☞ 68ページ）を組み合わせてコピーすることはできません。

メモ 独立変倍コピーと1セット2コピー（☞ 35ページ）を組み合わせてコピーする場合は、1セット2コピーを設定してから独立変倍コピーを設定してください。（拡大コピーは設定することができません。）

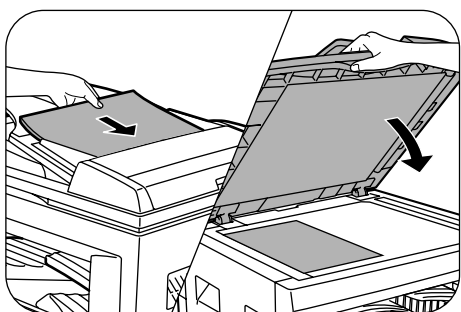
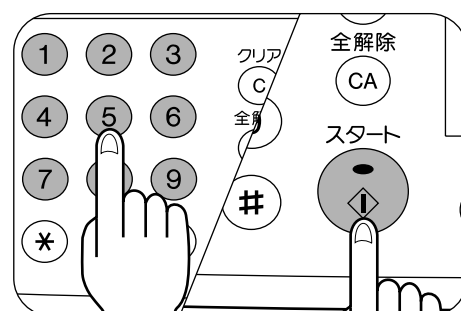
連続コピーの途中に割り込む　割り込みコピー

連続コピーをいったん中断し、別原稿のコピーをとることができます。
割り込みコピーが終わったら、元の条件に戻して連続コピーを続けることができます。

1 割り込みキーを押して、連続コピーを中断する

割り込み表示ランプが点灯し、コピー枚数表示部が「0」になります。
割り込みキーを押したときにコピー中だった用紙のコピーが終わるまでは、割り込み表示ランプが点滅します。

原稿自動送り装置を使用しているときには…
設定枚数のコピーが終わるまでは、割り込み状態にはなりません。

部門カウンターが設定されている場合には…
割り込みキーを押すと、コピー枚数表示部に「ーーー」が表示されますので、部門番号（3ケタの暗証番号）を入力してください。正しい部門番号を入力しないとコピーできません。
（☞ 17ページ）

2 原稿を取り除き、別の原稿をセットする

3 必要に応じてコピー枚数などを設定し、スタートキーを押す

割り込みコピーが始まります。

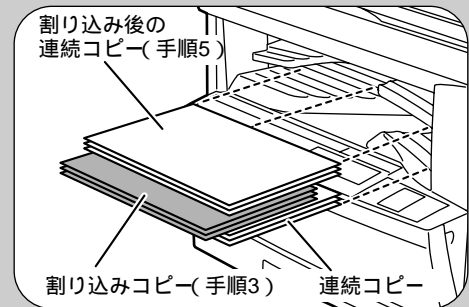
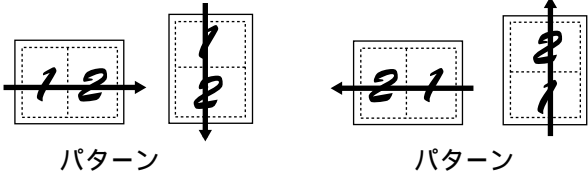
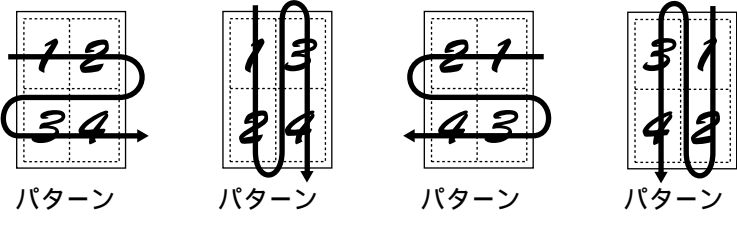
4 割り込みコピーが終わったら、割り込みキーを押す

割り込み表示ランプが消灯し、割り込みコピーの状態が解除されます。
手順3で設定したコピー枚数などの条件が、割り込みコピー前の状態に自動的に戻ります。

5 元の原稿をセットし、スタートキーを押す

連続コピーが再開されます。

割り込みコピー時のシフター機能について…

連続コピーの途中に割り込んだコピーは、排紙位置をずらしてコピーするため、割り込んでコピーした用紙を連続コピーと区別して容易に取り出すことができます。
シフター機能は、ユーザープログラム（☞ 43ページ）で設定の変更をすることができます。

使用状況に合わせて設定を変える ユーザープログラム

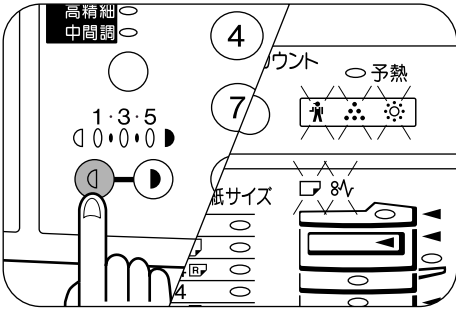
使用状況に応じて、工場出荷時に設定されているいろいろな条件を変更することができます。

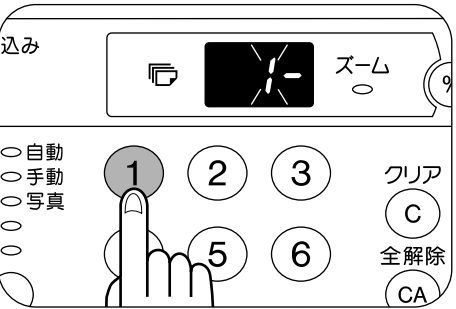
ユーザープログラムで設定できる機能とそのはたらき

機能名	はたらきと設定内容	工場出荷時
オートクリア	●コピーが終わったあと、一定時間が経過すると、自動的に初期状態（☞ 16ページ）に戻る機能です。初期状態に戻るまでの経過時間を、10秒から120秒までの範囲で設定できます。この機能を解除することもできます。	60秒
プレヒート	●電源を入れたままの状態でコピーせずに本機を放置しておいたとき、自動的に定着部のヒーターの温度を下げて、低消費電力状態にする機能です。この機能がはたらくまでの時間を、30秒から120秒までの範囲で設定できます。この機能を解除することもできます。 ●この機能がはたらくと、操作パネルの予熱ランプが点灯します。 **プレヒート状態を解除するには…** 操作パネルのいずれかのキーを押してください。 （スタートキーを押すとプレヒートが解除され、コピーが始まります。） ●原稿をセットしたり、トレイを引き出しても解除できます。	90秒
オートパワー シャットオフ時間設定	●電源を入れたままの状態でコピーせずに本機を放置しておいたとき、自動的に定着部のヒーターへの通電を切り、プレヒート状態よりさらに低消費電力状態にする機能です。この機能がはたらくまでの時間を、30分間から240分間までの範囲で設定できます。 ●この機能がはたらくと、操作パネルの予熱ランプ以外はすべて消灯します。 **オートパワーシャットオフ状態を解除するには…** スタートキーを押してください。	30分
ストリーム フィーディングモード	●原稿自動送り装置を使用してコピーする際、前の原稿を読み込んだあと原稿送り表示ランプが点滅しているあいだ（約5秒間）に次の原稿をセットすると原稿が自動的に送り込まれる機能です。	解除
オートパワー シャットオフ機能設定	●オートパワーシャットオフ機能の設定を解除することができます。	設定
2 IN 1／4 IN 1実線枠設定 （電子ソートボード装着時）	●複数ページ分の画像を1枚の用紙に割り付けしてコピー（2 IN 1／4 IN 1コピー）する際、この機能をはたらかせると画像の境界に実線枠を入れてコピーすることができます。	解除
回転コピー （電子ソートボード装着時）	●用紙自動選択機能がはたらいているとき、原稿と同じサイズで同じ方向の用紙がない場合に、同じサイズで方向の異なる用紙を自動的に選択し、原稿画像を90度回転してコピーする機能です。 ●倍率自動選択機能がはたらいているとき、原稿と用紙の方向が異なる場合に、原稿画像を90度回転してコピーする機能です。	設定
用紙自動選択	●原稿セット台または原稿台にセットされた原稿サイズ、原稿サイズ指定キーで選ばれた原稿サイズ（A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズのみ）と同じサイズの用紙を自動的に選択する機能です。この機能を解除することもできます。	設定
トレイ自動切り替え	●コピー中に用紙がなくなったとき、他のトレイに同じサイズで同じ方向の用紙がセットされていれば、自動的にトレイの切り替えを行う機能です。（ただし、手差しトレイは除きます。）この機能を解除することもできます。	設定
部門カウンター	●「部門カウンターの設定」（☞ 88〜91ページ）をご覧ください。	
枠消去 （電子ソートボード装着時）	●ブック物原稿などをコピーした際にできる周囲の影やとじしろ部分の影を消すための幅を設定する機能です。0〜20mmの範囲で5mm単位で設定できます。	10mm

機能名	はたらきと設定内容	工場出荷時
2 IN 1レイアウト （電子ソートボード装着時）	● 2ページ分の画像を1枚の用紙に割り付けしてコピーする際のレイアウトパターンを設定することができます。 パターン① パターン②	パターン①
4 IN 1レイアウト （電子ソートボード装着時）	● 4ページ分の画像を1枚の用紙に割り付けしてコピーする際のレイアウトパターンを設定することができます。 パターン① パターン② パターン③ パターン④	パターン①
シフター機能設定	● 割り込みコピーやソート／グループコピーする際、この機能を設定すると排紙位置をずらしてコピーすることができます。ジョブセパレーターの上段と下段をそれぞれ区別することができます。	上下段とも設定

設定を変える

例：オートクリアがはたらくまでの時間の変更
（「60秒間」から「90秒間」に変更する）

1 濃度調整キー◐を約5秒間押し続けて設定を開始する

「 」「 」「 」「 」「 」の表示ランプがいっせいに点滅するとともにコピー枚数表示部が「　ーー」表示になり、十の位が点滅します。

2 数字キーで設定する「機能コード」を選択する

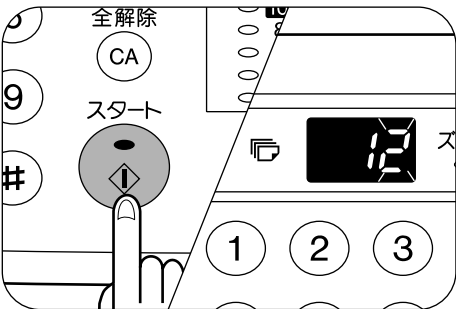
「オートクリア」の場合は①を押します。

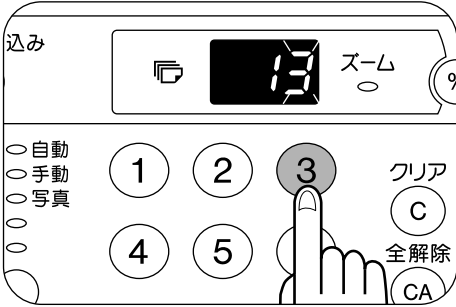
次の機能コードを参照して設定してください。

機　能　名	機能コード	機　能　名	機能コード
オートクリア	1	用紙自動選択	8
プレヒート	2	トレイ自動切り替え	9
オートパワーシャットオフ時間設定	3	部門カウンター（※）	10〜15
ストリームフィーディングモード	4	枠消去	16
オートパワーシャットオフ機能設定	5	2 IN 1レイアウト	17
2 IN 1／4 IN 1実線枠設定	6	4 IN 1レイアウト	18
回転コピー	7	シフター機能設定	19

※設定方法は「部門カウンターの設定」（☞ 88〜91ページ）をご覧ください。

コピー枚数表示部の百と十の位に、押したキーの数字が点滅します。

キーを押し間違えたときには…
クリアキーⓒを押したあと、正しい数字キーを押しなおしてください。

3 スタートキーを押す

選択した「機能コード」が点滅から点灯に変わります。
また、一の位に現在設定されている設定コードの数字が点滅します。

4 数字キーで「設定コード」を選択する

「90秒間」に設定する場合は③を押します。

次の設定コードを参照して設定してください。

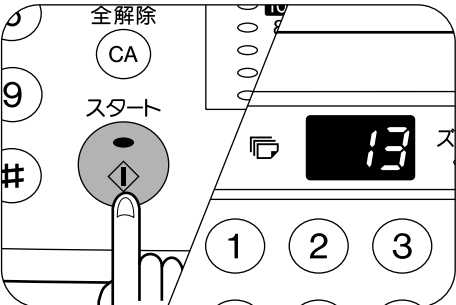
機　能　名	設定コード	機　能　名	設定コード	機　能　名	設定コード
オートクリア	0（解除） 1（30秒間） ＊2（60秒間） 3（90秒間） 4（120秒間） 5（10秒間）	オートパワーシャットオフ機能設定（※1）	0（解除） ＊1（設定）	2 IN 1レイアウト（※2）	＊1（パターン①） 2（パターン②）
プレヒート	0（解除） 1（30秒間） 2（60秒間） ＊3（90秒間） 4（120秒間）	2 IN 1／4 IN 1実線枠設定	＊0（解除） 1（設定）	4 IN 1レイアウト（※2）	＊1（パターン①） 2（パターン②） 3（パターン③） 4（パターン④）
オートパワーシャットオフ時間設定（※1）	＊1（30分間） 2（60分間） 3（90分間） 4（120分間） 5（240分間）	回転コピー	0（解除） ＊1（設定）	シフター機能設定	0 (上段：解除　下段：解除) ＊1 (上段：設定　下段：設定) 2 (上段：設定　下段：解除) 3 (上段：解除　下段：設定)
ストリームフィーディングモード	＊0（解除） 1（設定）	用紙自動選択	0（解除） ＊1（設定）		
		トレイ自動切り替え	0（解除） ＊1（設定）		
		枠消去	0（0mm） 1（5mm） ＊2（10mm） 3（15mm） 4（20mm）		

＊は工場出荷時の設定

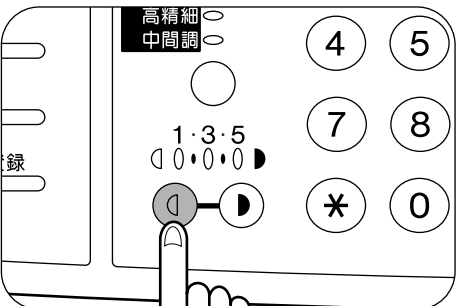
※1　オートパワーシャットオフが解除されている状態（機能コード「5」、設定コード「0」）でオートパワーシャットオフの時間設定（機能コード「3」）を行った場合、自動的にオートパワーシャットオフの機能は設定状態になります。

※2　レイアウトパターンは、43ページを参照してください。

コピー枚数表示部の一の位に、押したキーの数字が点滅します。

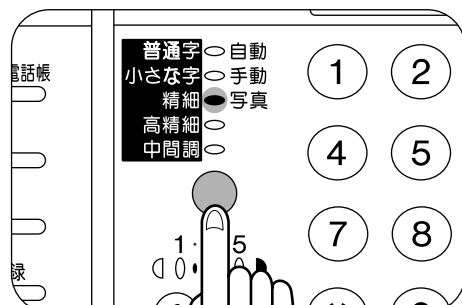
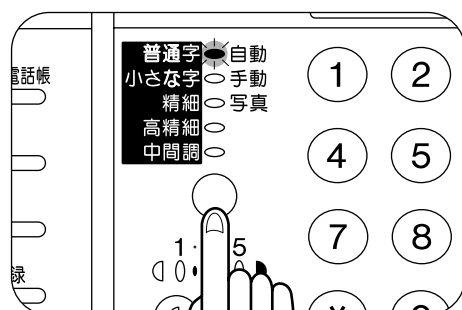
> 取消 **キーを押し間違えたときには…**
> クリアキーⓒを押したあと、手順2からやりなおしてください。

5 スタートキーを押す

選択した「設定コード」が点滅から点灯に変わります。
これで設定が行われました。

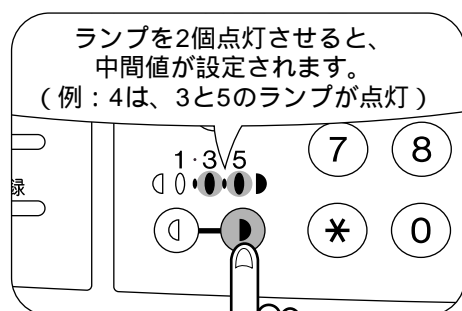
> メモ **別の機能を設定するには…**
> 上の操作のあとでクリアキーⓒを押し、手順2から別の機能を設定することができます。

6 濃度調整キーを押して、設定操作を終了する

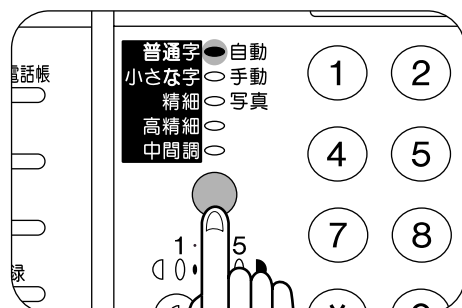
「」「」「」「」「」の表示ランプが消灯します。
コピー枚数表示部は、通常の枚数表示に戻ります。

自動濃度レベルを調節する

コピーする原稿に合わせてコピー濃度を自動的に調整する「自動濃度調整」機能の濃度レベルを調節できます。
「自動濃度調整」状態で、常にコピーが濃く、または薄くなったときには、次の手順で自動濃度レベルの調節を行ってください。
原稿自動送り装置に原稿をセットし、原稿送り表示ランプの点灯を確認したあと、次の手順を行うと、原稿自動送り装置を使ってコピーする場合の自動濃度レベルを調節することができます。

1 **濃度切替キーを押して、写真ランプを点灯させる**

2 **もう一度、濃度切替キーを約5秒間押し続ける**

「自動」のランプが点滅し、濃度調整の表示ランプが点灯します。

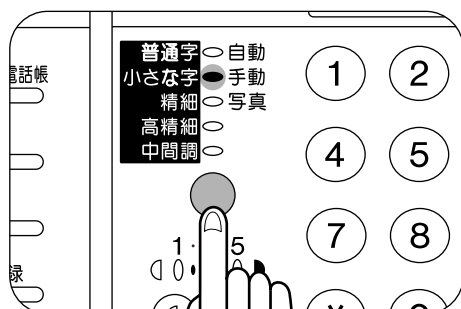
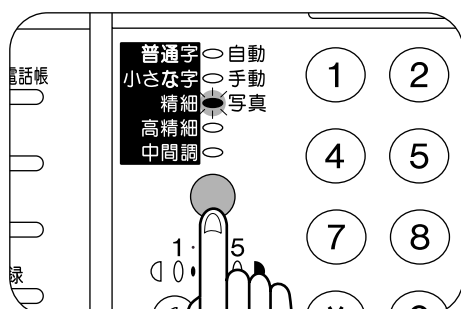
> 工場出荷時は、濃度調整の表示ランプが「3」に設定されています。

3 **濃度調整キーを押して、自動濃度レベルを調節する**

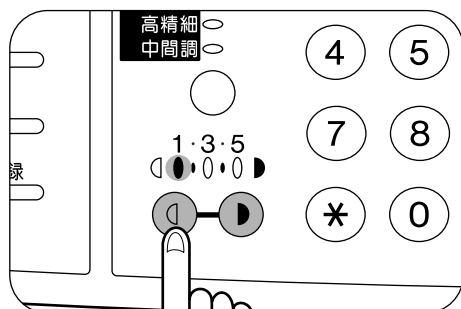
濃くとりたいときには、濃度調整キー◗を押して調整します。
薄くとりたいときには、濃度調整キー◖を押して調整します。
中間値（2、4）を設定すると、ランプが2個同時に点灯します。

4 **濃度切替キーを押して、設定操作を終了する**

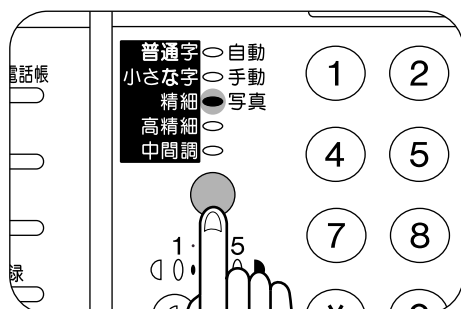
濃度調整の表示ランプが消灯します。「自動」のランプは、点滅から点灯に戻ります。

> 調整したあとは、1枚コピーをとってコピー濃度の確認をお薦めします。

トナーを節約する　トナーセーブモード

トナーセーブモードを設定することにより、機器内部に装着されているトナーカートリッジ内のトナーの消費量を通常より約10%抑えてコピーすることができます。

1 濃度切替キーを押して、手動ランプを点灯させる

2 もう一度、濃度切替キーを約5秒間押し続ける

「写真」のランプが点滅し、濃度調整の表示ランプが点灯します。

3 濃度調整キーを押して、モードを選択する

「設定」したいときは、濃度調整キー◁を押して「1」のランプを点灯させせます。
「解除」したいときは、濃度調整キー◗を押して「5」のランプを点灯させせます。

4 濃度切替キーを押して、設定操作を終了する

濃度調整の表示ランプが消灯します。「写真」のランプは、点滅から点灯に戻ります。

便利な機能　トナーセーブモード

用紙を補給する

トレイの用紙がなくなると、用紙補給ランプ が点灯します。用紙を補給してください。

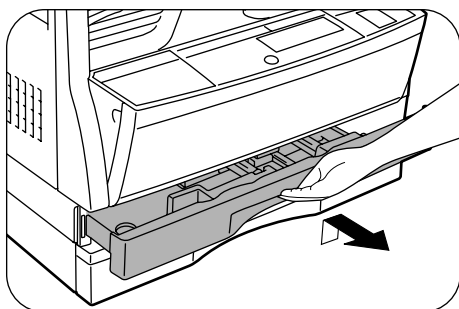
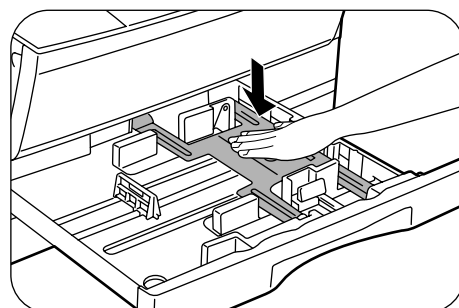
使用できる用紙

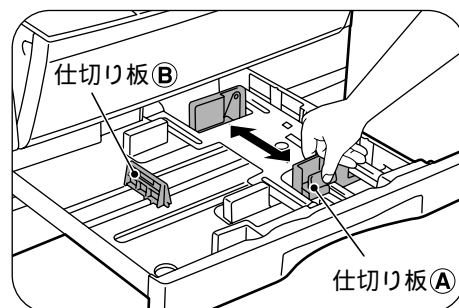
シャープ標準用紙（☞ 81ページ）

● **お願い** ●

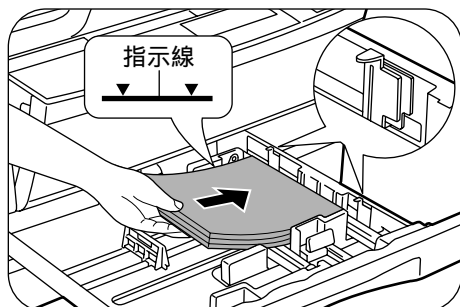
- **トレイではシャープ標準用紙以外の用紙は使用しないでください。紙づまりの原因となります。**
- **A5 サイズの用紙は、1 段目のトレイにセットするか、手差しトレイ（☞ 30 ページ）を使ってコピーしてください。2 段目のトレイや別売品の給紙ユニット（☞ 78 ページ）にセットしてコピーすると、紙づまりの原因となります。**

トレイへの用紙補給

コピー中でないことを確認して、次の手順で用紙を補給してください。

1 取っ手を持ち上げながらトレイを静かに引き出す

2 用紙圧板を押し下げる

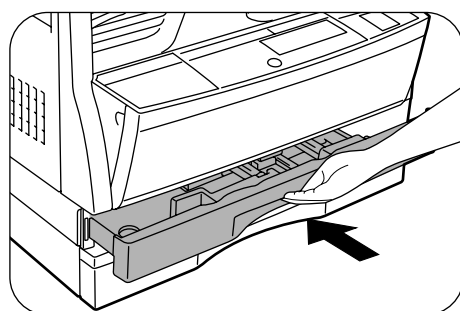
用紙圧板の中央をロックがかかるところまで押し下げます。

3 トレイ内の仕切り板ⒶⒷを、用紙の縦と横のサイズに合わせる

仕切り板Ⓐはスライド式です。固定ノブをつまみながら、補給する用紙の目盛りの位置にスライドさせてください。

仕切り板Ⓑは差し込み式です。取りはずして、補給する用紙の目盛りの位置に差し込んでください。

4 用紙をトレイに入れる

指示線をこえない枚数（250枚まで）をセットします。
用紙がトレイの右側にあるツメより下になっていることを確認してください。

● お願い ●

- **用紙は必ずそろえてセットしてください。また、用紙をつぎたすときは、つぎたす用紙と一緒にそろえてからセットしてください。**

5 トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込みます。

6 用紙サイズを設定する

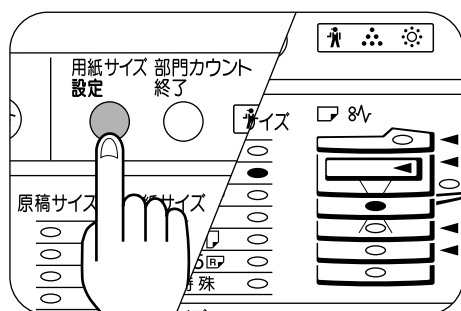
トレイの用紙サイズを変更した場合は、トレイ選択をしたときに正しい用紙サイズを表示させるため、「用紙サイズの設定方法」（☞ 次ページ）に従って、用紙サイズを設定しなおしてください。

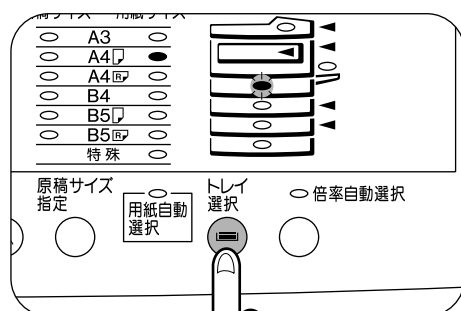
7 用紙サイズ表示シールをトレイに貼る

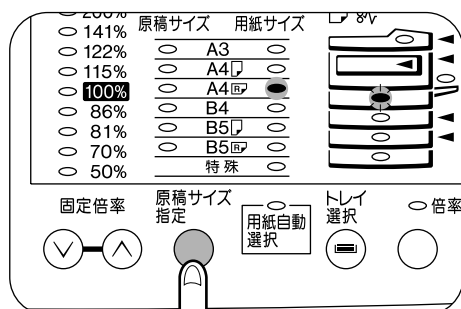
手順6で設定したサイズの用紙サイズ表示シールを、トレイの右端にある貼付場所に貼ります。

用紙サイズの設定方法

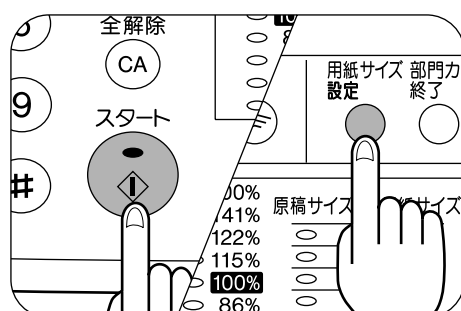
トレイの用紙サイズを変更したときは、次の手順に従ってトレイの用紙サイズ表示を設定しなおしてください。

用紙切れや紙づまりなどの一時停止中、割り込みコピー中は、用紙サイズの設定を行うことはできません。また、ファクスデータの出力中やプリント（別売品のプリンタ拡張キット装着時）中は、コピーモードであっても用紙サイズの設定を行うことはできません。

1 用紙サイズ設定キーを押して設定を開始する

選択されているトレイの表示ランプが点滅し、設定されている用紙サイズの表示ランプが点灯します。その他のランプは全て消灯します。

2 トレイ選択キーを押して、設定したいトレイを選択する

選択されているトレイを点滅表示します。

3 原稿サイズ指定キーを押して、設定したい用紙サイズを選択する

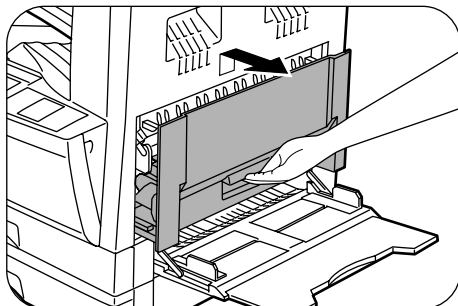
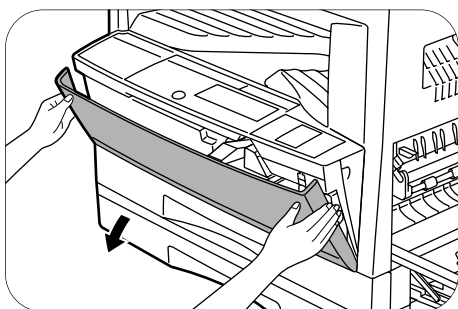
選択されている用紙サイズの表示ランプが点灯します。

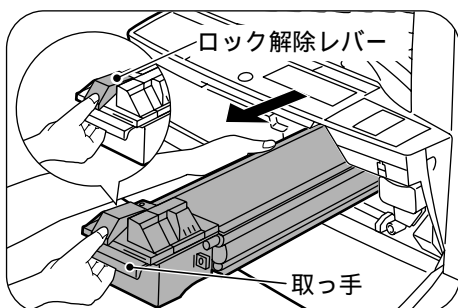
A5サイズの場合は、特殊を選択してください。

4 スタートキーを押したあと、用紙サイズ設定キーを押して設定操作を終了する

別のトレイの用紙サイズを続けて設定する場合は、スタートキーを押したあと、手順2～4の操作を繰り返し行ってください。

トナーカートリッジを交換する

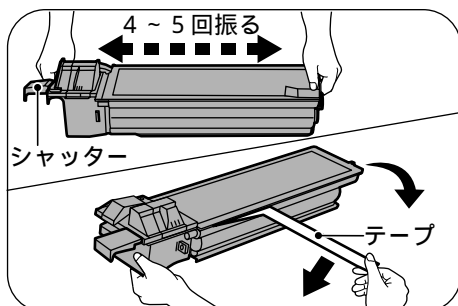
トナーカートリッジ交換ランプ「 ∴ 」が点灯すると、交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを準備してください。トナーカートリッジ交換ランプ「 ∴ 」が点滅すると、交換時期です。次の手順で新しいトナーカートリッジに交換してください。

> メモ　トナーカートリッジ交換ランプ「 ∴ 」が点灯しているときは、トナー残量が少なくなっているのでコピーがだんだん薄くなってくることがあります。

1 手差しトレイを開き、取っ手を持ち上げながら側面カバーを開く

2 前カバーを開く

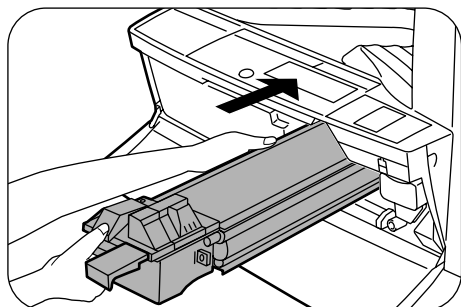
両端を軽く押さえながら開きます。

3 ロック解除レバーを押さえ、トナーカートリッジを引き出す

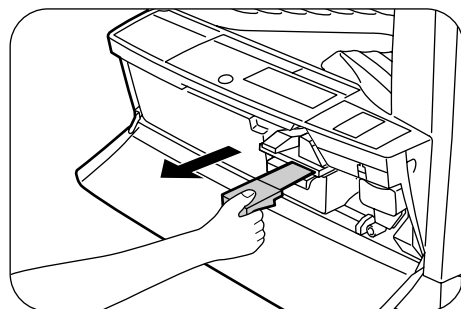
トナーカートリッジを引き出すときは、左手でトナーカートリッジの緑色の部分に手を添えて引き出してください。

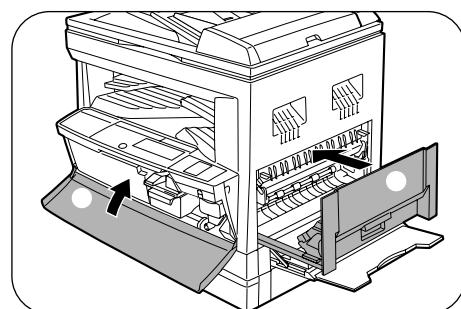
● お願い ●

- **トナーカートリッジを引き出したあと、カートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。トナーがこぼれる原因となります。使用済みのカートリッジは、すぐに箱の中に入っている袋に入れてください。カートリッジの廃棄については、販売店にお問い合わせください。**

4 新しいトナーカートリッジを袋から取り出し、両端を持って水平方向に4～5回振ってから、テープをはずす

● お願い ●

- **トナーカートリッジを持つ際には、シャッター部を持たないでください。落下のおそれがあります。お持ちの際には、必ず取っ手をお持ちください。**
- **テープをはずす前にトナーカートリッジを振ってください。**

5 ロック解除レバーを押さえ本体内部のガイドに沿って、奥まで確実に挿入する

ほこりや汚れがトナーカートリッジに付着している場合は、本体に装着する前に取り除いてください。

6 テープをはずし、トナーカートリッジからシャッターを抜き取る

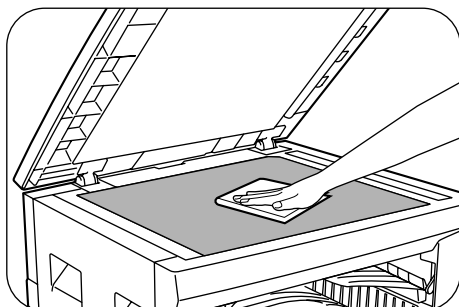
抜き取ったシャッターは、廃棄してください。

7 ①前カバーを閉じてから、②側面カバーを閉じる

トナーカートリッジ交換ランプ「∴」が消灯し、コピーできる状態になります。

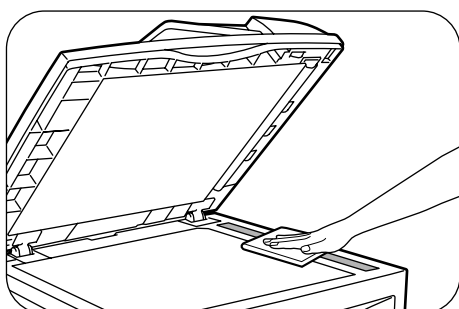
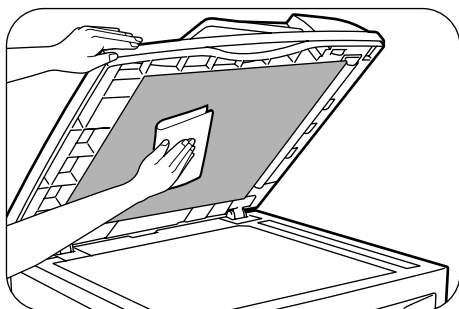
● お願い ●

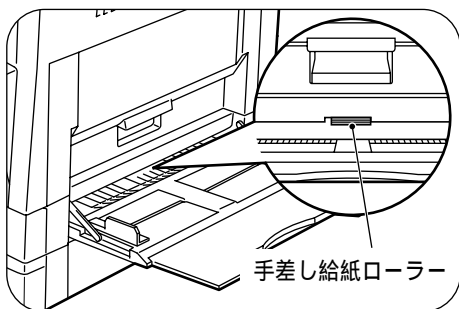
- **新しいトナーカートリッジを交換後もスタートランプが点灯せず、コピーできない（完全にトナー補給されていない）場合があります。その場合、側面カバーを開閉し、再度トナー補給動作（約２分間）をさせることでコピー可能となります。**
- **前カバーを閉じる前にトナーカートリッジが装着されていることを必ずお確かめください。**
- **前カバーを閉じるときは、両端を軽く押さえてください。**
- **側面カバーを閉じるときは、取っ手を押さえてください。**
- **カバーを閉じるときは、必ず前カバーを閉じてから側面カバーを閉じてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。**

原稿台・原稿自動送り装置を清掃する

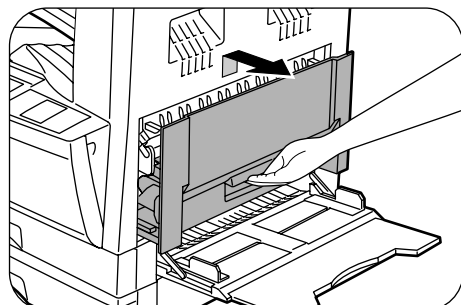
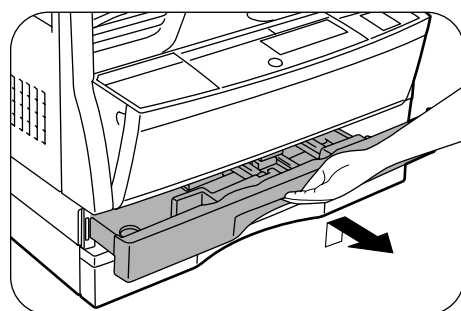
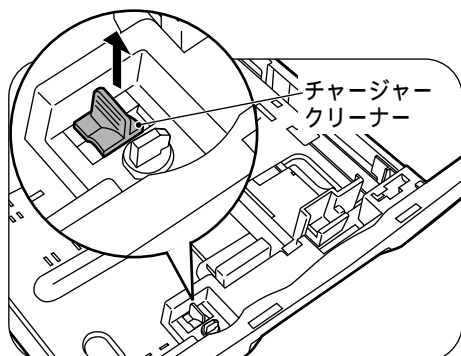
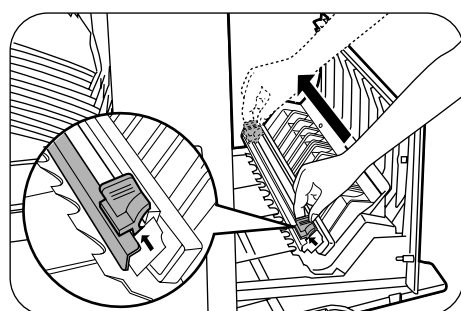
原稿台のガラス面や原稿自動送り装置の裏面、また原稿自動送り装置から送られてくる原稿を読み取る部分（細長いガラス面の部分）が汚れると、コピーに汚れが写ることがあります。常にきれいな状態でご使用ください。

きれいな柔らかい布で拭いてください。
汚れが落ちにくいときは、水または中性洗剤を少し含ませた布で拭いたあと、きれいな布でから拭きしてください。

● **お願い** ●

- **清掃するときは、ベンジンやシンナーは使用しないでください。キャビネットの表面が変質したり、色が変わったりすることがあります。**

手差し給紙ローラーを清掃する

官製ハガキ、封筒や厚手の紙の給紙により紙づまりが生じやすくなった場合は、給紙ローラーの表面をアルコールまたは水を含ませたきれいな柔らかい布で拭いてください。

転写チャージャーを清掃する

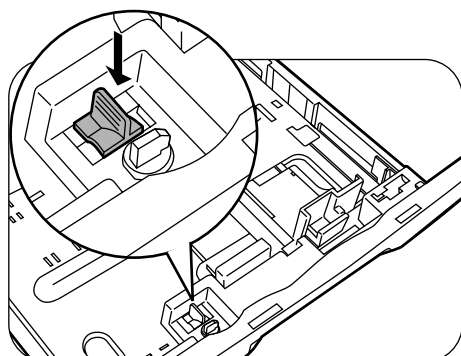
コピーに白スジや黒スジが出たり、濃淡のムラが出てきた場合は、次の手順で転写チャージャーを清掃してください。

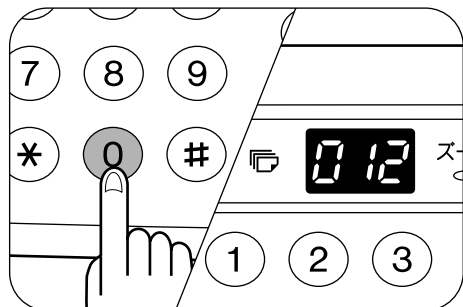
1 **電源スイッチを“切”側にする**

2 **手差しトレイを開き、取っ手を持ち上げながら側面カバーを開く**

3 **取っ手を持ち上げながらトレイを静かに引き出す**

4 **トレイ内のチャージャークリーナーを取り出す**

5 **チャージャークリーナーを転写チャージャーにセットし、矢印方向に2〜3回動かして清掃する**

● **お願い** ●

- **チャージャークリーナーで清掃するときは、転写チャージャーの溝を端から端まで一方向に動かしてください。途中で止めたり往復させると、コピー汚れの原因や転写チャージャーを傷めるおそれがあります。**

転写チャージャーの白い板金部分がトナーで汚れている場合は、きれいな柔らかい布で拭いてください。

6 **チャージャークリーナーを元の場所に戻し、トレイと側面カバーを閉じる**

総印刷枚数を確認する

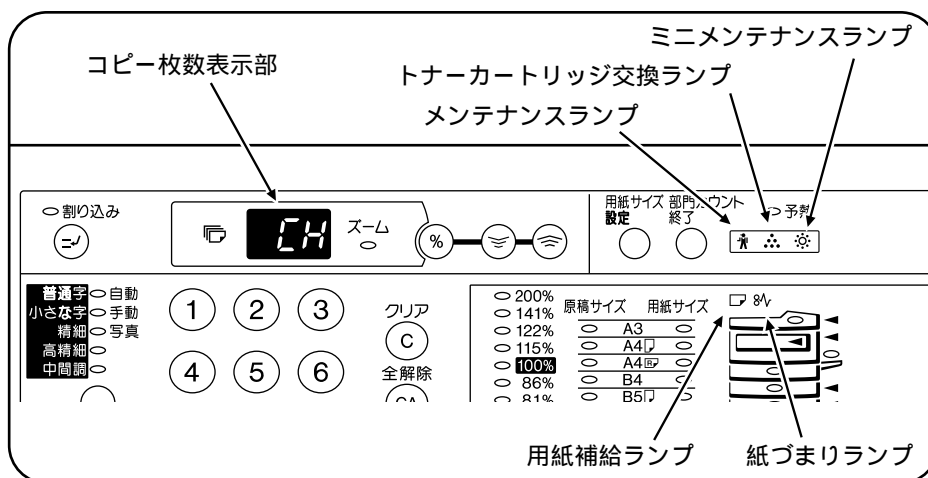
コピー枚数表示部が「0」のとき、次の操作で、本機の総印刷枚数※を確認することができます。
※総印刷枚数とは、コピー・ファクス・プリンタ全ての印刷枚数の合計を表しています。

1 “0”キーを押し続ける

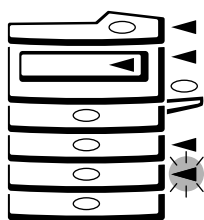
押しているあいだ、コピー枚数表示部に総印刷枚数が表示されます。
（2回に分けて表示されます。）

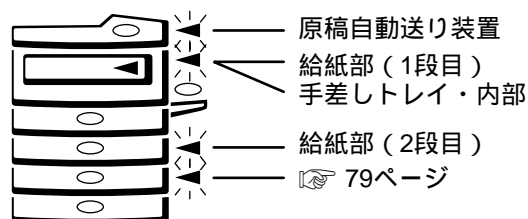
例：総印刷枚数が12,345枚の場合

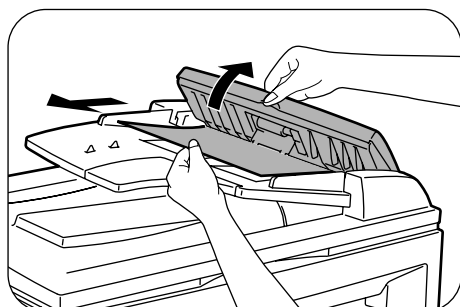
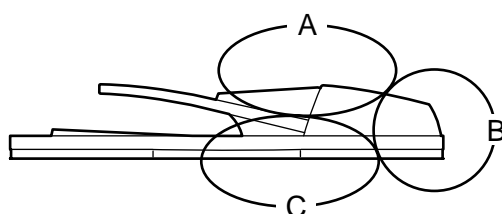
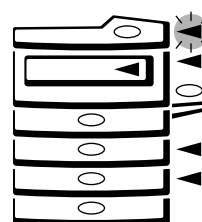
A3 サイズは 2 枚としてカウントします。
連続コピー中は、ゼロキー⓪を押してもコピー済み枚数が表示され、総印刷枚数は表示されません。

こんな表示が出たら

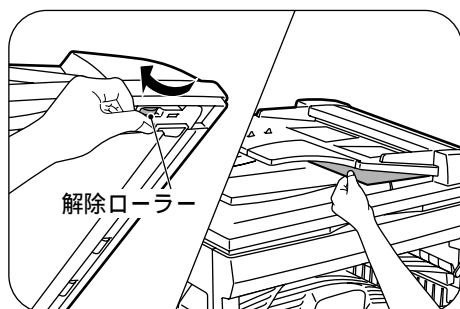
操作パネルに次のような表示が出たときには、次の表と参照ページをご覧のうえ、すみやかに処置を行ってください。

アラーム表示と対処法一覧

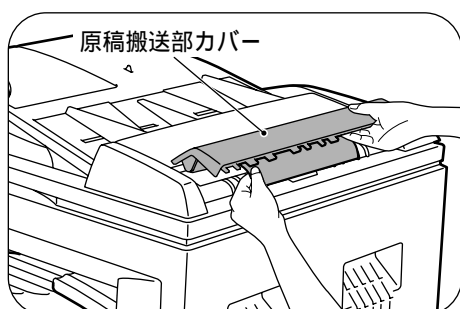
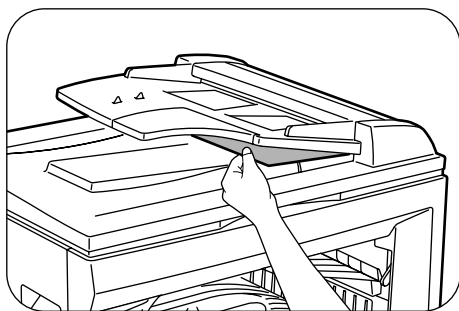
	表示			原因と対処	参照ページ
動作する		メンテナンスランプ	点灯	メンテナンス（保守点検）の実施時期がきています。 お買いあげの販売店にご連絡ください。	―
動作する		ミニメンテナンスランプ	点灯	ミニメンテナンス（保守点検）の実施時期がきています。 お買いあげの販売店にご連絡ください。 ※ミニメンテナンスランプ点灯後は、1枚ずつのコピーとなります。	―
動作する		トナーカートリッジ交換ランプ	点灯	トナーが少なくなっています。新しいトナーカートリッジを準備してください。お買いあげの販売店にお問い合わせください。	51
動作停止		トナーカートリッジ交換ランプ	点滅	トナーがなくなっています。トナーカートリッジを新しいものと交換してください。（点滅の場合は動作しません）	51
動作停止		用紙補給ランプ	点灯	トレイの用紙がなくなっています。 用紙を補給してください。 またはトレイが確実に入っていません。 トレイを確実に差し込んでください。	48
動作停止		紙づまりランプ	点滅	紙づまりが発生しています。 「つまった紙を取り除く」のページの説明に従って、つまった紙を取り除いてください。	57、79
動作停止	CH	コピー枚数表示部に〔CH〕が点灯		側面カバーが開いています。 前カバー、側面カバーの順に確実に閉じてください。	60
動作停止	L ⇩⇧ 3	コピー枚数表示部にアルファベットと数字が交互に点滅		内部で異常が発生しています。トラブルコードを控えたうえ電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、すみやかにお買いあげの販売店にご連絡ください。その際、表示されたトラブルコードと表示されたときの状況を詳しくお知らせください。	―
動作停止	別売品の2段給紙ユニット／1段給紙ユニットでの紙づまりを示す紙づまり位置表示ランプ ◄ が点滅している			別売品の2段給紙ユニット／1段給紙ユニットの側面カバーが開いています。 それぞれの側面カバーを閉じてください。	79

つまった紙を取り除く

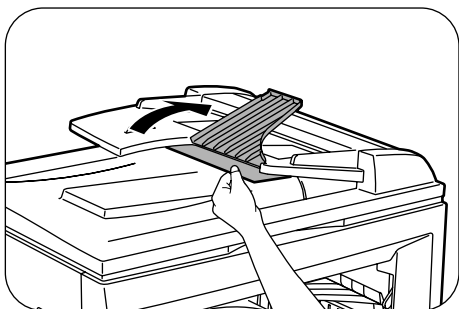
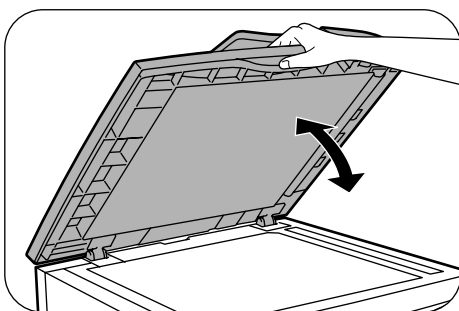
紙づまりが起こると、紙づまりランプ「8⁄√」と紙づまり位置表示ランプ「◄」が点滅し、本機は自動的に停止します。
「◄」ランプで紙づまりの箇所を確認し、紙を取り除いてください。

原稿自動送り装置での原稿づまり

原稿がつまると、コピー枚数表示部に原稿を戻す枚数がマイナス表示されます。
下図の原稿給紙部（A）、原稿搬送部（B）、原稿出紙部（C）をチェックし、つまった原稿を取り出してください。

1 **つまっている原稿を取り除く**

A部のチェック

原稿給紙部カバーを開いて、つまっている原稿を破らないように、ゆっくりと引き出します。

B部のチェック

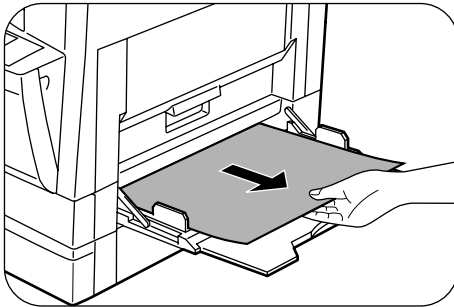
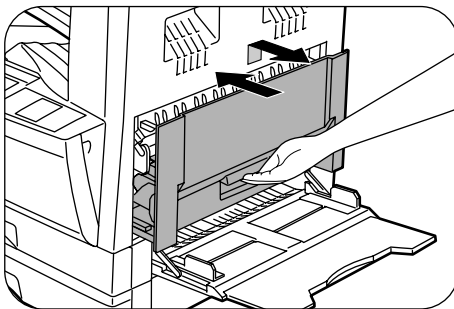
原稿自動送り装置を開いて、解除ローラーを矢印方向に回したあと、つまっている原稿を破らないように、ゆっくりと引き出します。

A5サイズなどの小さい原稿がつまった場合は、原稿搬送部カバーを開いて、つまっている原稿を破らないように、ゆっくりと引き出します。

C部のチェック

つまっている原稿を破らないように、ゆっくりと引き出します。

取り出しにくいときは、原稿セット台の可動部分を開けてから、つまっている原稿を破らないように、ゆっくりと引き出します。

2 原稿自動送り装置を開閉する

ランプの点滅が解除されます。

3 コピー枚数表示部にマイナス表示された枚数の原稿を原稿セット台に戻し、スタートキーを押す

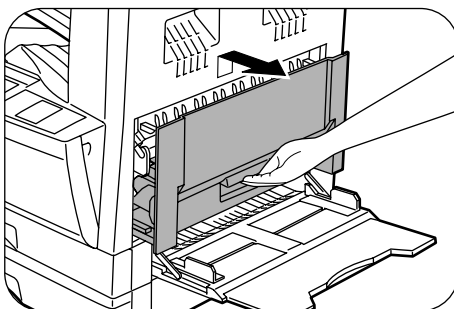
原稿がつまった時点の原稿の残り分から、コピーが再開されます。

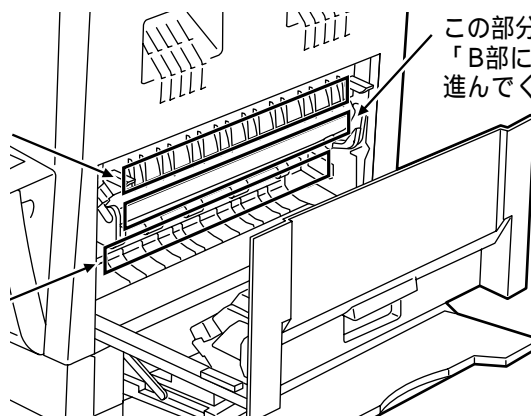
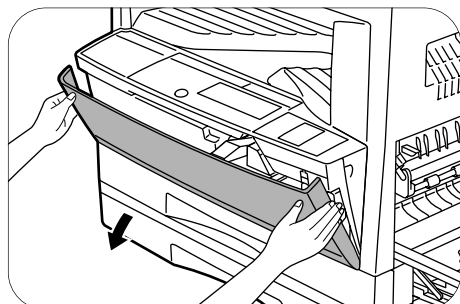
手差しトレイでの紙づまり

1 手差しトレイでつまっている紙を静かに取り出す

2 取っ手を持ち上げながら側面カバーを開けたあと、閉じる

ランプの点滅が消え、コピーできる状態になります。

● お願い ●

- **側面カバーを閉じるときは、取っ手を押さえてください。**
- **ランプの点滅が消えないときには…**
  紙片などが残っていないかもう一度確認してください。

内部での紙づまり

1 手差しトレイを開き、取っ手を持ち上げながら側面カバーを開く

2 どの場所で紙づまりが発生しているか確認する

A部につまっている場合

1 前カバーを開く

両端を軽く押さえながら開きます。

2 紙送りノブを矢印方向に回して、つまった紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

⚠注意

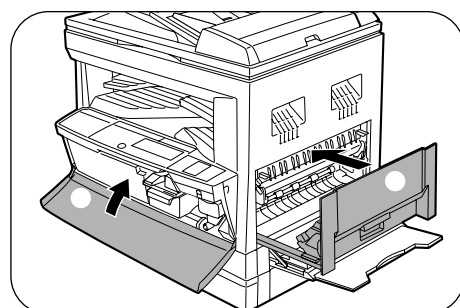
定着部は高温になっています。紙づまりを取り除くときは、定着部に触れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。

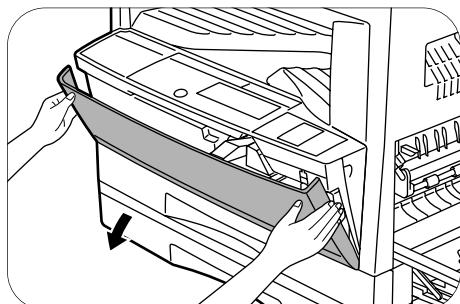
● お願い ●

- **紙を取り出すときに、感光体ドラム（緑色の部分）には触れないでください。ドラムに傷がつき、コピー汚れの原因となります。**

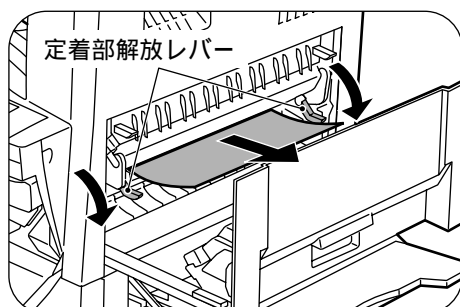
3 ①前カバーを閉じてから、②側面カバーを閉じる

ランプの点滅が消え、コピーできる状態になります。

● お願い ●

- **前カバーを閉じるときは、両端を軽く押さえてください。**
- **側面カバーを閉じるときは、取っ手を押さえてください。**
- **カバーを閉じるときは、必ず前カバーを閉じてから側面カバーを閉じてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。**

B部につまっている場合

1 前カバーを開く

両端を軽く押さえながら開きます。

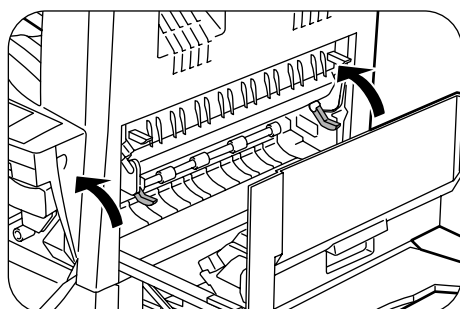
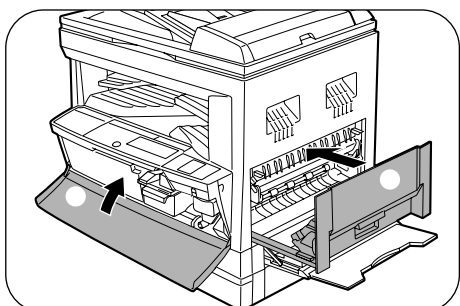
2 紙送りノブを矢印方向に回す

3 定着部解放レバーを下げて、つまった紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

⚠注意

定着部は高温になっています。紙づまりを取り除くときは、定着部に触れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。

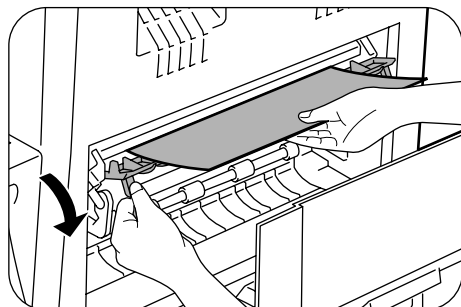
● お願い ●

- **紙を取り出すときに、感光体ドラム（緑色の部分）には触れないでください。ドラムに傷がつき、コピー汚れの原因となります。**
- **取り出した紙には、未定着のトナーが付いていますので、手や服を汚さないように注意してください。**

4 定着部解放レバーを上げる

5 ①前カバーを閉じてから、②側面カバーを閉じる

ランプの点滅が消え、コピーできる状態になります。

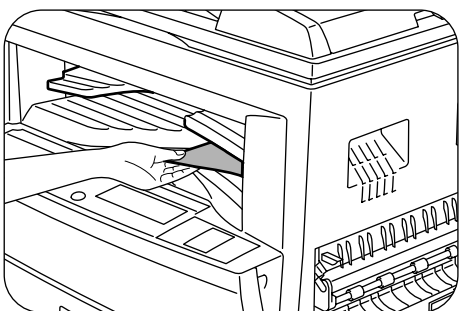
● お願い ●

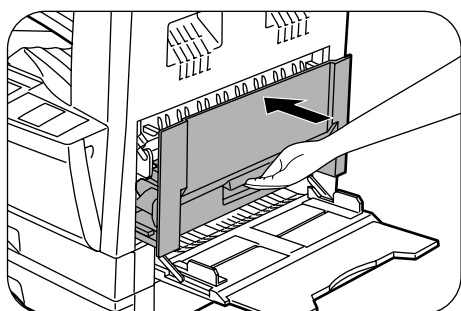
- **前カバーを閉じるときは、両端を軽く押さえてください。**
- **側面カバーを閉じるときは、取っ手を押さえてください。**
- **カバーを閉じるときは、必ず前カバーを閉じてから側面カバーを閉じてください。順番を間違えるとカバーを破損するおそれがあります。**

C部につまっている場合

1 **紙送りガイドの端にある突起部分を下げて、紙送りガイドを開き、つまった紙を取り出す**

破れないように静かに取り出してください。

⚠注意

定着部は高温になっています。紙づまりを取り除くときは、定着部に触れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。

2 **手順1でつまった紙が取り出せないときは、出紙部から取り出す**

破れないように静かに取り出してください。

3 **側面カバーを閉じる**

ランプの点滅が消え、コピーできる状態になります。

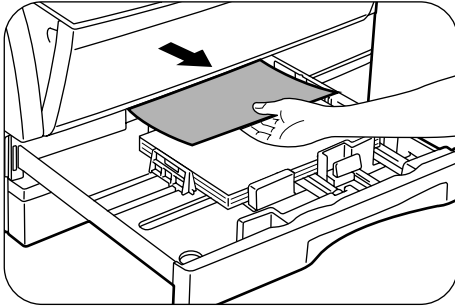
● お願い ●

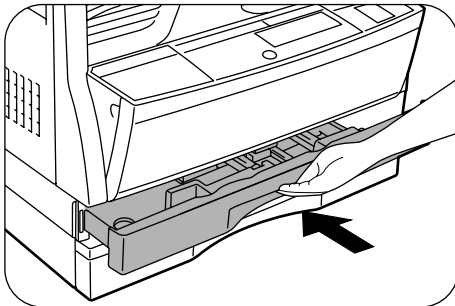
- **側面カバーを閉じるときは、取っ手を押さえてください。**

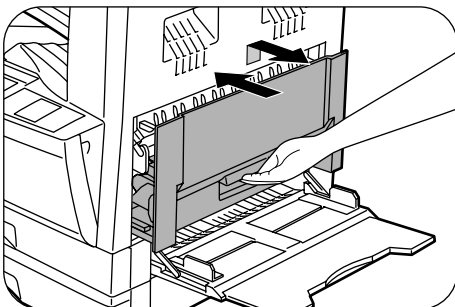
メモ 紙が破れたときは、紙片を機器の中に残さないように完全に取り除いてください。

トレイ（1段目）での紙づまり

● お願い ●

- トレイを引き出す前に、内部での紙づまりでないことを必ず確かめてください。（☞ 59、60 ページ）

1 トレイ（1段目）を引き出し、つまった紙を取り出す

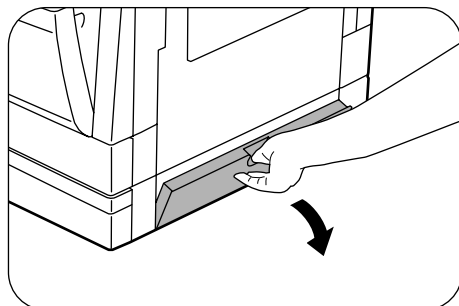
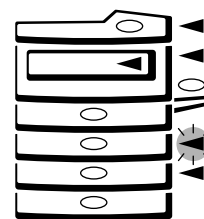
破れないように静かに取り出してください。

2 トレイを静かに押し込む

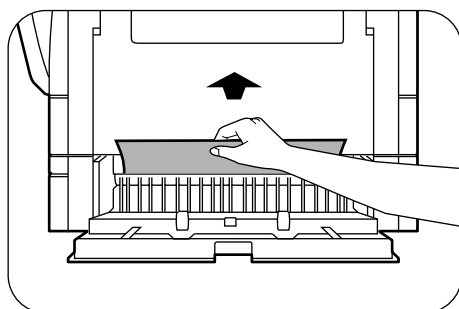
奥まで確実に押し込みます。

3 取っ手を持ち上げながら側面カバーを開けたあと、閉じる

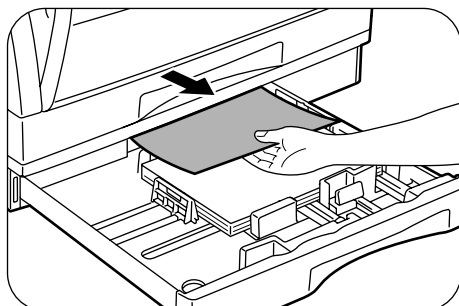
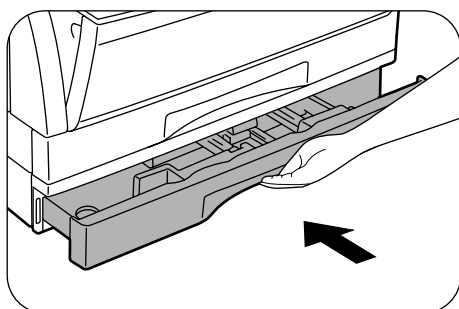
ランプの点滅が消え、コピーできる状態になります。

● お願い ●

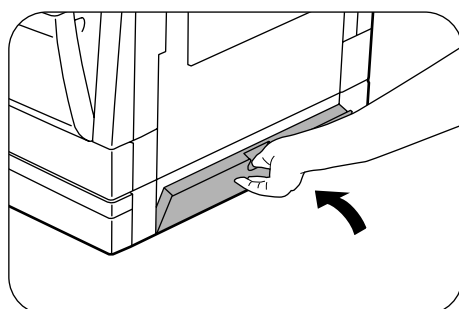
- 側面カバーを閉じるときは、取っ手を押さえてください。
- ランプの点滅が消えないときには…
  紙片などが残っていないかもう一度確認してください。

トレイ（2段目）での紙づまり

1 側面カバーを開く

取っ手をつまみ、静かに開いてください。

2 つまっている紙を取り出す

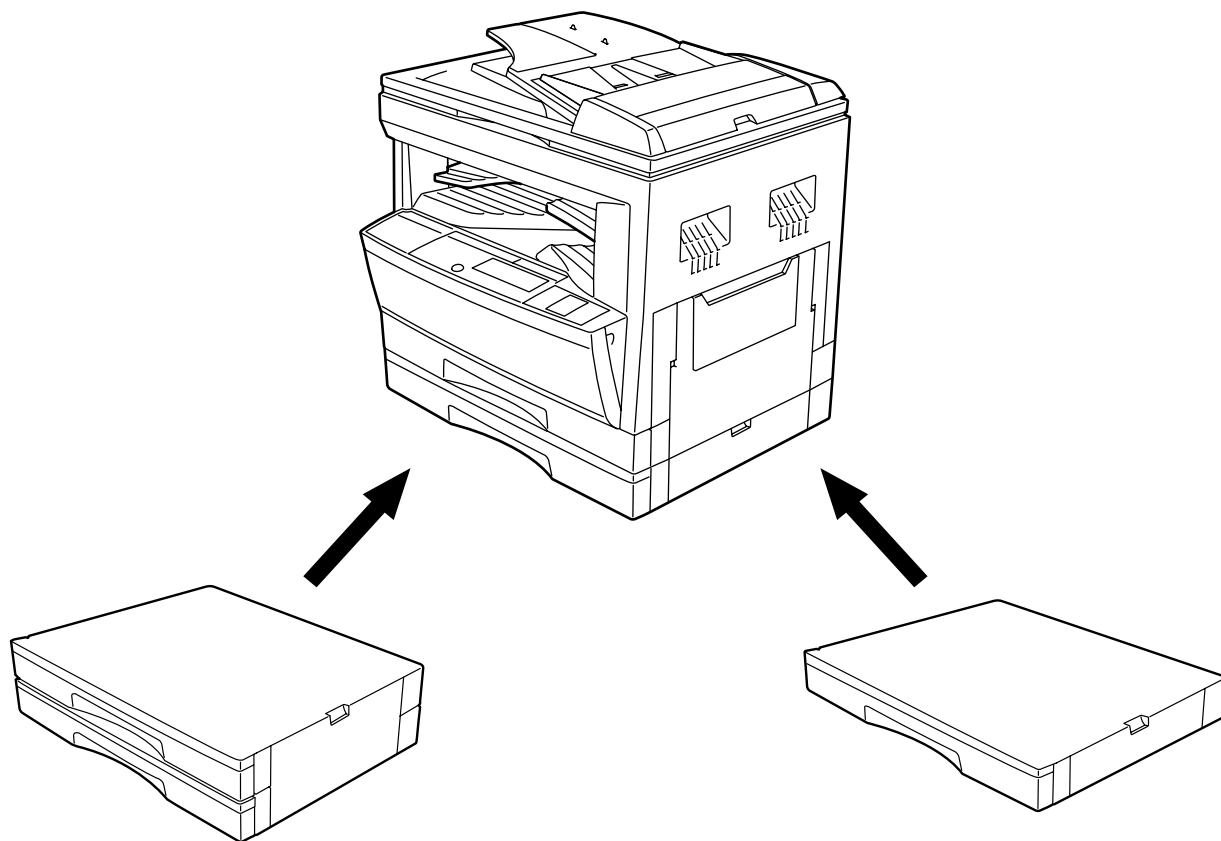
破れないように静かに取り出してください。

3 手順2で紙がつまっていなかったときは、トレイ（2段目）を引き出し、つまった紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

4 トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。

5 側面カバーを静かに閉じる

ランプの点滅が消え、コピーできる状態になります。

周辺装置（別売品）の種類とはたらき

別売品のご購入の際は、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

2段給紙ユニット AR-DE6（☞ 78ページ）

● 用紙を 250 枚ずつセットできるトレイを 2 段増やすことができます。

1段給紙ユニット AR-DE5（☞ 78ページ）

● 用紙を250枚セットできるトレイを1段増やすことができます。

電子ソートボード AR-EB3（☞ 次ページ）

● 本機の機能を拡張することができます。

専用台大

● コピー用紙などを収納できる専用台です。

専用台小

● コピー用紙などを収納できる専用台です。

ハンドセット AR-HN2

● 電話やファクシミリ手動送受信の機能を使うことができます。

プリンタ拡張キット AR-PB8

● プリンタとしての機能を追加することができます。

便利な機能を追加する 電子ソートボード AR-EB3

電子ソートボードを装着すると、以下の便利な機能を追加することができます。必要な部分を選んでお読みください。

- 複数枚の原稿を 1 部ずつコピーしたものを仕分けして排紙する。（ソートコピー☞ 下記）
- ページ単位で複数枚コピーしたものを仕分けして排紙する。（グループコピー☞ 下記）
- 複数ページ分の画像を 1 枚の用紙に割り付けしてコピーする。（2 IN 1 ／ 4 IN 1 コピー☞ 68 ページ）
- とじしろ（約 9mm）をつくってコピーする。（とじしろコピー☞ 72 ページ）
- 原稿まわりの影を消す。（枠消去コピー☞ 74 ページ）
- 画像を 90 度回転してコピーする。（回転コピー☞ 76 ページ）

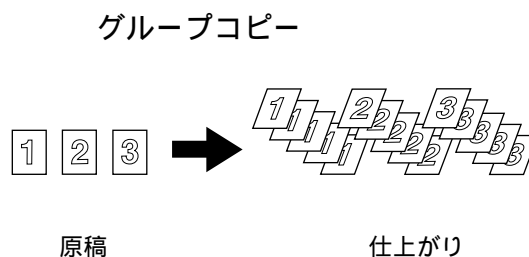
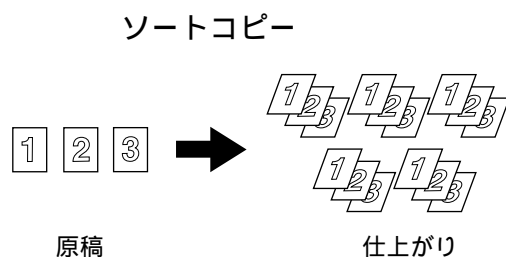
仕分けしてコピーする（ソート/グループコピー）

【例】3枚の原稿を5部コピーする

ソートコピー

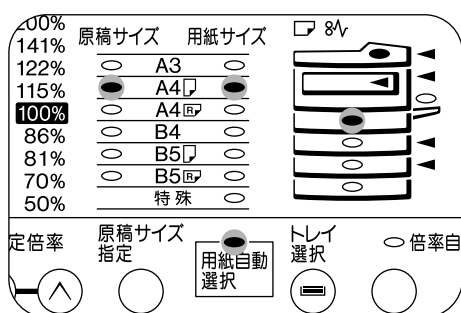
原稿　**仕上がり**

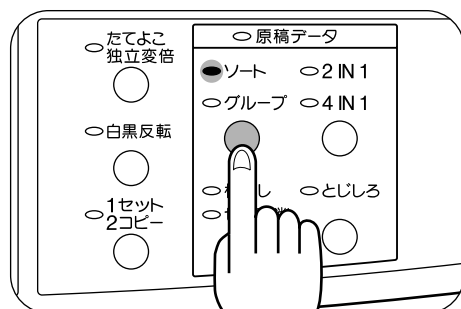
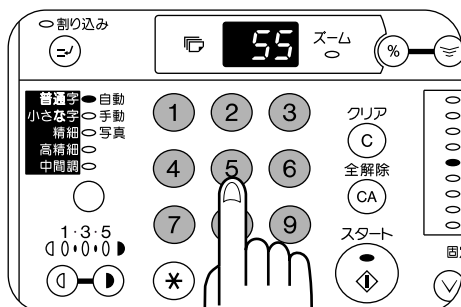
グループコピー

原稿　**仕上がり**

> メモ　電子ソートボードは、A4標準原稿で約60枚読み込むことができますが、写真など読み込む原稿によって、その枚数は異なります。

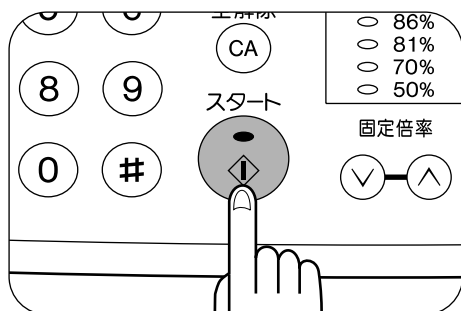
原稿自動送り装置を使って仕分けコピーする

1 **原稿を原稿セット台にセットする（☞ 19ページ）**

2 **原稿と同じサイズの用紙がセットされているトレイが自動的に選択される（A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズの用紙のみ）**

3 **ソート／グループキーを押して、モードを選ぶ**

「ソート」→「グループ」→「モード解除」の順に選択できます。

4 コピー枚数を設定する

最大99枚まで設定できます。

取消 **設定枚数を間違えたときには…**
クリアキーⓒを押してから、正しく設定しなおしてください。

5 スタートキーを押す

全ての原稿を読み込んだあと、コピー動作が始まります。

取消 **ソート／グループコピーを中止するには…**
クリアキーⓒを押します。

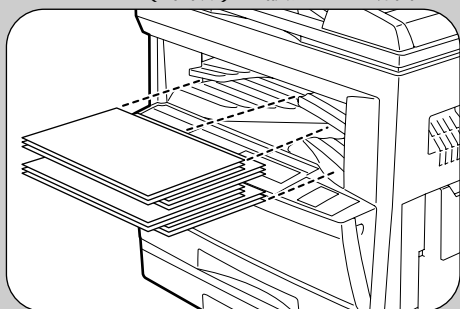
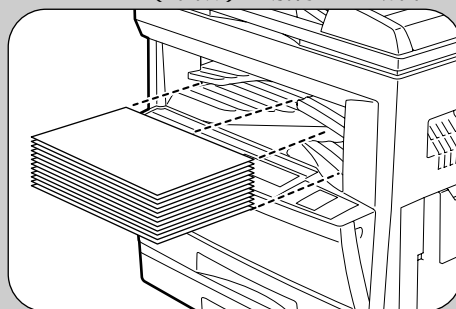
取消 **ソート／グループモードを解除するには…**
ソート／グループキーを何回か押して、ソート／グループ表示ランプが消えている状態にします。

メモ 原稿の読み込み途中でメモリーがいっぱいになると、原稿データランプが点滅し読み込み動作を停止します。
読み込んだデータをコピーする場合はスタートキーを、データを消去する場合はクリアキーⓒか全解除キーⒸⒶをそれぞれ押してください。

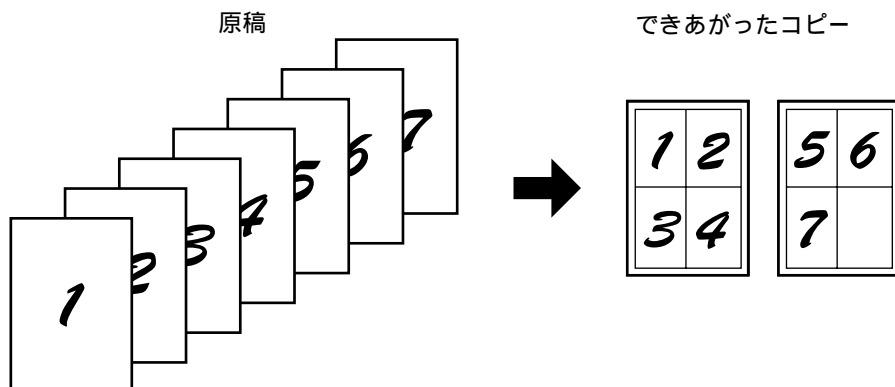
メモ ソート／グループコピー中にコピー受けの最大容量（150枚）をこえる用紙がコピー受けに排紙されると、コピー動作が停止します。そして、満杯検知表示ランプが点灯し、スタートキーの表示ランプが点滅します。すみやかに用紙を取り出し、スタートキーを押してコピーを再開してください。

メモ ソート／グループコピーと1セット2コピー（☞ 35 ページ)を組み合わせてコピーすることはできません。

メモ **ソート／グループコピー時のシフター機能について…**
ソート／グループコピーした用紙を1部ごとに、あるいは同ページ分ごとに位置をずらして排紙するため、それぞれ区別して容易に取り出すことができます。シフター機能は、ユーザープログラム（☞ 43ページ）で設定を変更することができます。

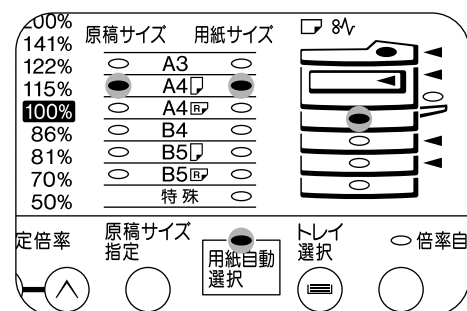
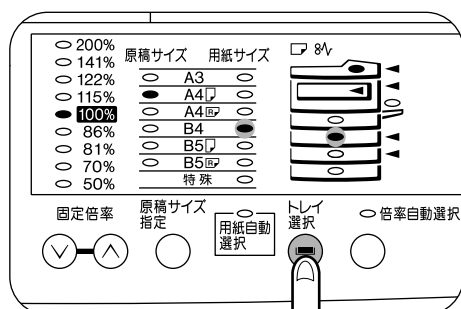
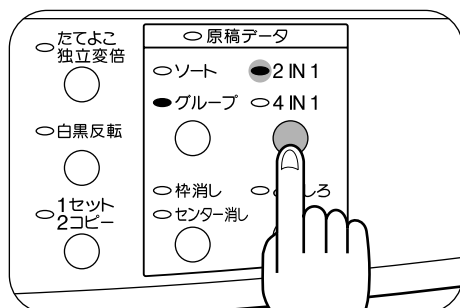
シフター（下段）を設定した場合

シフター（下段）を解除した場合

複数ページの画像を1枚の用紙に割り付けしてコピーする（2 IN 1／4 IN 1コピー）

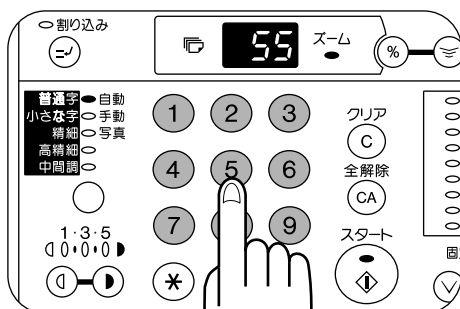
複数ページの原稿画像を1枚の用紙に均等に割り付けしてコピーすることができます。
ページ数の多い資料をコンパクトにまとめたり、全ページを一覧したいときに便利です。

【例】1枚の用紙に原稿4枚分をコピーする場合（面数：4 IN 1　レイアウト：パターン①　実線枠：設定）

レイアウトパターンの設定は「レイアウトパターンの設定方法」（☞ 70 ページ）で、画像の境界線に入れる実線枠の設定はユーザープログラム（☞ 43 ページ）で、それぞれ設定してから以下の手順を行ってください。

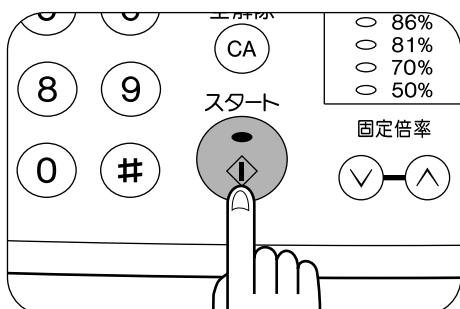
原稿自動送り装置を使って2 IN 1／4 IN 1コピーする

1 原稿を原稿セット台にセットする（☞ 19ページ）

2 原稿と同じサイズの用紙がセットされているトレイが自動的に選択される（A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズの用紙のみ）

3 必要に応じてトレイ選択キーを押して、用紙サイズを選ぶ

4 2 IN 1／4 IN 1キーを押して、モードを選ぶ

「2 IN 1」→「4 IN 1」→「モード解除」の順に選択できます。
グループコピーモードが選択されます。

5 コピー枚数を設定する

最大99枚まで設定できます。
1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーできます。

設定枚数を間違えたときには…
クリアキー Ⓒ を押してから、正しく設定しなおしてください。

6 スタートキーを押す

コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

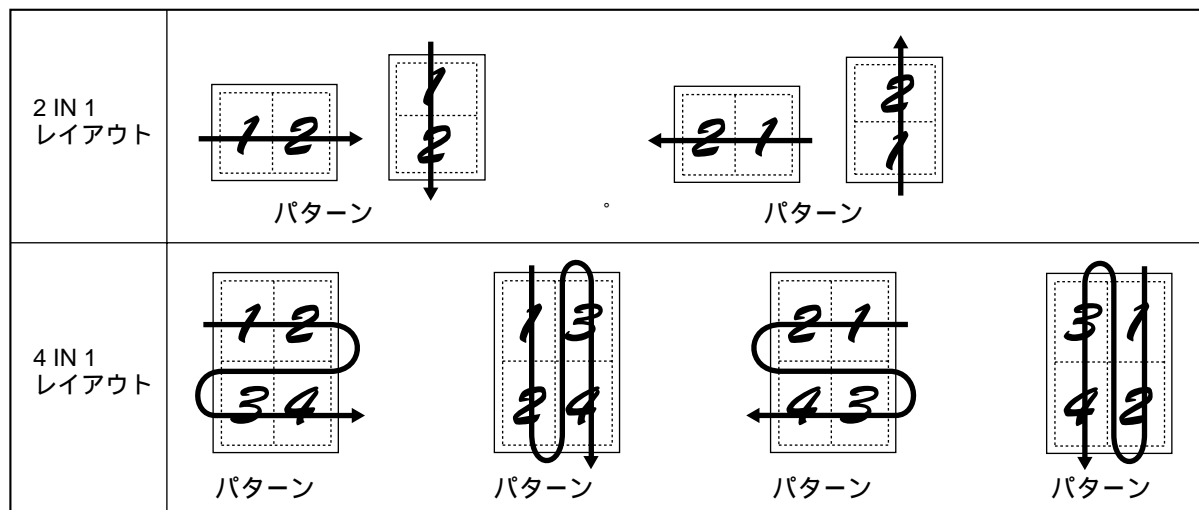
2 IN 1／4 IN 1コピーを解除するには…
2 IN 1／4 IN 1キーを何回か押して、2 IN 1／4 IN 1表示ランプが消えている状態にします。

メモ 原稿のサイズとコピーする用紙サイズおよび設定した面数に応じて、適切な倍率が自動的に設定されます。縮小倍率は50%までです。原稿のサイズとコピーする用紙サイズおよび設定した面数によっては、最適倍率が50%より小さくなることがあります。この場合、50%でコピーされるので、原稿の画像が欠けることがあります。

メモ ユーザープログラムで回転コピーが「解除」に設定されていても、用紙方向と割り付ける画像方向は必要に応じて回転してコピーします。

メモ 1セット2コピー（☞ 35ページ）、独立変倍コピー（☞ 38ページ）、とじしろコピー（☞ 72ページ）、枠消去コピー（☞ 74ページ）は2 IN 1／4 IN 1コピーと組み合わせてコピーすることはできません。

レイアウトパターンの設定方法

2ページ分（2 IN 1）や4ページ分（4 IN 1）の画像を1枚の用紙に割り付けしてコピーする際のレイアウトパターンを設定することができます。

2 IN 1レイアウトの場合

1 **2 IN 1／4 IN 1表示ランプが点灯していない状態で、2 IN 1／4 IN 1キーを約5秒間押し続けて設定を開始する**

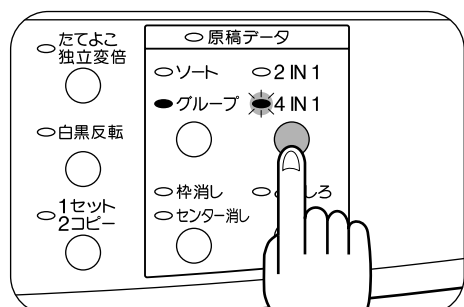
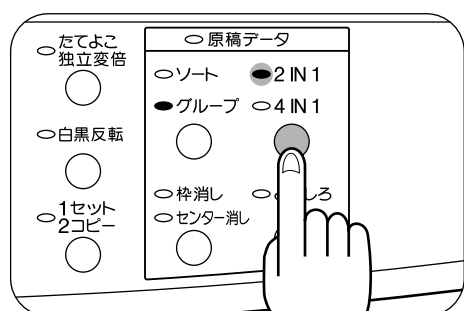
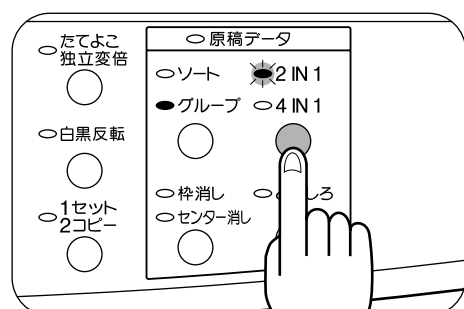
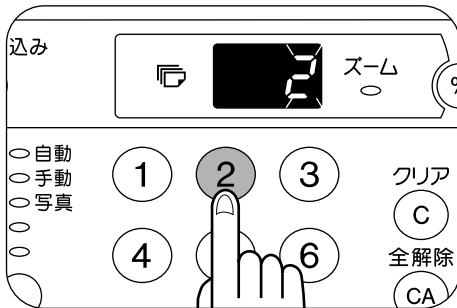
2 IN 1表示ランプが点滅し、コピー枚数表示部の一の位に現在設定されているパターンの設定コードが点滅します。

手順3へお進みください。

4 IN 1レイアウトの場合

1 **2 IN 1／4 IN 1キーを繰り返し押し、2 IN 1表示ランプを点灯させる**

2 **もう一度、2 IN 1／4 IN 1キーを約5秒間押し続ける**

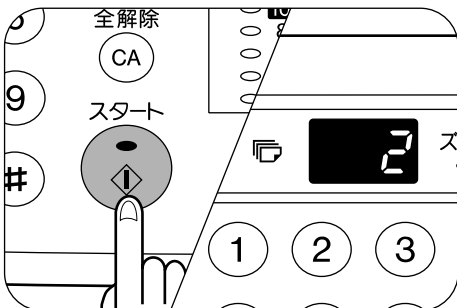
4 IN 1表示ランプが点滅し、コピー枚数表示部の一の位に現在設定されているパターンの設定コードが点滅します。

3 数字キーで「設定コード」を選択する

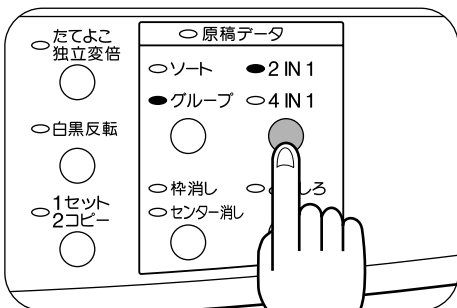
「パターン②」に設定する場合は②を押します。

次の設定コードを参照して設定してください。

機　能　名	設定コード	機　能　名	設定コード
2 IN 1レイアウト	＊1（パターン①） 2（パターン②）	4 IN 1レイアウト	＊1（パターン①） 2（パターン②） 3（パターン③） 4（パターン④）

＊は工場出荷時の設定

コピー枚数表示部の一の位に、押したキーの数字が点滅します。

4 スタートキーを押す

選択した「設定コード」が点滅から点灯に変わります。
これで設定が行われました。

5 2 IN 1／4 IN 1キーを押して、設定操作を終了する

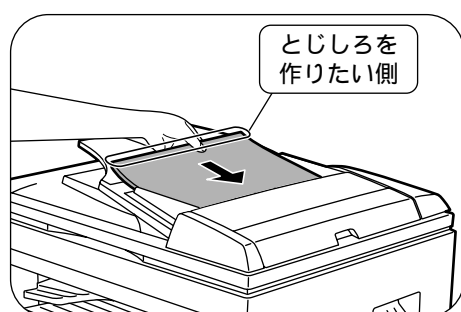
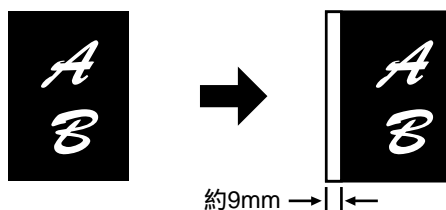
コピー枚数表示部は、通常の枚数表示に戻ります。

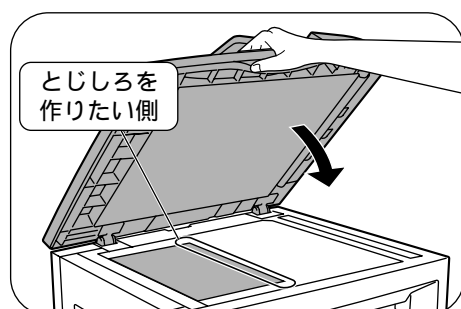
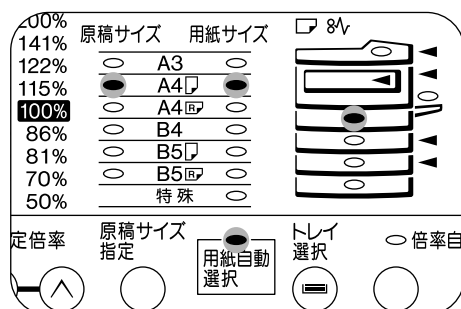
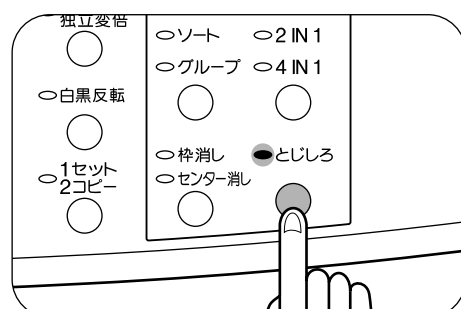
メモ　レイアウトパターンの設定は、ユーザープログラムでも行うことができます。（☞ 43 ページ）

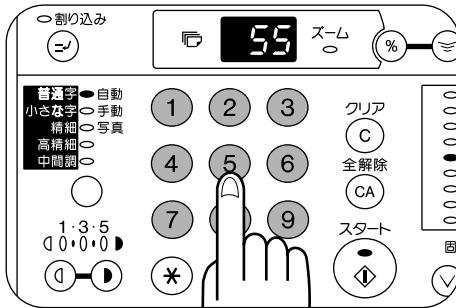
とじしろを作ってコピーする（とじしろコピー）

原稿の画像を移動させて、コピーにとじしろ（約9mm）を作ることができます。このとじしろは、ひもやステープルなどでコピーをとじるときに便利です。

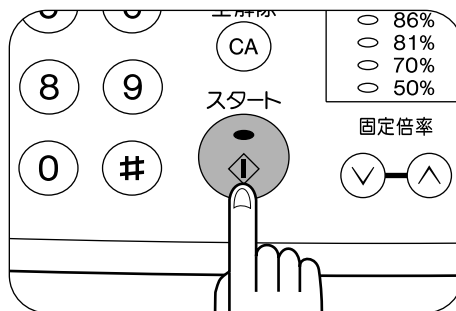
【例】　原稿　→　とじしろコピー

約9mm

1 原稿自動送り装置または原稿台（ガラス面）に原稿をセットする（☞ 19ページ）

原稿自動送り装置を使うときは、コピーしたい面を上向きにして、とじしろを作りたい側を左にしてセットします。

原稿台（ガラス面）を使うときは、コピーしたい面を下向きにし、とじしろを作りたい側を右にします。

2 原稿と同じサイズの用紙がセットされているトレイが自動的に選択される（A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズの用紙のみ）

3 とじしろキーを押す

とじしろ表示ランプが点灯します。

4 コピー枚数を設定する

最大99枚まで設定できます。
1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーできます。

取消 **設定枚数を間違えたときには…**
クリアキー Ⓒ を押してから、正しく設定しなおしてください。

5 スタートキーを押す

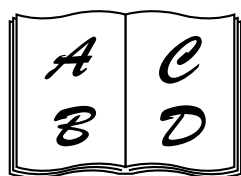
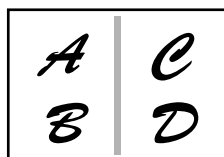
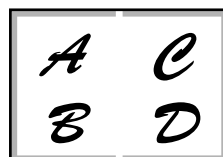
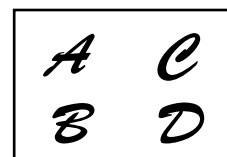
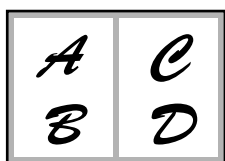
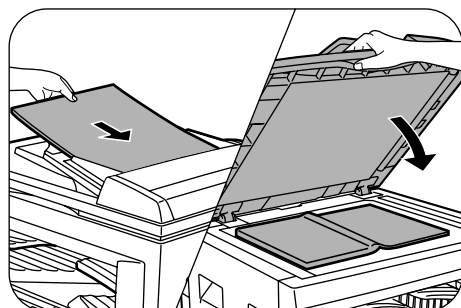
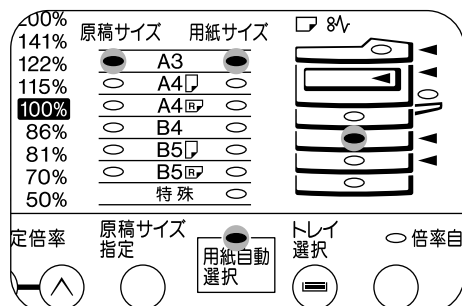
コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

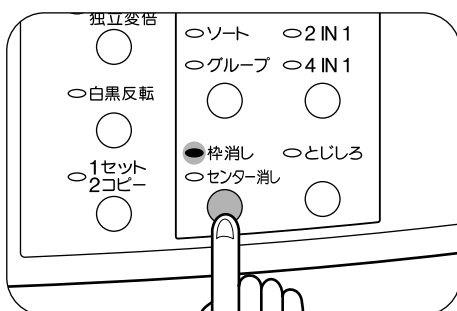
取消 **とじしろコピーを解除するには…**
とじしろキーを押してください。とじしろ表示ランプが消灯して解除されます。

メモ とじしろコピーと2 IN 1／4 IN 1コピー（☞ 68ページ）を組み合わせてコピーすることはできません。

原稿まわりの影を消す（枠消去コピー）

厚手の原稿や、ブック物などの原稿をコピーしたときにできる周囲の影などをコピーする用紙サイズに合わせて消すことができます。（枠消し）また、ブック物などの原稿を見開きでコピーしたときにできるとじしろ部分の影を消すこともできます。（センター消し）
影を消す範囲の標準設定値は、約10mmです。ユーザープログラムの操作により、設定値を変更することができます。（☞ 42ページ）

【例】　ブック物などの原稿　　　　**できあがったコピー**

枠消し　**センター消し**

枠消し＋センター消し

普通に見開きコピーすると

周囲や中央の影が黒く写ることがあります。

1 原稿自動送り装置または原稿台（ガラス面）に原稿をセットする（☞ 19ページ）

2 原稿と同じサイズの用紙がセットされているトレイが自動的に選択される（A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズの用紙のみ）

> メモ　用紙サイズを特殊にしたり、手差しトレイを選択すると、枠消去コピーははたらきません。

3 枠消去キーを押して、モードを選ぶ

「枠消し」→「センター消し」→「枠消し／センター消し」→「モード解除」の順に選択できます。

4 コピー枚数を設定する

最大99枚まで設定できます。
1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーできます。

> **取消 設定枚数を間違えたときには…**
> クリアキーⓒを押してから、正しく設定しなおしてください。

5 スタートキーを押す

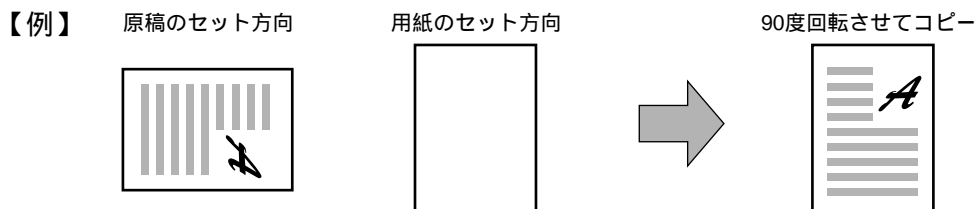
コピー受けにコピーされた用紙が出てきます。

> **取消 枠消去コピーを解除するには…**
> 枠消去キーを何回か押して、枠消去表示ランプが消えている状態にします。

> メモ 枠消去コピーと2 IN 1／4 IN 1コピー（☞ 68ページ）を組み合わせてコピーすることはできません。

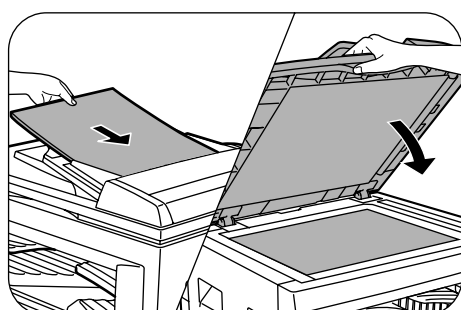
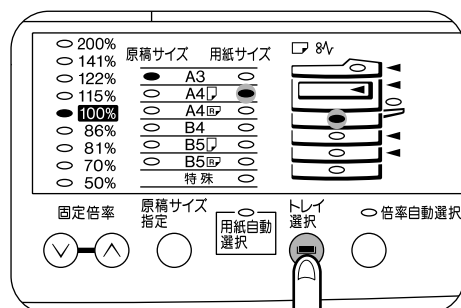
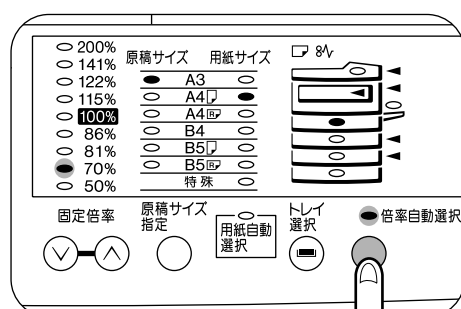
画像を９０度回転してコピーする（回転コピー）

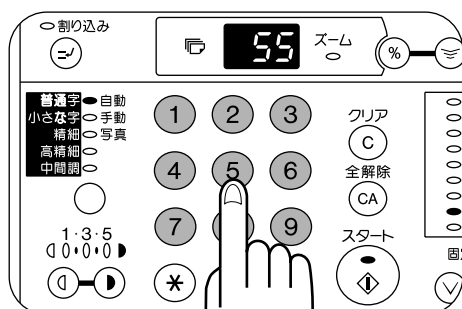
用紙自動選択または倍率自動選択機能がはたらいているときに、原稿と用紙のセット方向（縦・横の向き）が異なる場合は、原稿の画像を自動的に90度回転させてコピーします。
A3やB4サイズのように横長方向にしかセットできない原稿を、縦長方向の用紙にコピーするとき、とても便利な機能です。
回転コピー機能は、あらかじめ設定されていますが、ユーザープログラム（☞ 42ページ）により「解除」することができます。

【例】 **原稿のセット方向**　**用紙のセット方向**　**90度回転させてコピー**

● お願い ●

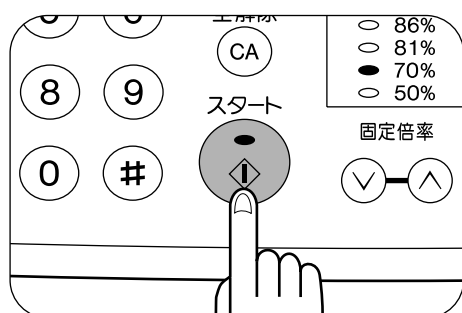
- **A4よりも大きいサイズの用紙に拡大コピーを行う場合は、回転してコピーすることはできません。この場合、検知された原稿サイズに合った原稿サイズ表示ランプが点灯し、必要な方向の原稿サイズ表示ランプが点滅します。点滅しているランプのサイズ、方向に合うように原稿を90度回転させれば、原稿の画像をコピーすることができます。**

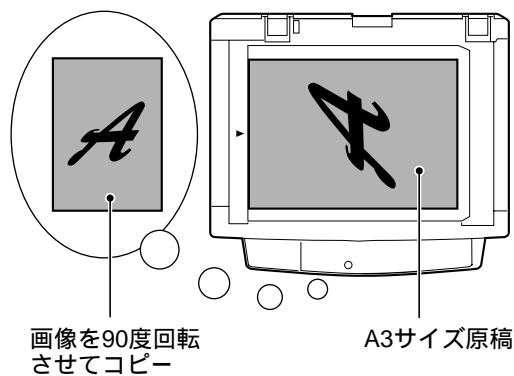
ユーザープログラムで回転コピーが「解除」に設定されていても、2 IN 1／4 IN 1 コピー（☞ 68 ページ）を設定した場合、回転コピーがはたらきます。

例：原稿が A3 サイズ（横長方向）で、トレイに A4 サイズ（縦長方向）の用紙しかセットされていない場合

1 原稿自動送り装置または原稿台（ガラス面）に原稿をセットする（☞ 19ページ）

2 トレイ選択キーで用紙サイズを選ぶ

3 倍率自動選択キーを押す

トレイの用紙サイズと同じ方向に回転させた場合の最適な倍率を自動的に選択します。

4 コピー枚数を設定する

最大99枚まで設定できます。
1枚だけコピーするときは、枚数表示が「0」のままでもコピーできます。

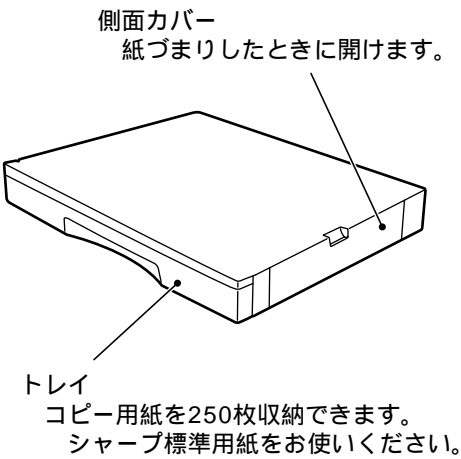
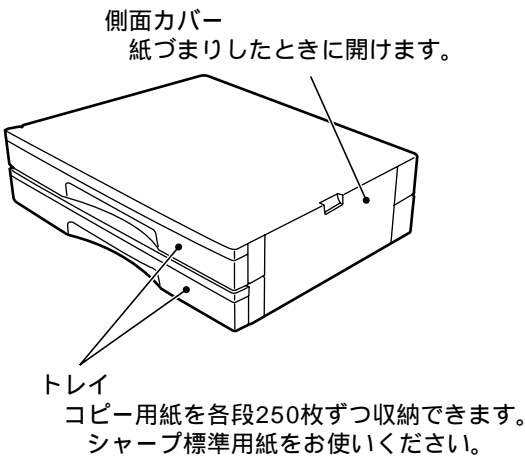
> **取消** **枚数を間違えたときには…**
> クリアキー(C)を押してから、正しく設定しなおしてください。

5 スタートキーを押す

画像を90度回転させてコピーします。

給紙するトレイを増やす　2段給紙ユニット AR-DE6 1段給紙ユニット AR-DE5

2段給紙ユニット／1段給紙ユニットを取り付けると、A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rサイズのいずれかを250枚ずつ収納可能なトレイを2段（1段給紙ユニットでは1段）増やすことができます。（セットしておける用紙サイズの種類を増やせます。）

各部のなまえとはたらき

2段給紙ユニット AR-DE6

1段給紙ユニット AR-DE5

※以降の説明のイラストは、AR-DE6のものを使用していますがAR-DE5の場合も基本的な操作はAR-DE6と同じです。

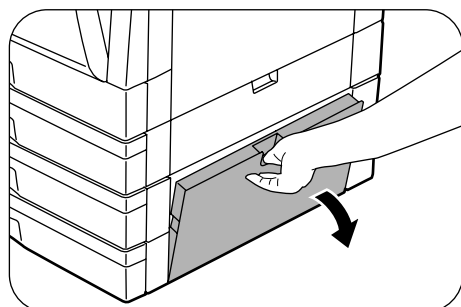
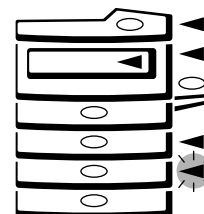
仕　様

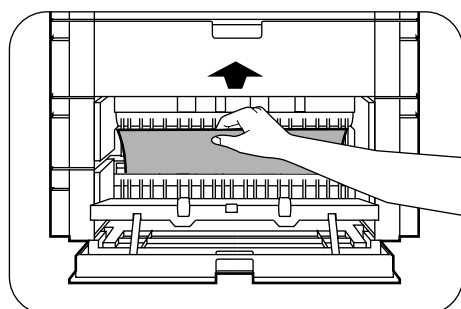
名称	2段給紙ユニット AR-DE6	1段給紙ユニット AR-DE5
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R	
収納枚数	約250枚×2段	約250枚×1段
用紙質量	56g/m²～80g/m²	
用紙搬送方法	ローラー搬送（センター基準）	
電源	本体より供給	
大きさ	幅590mm×奥行471mm×高さ173.5mm	幅590mm×奥行471mm×高さ88mm
質量	約9.1kg	約4.7kg

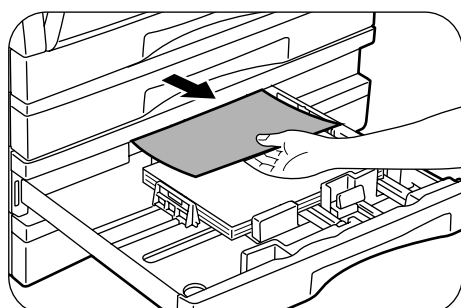
※これらの製品は、改良のために予告なく変更することがあります。

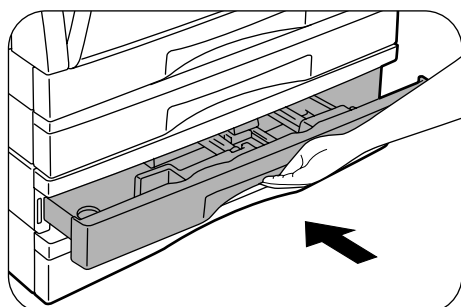
メモ　2段給紙ユニットAR-DE6および1段給紙ユニットAR-DE5には用紙の吸湿を防ぐ保温ヒーターが内蔵されています。（保温ヒーターの入／切については☞ 15 ページ）

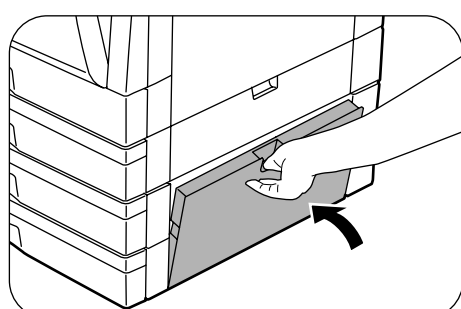
紙づまりの処置

用紙がつまると、紙づまりランプ「8∿」と紙づまり位置表示ランプ「◄」が点滅し、本機は自動的に停止します。2段給紙ユニット／1段給紙ユニットで紙づまりが起きているときは、次の手順で紙を取り除いてください。
2段給紙ユニット／1段給紙ユニット以外の箇所で紙づまりが起きているときは、57ページをご覧のうえ、処置を行ってください。

1 側面カバーを開く

取っ手をつまみ、静かに開いてください。

2 つまっている紙を取り出す

破れないように静かに取り出してください。

3 手順2で紙がつまっていなかったときは、給紙していたトレイを引き出し、つまっている紙を取り出す

破れないように静かに引き出してください。

4 トレイを静かに押し込む

奥まで確実に押し込んでください。

5 側面カバーを静かに閉じる

ランプの点滅が消え、コピーできる状態になります。

トレイへの用紙補給

2段給紙ユニットAR-DE6と1段給紙ユニットAR-DE5のトレイへの用紙補給の手順は、本体トレイの用紙補給と同じです。48ページを参照して用紙を補給してください。

用紙サイズの設定方法

2段給紙ユニットAR-DE6と1段給紙ユニットAR-DE5のトレイの用紙サイズの設定方法は、本体トレイの用紙サイズ設定と同じです。50ページを参照してトレイの用紙サイズを設定してください。

消耗品の種類と保管

この製品には、消耗品としてコピー用紙、コピーキットなどが必要です。

- コピー用紙は当社標準の用紙をお使いになることをお薦めいたします。
  推奨紙には普通紙の他に、カラーペーパー、リサイクルペーパー、OHP フィルム、ラベル紙、ハガキ用紙があります。
- 詳しくはお買いあげになりました販売店にお問い合わせください。

コピーキット

黒色用

品　　名	形　　名
5,000枚キット	AR-CK32-B
10,000枚キット	AR-CK31-B

- コピーキットのコピー枚数は、A4サイズで黒ベタ部分6%を基準としています。
- 消耗品は必ず当社指定のものをご使用ください。

消耗品の形名は予告なく変更する場合があります。

シャープ標準用紙

《シャープ標準用紙仕様基準》

・外観と形状

コピー用紙にカール、しわ、紙折れ、裁断不良によるバリなどが認められないもの

・物性値（標準タイプ紙）

坪　量	$64.0^{+4.0}_{-2.0}$ g/m^2	平滑度	30±10秒
紙　厚	87±3mm/1,000	含水率	5.0±0.5%
剛度縦	20.4±0.8cm	不透明度	83±2%
剛度横	15.9±1.3cm	寸法精度	A、B列ともに±1.0mm

消耗品の保管方法

- 次のような場所をさけて保管してください。
  - ・湿気の多い場所
  - ・高温および極端に低温の場所
  - ・直射日光に当たる場所
  - ・ホコリの多い場所
- 用紙は立てかけないで水平に保管してください。
- 用紙の残りは、必ず用紙の袋に入れ、袋の口を閉じて保管してください。そのままにして放置するとカールや吸湿が起こり、紙づまりの原因となります。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないときがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなとき	ここをお確かめください	対処	参照ページ
本機が動かない	電源プラグが差し込まれていない	差し込んでください。	－
	“ 電源スイッチ ” が入っていない	「入」にしてください。	14
	「予熱ランプ」が点滅している	準備中（“ 電源スイッチ ” を入れた直後から約35秒以内）であることを示しています。このあいだはコピーすることはできません。コピーできる状態になると消えます。	14
	側面カバーがきちんと閉じられていない	側面カバーを静かに閉じてください。	－
	前カバーがきちんと閉じられていない	①前カバー②側面カバーの順で静かに閉じてください。	－
	スタートキーの表示ランプが点滅している	トナー補給動作中です。点滅が終わるまでお待ちください。	－
「予熱ランプ」が点灯している	「予熱ランプ」以外の表示ランプも点灯している	プレヒート中です。操作パネルのいずれかのキーを押して解除してください。	42
	「予熱ランプ」のみが点灯している	オートパワーシャットオフ中です。 “ スタートキー ” を押して解除してください。	42
コピーされた用紙のサイズが選んだ用紙サイズと違う（コピーの後端が白く抜ける、原稿の後端が切れる）	トレイの用紙サイズを変更した際に用紙サイズの設定を切り替えていない	トレイの用紙サイズを変更した場合は、必ず用紙サイズの設定を変更してください。	50
画像が薄いまたは濃い	原稿の画像が薄い、または濃い	手動でコピー濃度を調整してください。	23
	写真コピー状態になっている	写真コピー状態を解除してください。	24
コピーに汚れが写る	原稿台のガラス面・原稿自動送り装置の裏側が汚れている	原稿台のガラス面および原稿自動送り装置の裏側を清掃してください。	53
	原稿が汚れている	きれいな原稿をご使用ください。	－
コピーに白や黒いスジが写る	転写チャージャーを清掃していない	転写チャージャーを清掃してください。	54
紙づまりが発生する	シャープ標準用紙以外の用紙をトレイで使用している	トレイでは、シャープ標準用紙をご使用ください。	81
	用紙がカールしたり湿っている	カールしたり、折れ曲がっている用紙は使用しないでください。長期間使用しない場合は、トレイから用紙を取り出し、吸湿しないように袋に入れて冷暗所に保管してください。	81
	A5サイズの用紙を2段目のトレイや別売品の給紙ユニットにセットしてコピーしている	A5サイズの用紙は、1段目のトレイか手差しトレイにセットしてコピーしてください。	30、48
こすると画像部分が消えたり、コピーにしわがよる	規定範囲以外のサイズおよび重さの用紙を使用している	規定範囲内の用紙をご使用ください。	29
	用紙が湿気をおびている	用紙を取り替えてください。 長期間使用しない場合は、トレイから用紙を取り出し、吸湿しないように袋に入れて冷暗所に保管してください。	81
用紙サイズの設定ができない	ファクスモードになっている	モード切替キーを押してコピーモードを選択してください。	16
	ファクスやプリンタの印刷中である	ファクスやプリンタの印刷が終わってから設定してください。	50
	コピーの印刷中や紙づまりなどの異常による動作停止中である	コピーの印刷や異常内容の処置が終わってから設定してください。	－
	割り込みコピーになっている	割り込みコピーが終わってから設定してください。	40
原稿サイズが自動的に選択されない	原稿自動送り装置を完全に開いていない	原稿自動送り装置を完全に開き、原稿台に原稿を置いてください。そのあとで原稿自動送り装置を閉じてください。	－
	黒い部分の多い原稿がセットされている	黒い部分の多い原稿の場合は、原稿サイズを検知しないことがあります。原稿サイズ指定キーで選択してください。	－
	本機に直射日光が当たっている	直射日光が当たらない場所に設置してください。	－
照明器具のランプにチラツキが生じる	本機の電源プラグを照明器具と共通回路のコンセントに差し込んでいる	照明器具とつながっていない専用のコンセントに本機の電源プラグを差し込んでください。	3

● お願い ●

- **コピー枚数表示部や警告表示ランプの点灯などで異常を知らせ、動作が停止した場合は、「こんな表示が出たら」（☞ 56ページ）を参照してすみやかに処置を行ってください。**

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

① 「故障かな？と思ったら」（☞ 82ページ）をよくお読みください。

② それでも異常があるときは、使用をやめて電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはもよりのシャープドキュメントシステム（株）に次のことをご連絡のうえ、修理をお申し付けください。お申し出により出張修理いたします。

品名：デジタル複合機
形名：AR-F161
AR-F201のいずれか
故障の状態（できるだけ詳しく）

⚠**注意**

ご自分では修理しないでください。たいへん危険です。

③ アフターサービスについてわからないことは…
お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
次ページのとおり全国にお客様ご相談窓口を設けております。

補修用性能部品について

当社は、このデジタル複合機の補修用性能部品を製造打切後、最低7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

転居されるときの移動は、機器内部のトナーカートリッジなどを取り出す必要がありますので、ご転居の際はお買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

保守サービスシステムについて

この製品の性能や機能を維持するための保守サービスには、コピーキットサービスシステムあるいはスポットサービスシステムのいずれかを選択していただけるようになっております。
これらサービスシステムの詳しい運用内容につきましては、お買いあげの販売店にご相談のうえ、お決めください。

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は
お買いあげの販売店もしくは下記のご相談窓口へ

窓口区分

- **製品のお取扱い方法やご意見・ご質問などは…………（相談）窓口へ**
- **製品の修理・サプライ用品のお問い合わせは…………（修理）窓口へ**
- **製品の持込修理についてのお問い合わせは……………（持込）窓口へ**

お客様ご相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

窓口区分	担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
相談 修理	北海道	札幌技術センター	(011) 641-0751	〒063-0801	札幌市西区二十四軒１条7-3-17
修理		函館	(0138) 52-5190	〒040-0001	函館市五稜郭町31-17
修理		釧路	(0154) 24-8191	〒085-0051	釧路市光陽町8-13
修理		帯広	(0155) 21-2881	〒080-0018	帯広市西８条南3-17
相談 修理		旭川技術センター	(0166) 22-8284	〒070-0031	旭川市一条通４-左10
修理		北見	(0157) 36-6814	〒090-0836	北見市三輪435
相談 修理	青森県	青森技術センター	(017) 738-7778	〒030-0121	青森市妙見3-3-4
修理		八戸	(0178) 45-2631	〒031-0802	八戸市小中野2-8-16
相談 修理	岩手県	岩手技術センター	(019) 638-6085	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
相談 修理	宮城県	仙台技術センター	(022) 288-9161	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
修理	山形県	山形	(023) 631-6634	〒990-2332	山形市飯田2-7-43
修理		シャープ事務機山形販売(株)	(023) 633-3215	〒990-2214	山形市大字青柳字柳田55-3
相談 修理	秋田県	秋田技術センター	(018) 865-1258	〒010-0941	秋田市川尻町字大川反170-56
相談 修理	福島県	福島技術センター	(024) 946-0196	〒963-0111	郡山市安積町荒井字方八丁33-1
修理		いわき	(0246) 28-2487	〒970-8033	いわき市自由ケ丘37-10
相談 修理	茨城県	水戸技術センター	(029) 243-0909	〒310-0851	水戸市千波町1963
相談 修理	栃木県	宇都宮技術センター	(028) 634-0256	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
相談 修理	群馬県	前橋技術センター	(027) 252-7311	〒371-0855	前橋市問屋町1-3-7
相談 修理	埼玉県	出張修理受付窓口	(03) 5711-8100		
持込		埼玉技術センター	(048) 666-7148	〒330-0038	大宮市宮原町2-107-2
持込		埼玉東技術センター	(0489) 79-6459	〒343-0804	越谷市大字南荻島346-1
相談 修理	千葉県	出張修理受付窓口	(03) 5711-8100		
持込		千葉技術センター	(043) 299-8855	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2
持込		西千葉技術センター	(047) 368-8346	〒270-2231	松戸市稔台295-1
相談 修理	東京都	出張修理受付窓口	(03) 5711-8100		
持込		ドキュメントサービス部 第1地区	(03) 3624-7476	〒130-8610	東京都墨田区石原2-12-3
持込		ドキュメントサービス部 第2地区	(03) 3260-5253	〒162-8408	東京都新宿区市谷八幡町8
持込		ドキュメントサービス部 第3地区	(03) 3777-0850	〒143-0025	東京都大田区南馬込1-5-15
持込		東京第1技術センター	(03) 3624-7476	〒130-8610	東京都墨田区石原2-12-3
持込		東京第2技術センター	(03) 3973-7789	〒174-0074	東京都板橋区東新町1-33-11
持込		西東京技術センター	(042) 583-1993	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
持込	山梨県	山梨	(055) 228-3833	〒400-0049	甲府市富竹2-1-17
相談 修理	神奈川県	出張修理受付窓口	(03) 5711-8100		
持込		横浜技術センター	(045) 753-9540	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
持込		湘南	(045) 753-9540	〒254-0013	平塚市田村1381
持込		相模原	(045) 753-9540	〒229-1122	相模原市横山2-2-12
相談 修理	長野県	松本技術センター	(0263) 27-1636	〒399-0002	松本市芳野8-14
相談 修理		長野技術センター	(026) 293-6360	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
相談 修理	新潟県	新潟技術センター	(025) 284-6023	〒950-0993	新潟市上所中1-7-21
相談 修理		長岡技術センター	(0258) 23-1850	〒940-1104	長岡市摂田屋町字崩2600
相談 修理	富山県	富山技術センター	(076) 451-3933	〒930-0906	富山市金泉寺71-1
相談 修理	石川県	金沢技術センター	(076) 249-9033	〒921-8801	石川郡野々市町字御経塚町1096-1
修理	福井県	福井	(0776) 53-6050	〒918-8206	福井市北四ツ居町625
修理		シャープ事務機福井販売(株)	(0776) 27-1800	〒910-0067	福井市新田塚1-70-26
相談 修理	岐阜県	岐阜技術センター	(058) 274-7996	〒500-8358	岐阜市六条南3-12-9

お客様ご相談窓口

窓口区分	担当地域	拠　点　名	電　話　番　号	郵便番号	所　在　地
相談 修理	静岡県	静岡技術センター	(054)283-9497	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
修理		沼　津	(0559)24-1028	〒410-0062	沼津市宮前町11-4
相談 修理		浜松技術センター	(053)465-0735	〒430-0803	浜松市植松町1476-2
相談 修理	愛知県	ドキュメントサービス部	(052)332-2748	〒454-0011	名古屋市中川区山王3-5-5
相談 修理		名古屋技術センター	(052)332-2758	〒454-0011	名古屋市中川区山王3-5-5
相談 修理		豊橋技術センター	(0532)54-1830	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17-1
修理		岡　崎	(0564)25-0611	〒444-0065	岡崎市柿田町1-21
相談 修理	三重県	三重技術センター	(059)231-1573	〒514-0102	津市栗真町屋町字蒲池328
相談 修理	京都府	京都技術センター	(075)681-9551	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
修理		北近畿	(0773)23-6996	〒620-0054	福知山市末広町6-13
相談 修理	滋賀県	滋賀技術センター	(077)543-2331	〒520-2151	大津市栗林町11-35
相談 修理	大阪府	ドキュメントサービス部	(06)6794-6901	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
相談 修理		大阪技術センター	(06)6796-5430	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
相談 修理		堺技術センター	(0722)45-5855	〒590-0824	堺市老松町1-39
相談 修理		北大阪技術センター	(0726)34-4683	〒567-0831	茨木市鮎川5-15-3
相談 修理	兵庫県	神戸技術センター	(078)452-1762	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
相談 修理		阪神技術センター	(06)6421-2304	〒661-0981	尼崎市猪名寺3-2-10
相談 修理		姫路技術センター	(0792)66-8295	〒671-2222	姫路市青山5-7-7
相談 修理	奈良県	奈良技術センター	(0743)53-2023	〒639-1103	大和郡山市美濃庄町492
相談 修理	和歌山県	和歌山技術センター	(073)445-6298	〒641-0031	和歌山市西小二里2-4-91
相談 修理	島根県	松江技術センター	(0852)21-6110	〒690-0017	松江市西津田3-1-10
修理	鳥取県	鳥　取	(0857)26-4227	〒680-0802	鳥取市青葉町2-204
相談 修理	岡山県	岡山技術センター	(086)292-5830	〒701-0301	都窪郡早島町大字矢尾828
相談 修理	広島県	広島技術センター	(082)874-6100	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
修理		東広島	(0824)28-3065	〒739-0142	東広島市八本松東4-3-30
相談 修理		福山技術センター	(0849)52-0736	〒720-0841	福山市津之郷町大字津之郷272-1
相談 修理	山口県	山口技術センター	(083)972-4525	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町4-12
相談 修理	香川県	高松技術センター	(087)823-4980	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
修理	徳島県	徳　島	(088)625-8840	〒770-0813	徳島市中常三島町3-11-14
修理	高知県	高　知	(088)883-7039	〒780-8123	高知市高須960-1
相談 修理	愛媛県	松山技術センター	(089)973-0121	〒791-8036	松山市高岡町178-1
相談 修理	福岡県	福岡技術センター	(092)572-2617	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
相談 修理		南福岡技術センター	(0942)45-4551	〒839-0841	久留米市御井旗崎3-7-14
相談 修理		北九州技術センター	(093)592-6510	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町6-12
相談 修理	大分県	大分技術センター	(097)552-2164	〒870-0913	大分市松原町3-5-3
相談 修理	長崎県	長崎技術センター	(0957)53-3858	〒856-0817	大村市古賀島町613-3
修理	佐賀県	佐　賀	(0952)25-0983	〒840-0857	佐賀市鍋島町大字八戸字五本松篭2043-2
相談 修理	熊本県	熊本技術センター	(096)372-1251	〒862-0975	熊本市新屋敷3-15-17
相談 修理	鹿児島県	鹿児島技術センター	(099)259-0628	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1
修理	宮崎県	宮　崎	(0985)28-8371	〒880-0007	宮崎市原町4-12
相談 修理	沖縄県	沖縄シャープ電機株式会社	(098)861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

シャープ株式会社

シャープ製品に対するご意見・ご要望など一般のご相談は下記ご相談窓口へ

東日本相談室	☎(043)299-8021	FAX(043)299-8280	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	☎(06)6794-8021	FAX(06)6792-5993	〒547-0003	大阪市平野区加美南4-3-41

所在地・電話番号などは変わる場合がありますので、その節はご容赦願います。(000701)

仕様

項目		内容			
名称		デジタル複合機 AR-F161／AR-F201			
形式		卓上式			
原稿台方式		固定式			
感光体種類		OPC			
複写方式		レーザー静電方式			
解像度		読み込み：400dpi　書き込み：600×600dpi			
階調性		読み込み：256階調　書き込み：2値			
現像方式		乾式現像			
定着方式		ヒートローラー			
複写原稿		シート物、ブック物　最大原稿サイズ：A3			
複写用紙		普通紙および特殊紙、官製ハガキ			
複写サイズ		最大：A3　最小：A6（ただし、B6、A6は手差し給紙、A5は1段目のトレイと手差し給紙） 欠け幅：先端4mm以内、後端4mm以内、両側最大約4mm			
注ウォームアップ・タイム		約35秒			
注ファーストコピー・タイム		7.2秒			
連続複写速度	（AR-F161）		等倍時	縮小時（50%）	拡大時（200%）
		A3	9枚/分	9枚/分	9枚/分
		B4	10枚/分	10枚/分	10枚/分
		A4（横送り）	16枚/分	14枚/分	16枚/分
		A4（縦送り）	12枚/分	12枚/分	12枚/分
		B5（横送り）	16枚/分	16枚/分	16枚/分
		B5（縦送り）	14枚/分	14枚/分	14枚/分
	（AR-F201）		等倍時	縮小時（50%）	拡大時（200%）
		A3	11枚/分	11枚/分	11枚/分
		B4	12枚/分	12枚/分	12枚/分
		A4（横送り）	20枚/分	20枚/分	20枚/分
		A4（縦送り）	14枚/分	14枚/分	14枚/分
		B5（横送り）	20枚/分	20枚/分	20枚/分
		B5（縦送り）	16枚/分	16枚/分	16枚/分
複写倍率		0.50～2.00の範囲で0.01倍ごとに151段階の任意倍率 および 1：1±1%/1：1.150/1：1.220/1：1.410/ 1：2.000/1：0.860/1：0.810/1：0.700/1：0.500の固定倍率			
給紙方式		自動給紙（250枚）および手差し給紙（100枚）			
連続複写		1～99枚（減算式）			
電源		AC100V、15A、50Hz / 60Hz共用			
最大消費電力		1.3kW			
大きさ		幅590mm×奥行531mm×高さ650mm			
質量		AR-F161：約41kg　AR-F201：約41kg （トナーカートリッジを含む）			
機械占有寸法		幅590mm×奥行531mm（手差しトレイ収納時）			
使用環境		温度：15℃～30℃　湿度：20%～85%			

注：使用環境あるいは電圧状況により変動することがあります。

■原稿自動送り装置

原稿給紙方法	連続自動送り
原稿排紙方法	下向排紙
原稿搬送方式	シートスルータイプ（センター基準）
原稿セット方向	原稿面を上向きにセット
原稿サイズ	A3〜A5
原稿質量（厚さ）	56g/m^2〜90g/m^2
原稿セット枚数	最大30枚 かつ下記の総厚み範囲内 56g/m^2〜90g/m^2 ： 厚さ4mm以下
機能	原稿サイズ検知機能（A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5※、A5R※のみ） ※ファクスモード使用時のみ
電源	本体より供給
大きさ	幅583mm×奥行435mm×高さ131mm

※この製品は、付属品も含め、改良のために予告なく変更することがあります。

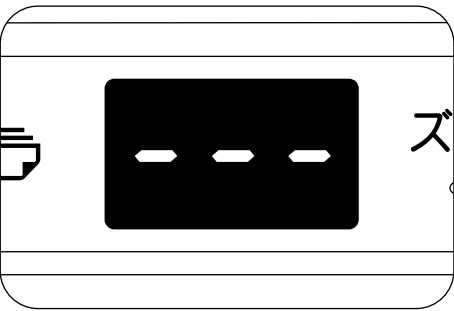
■付属品

・取扱説明書　　3部（コピー機能編・ファクス機能編・マルチアクセス編）

部門カウンターの設定

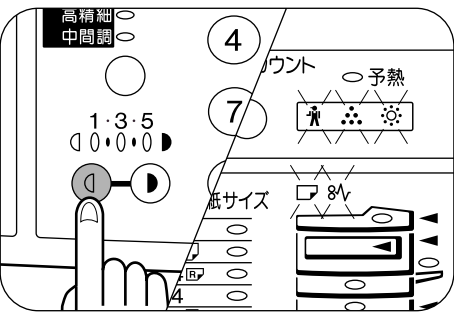
部門カウンターについて

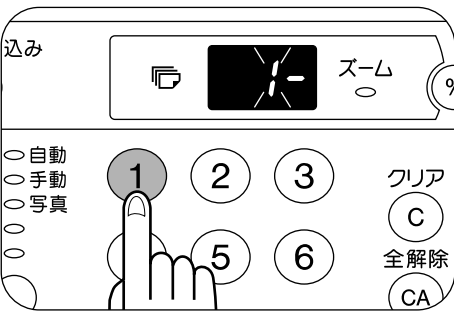
この機能は本機の管理者の方が設定してください。

部門カウンターを設定すると部門（最大20部門）ごとにコピー使用枚数をカウントさせることができ、必要なときにカウント枚数を表示させて集計が行えます。
部門カウンターが設定されている状態では、コピー枚数表示部が「－－－」表示になり、この表示のときには、コピーする前に部門ごとに登録した部門番号（3ケタの暗証番号）を入力しないとコピーできないようになるしくみです。

この機能を設定するにあたり、管理者の方は必ず次のことを行ってください。

・本機を使用する各部門用の部門番号（暗証番号）の登録
・各部門のコピー使用者への登録した部門番号の連絡と部門カウンターが設定されている状態でのコピーのとりかたについての説明（17ページの「部門カウンターが設定されている場合でのコピーのとりかた」をお読みのうえ、ご説明ください。）

部門カウンターの設定をするには

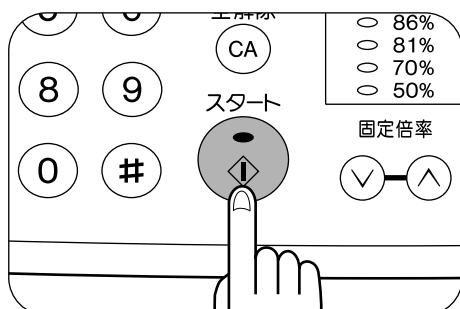
部門カウンターの設定手順の操作の流れはユーザープログラム（☞ 42ページ）の設定手順と基本的に同様です。

1 **濃度調整キー◑を約5秒間押し続けて設定を開始する**

「 」「 」「 」「 」「 」の表示ランプがいっせいに点滅するとともにコピー枚数表示部が「　－－」表示になり十の位が点滅します。

2 **数字キーで設定する「機能コード」を選択する**

次の機能コードを参照して設定してください。

機　能　名	機能コード	機　能　名	機能コード
部門カウンターの設定／解除	10	コピー枚数の表示（集計）	14
部門番号の登録	11	コピー枚数の消去（集計消去）	15
部門番号の変更	12		
部門番号の消去	13		

コピー枚数表示部の百と十の位に、押したキーの数字が点滅します。

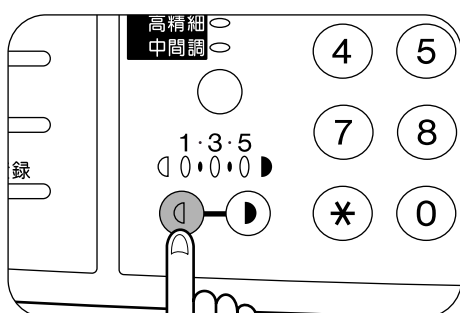
取消 **キーを押し間違えたときには…**
クリアキーⓒを押したあと、正しい数字キーを押しなおしてください。

3 スタートキーを押す

選択した「機能コード」が点滅から点灯に変わります。
また、一の位に現在設定されている設定コードの数字が点滅します。

> **取消** **一の位に「E」（エラーコード）（☞90、91ページ）が点灯している場合は…**
> クリアキー(c)を押してください。88ページの手順2の段階へ戻れます。

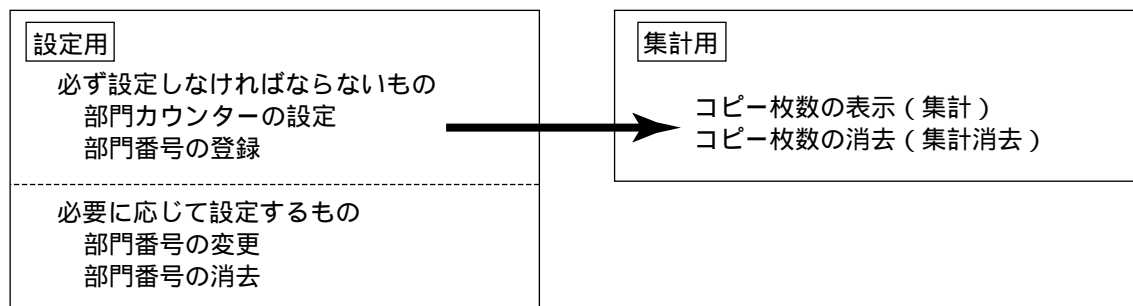
4 次ページよりの説明に従って部門カウンターの各設定を行う

部門カウンターの設定内容

機　能　名	設　定　内　容
部門カウンターの設定／解除	部門カウンターの設定または解除をします。工場出荷時は解除の状態になっています。
部門番号の登録	部門番号の登録をします。 最大20部門まで登録することができます。
部門番号の変更	登録した部門番号の変更をします。
部門番号の消去	登録した部門番号の消去をします。 １部門ずつまたは全部門まとめて消去することができます。
コピー枚数の表示（集計）	各部門のコピー枚数を表示します。 カウント枚数は49,999枚まででき、それ以降はまた0から再カウントされます。
コピー枚数の消去（集計消去）	カウントしたコピー枚数の消去をします。 １部門ずつまたは全部門まとめて消去することができます。

5 濃度調整キー(◐)を押して、設定操作を終了する

「 」「 」「 」「 」「 」の表示ランプが消灯します。
コピー枚数表示部は、通常の枚数表示に戻ります。

各種設定内容

部門カウンターの設定は、次のように設定用と集計用のものに分けられます。

部門カウンターをはたらかせ、コピー枚数の集計を行うためには、はじめに設定用の“部門カウンターの設定”と“部門番号の登録”を設定しておく必要があります。

部門カウンターの設定／解除（機能コード10）

部門カウンターの設定または解除をします。設定するとコピー枚数表示部が「ーーー」の点灯表示になります。
この状態では、3桁の部門番号を入力しないと本機は使用できません。
機能コード「10」を入力したあと、数字キーを使って部門カウンターを設定するか、解除するかを設定します。

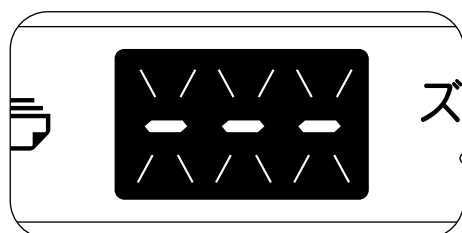
1 **部門カウンターを設定するときは“1”、解除するときは“0”キーを押して、スタートキーを押す**

メモ この設定をしたあと、“部門番号の登録”を使って、各部門の部門番号を登録してください。
（最大20部門の登録ができます。）

2 **クリアキーⓒを押す**

部門番号の登録（機能コード11）

部門番号を登録します。
機能コード「11」を入力すると、コピー枚数表示部が「ーーー」の点滅表示になります。

- 登録部門番号がすでに20部門に達していたり、入力中に達すると「11E」のエラーコードが表示されます。

1 **数字キーを使って、3桁の数字（「000」を除く）を入力し、スタートキーを押す**

- すでに登録されている番号や「000」が入力されると入力した番号が点滅します。この場合は、他の番号を入力してください。
- 他の部門番号を登録したい場合は、引き続き同様の操作（手順1）で行ってください。

2 **登録が終わったらクリアキーⓒを押す**

- 登録する部門番号とそれぞれの部門名は必ず記録しておいてください。（部門名は登録できないので、記録しておかないと集計の際どの部門かわからなくなります。）

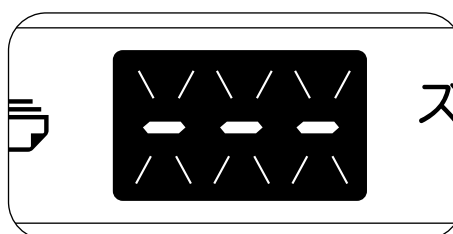
部門番号	部門名	部門番号	部門名

部門番号の変更（機能コード12）

部門番号を変更します。
機能コード「12」を入力したあと、変更する部門番号の選択をします。

- 部門番号が全く登録されていない場合は「12E」のエラーコードが表示されます。

1 **%キーで部門番号を選択し、スタートキーを押す**

コピー枚数表示部が「ーーー」の点滅表示になります。

2 **数字キーを使って、新しい部門番号（「000」を除く3ケタの数字）を入力し、スタートキーを押す**

- すでに登録されている番号や「000」が入力されると、入力された番号が点滅表示になります。この場合は、他の番号を入力してください。
- 他の部門番号を変更したい場合は、引き続き同様の操作（手順１～２）で行ってください。

3 **変更が終わったらクリアキーⓒを押す**

部門番号の消去（機能コード１３）

部門番号の消去をします。
機能コード「13」を入力したあと、全部門まとめて消去するか、または特定部門だけ消去するかを選択します。

- 部門番号が全く登録されていない場合は「13E」のエラーコードが表示されます。

全部門を一度に消去する方法

1 **“１”キーを押す**

2 **スタートキーを押す**

特定部門を消去する方法

1 **“０”キーを押す**

2 **%キーで消去する部門番号を選択する**

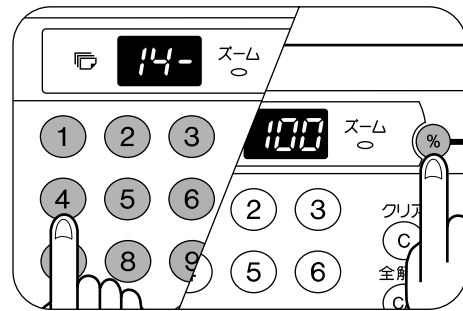
3 **スタートキーを押す**

- 他の部門番号を消去したい場合は、88ページ手順２から繰り返します。

コピー枚数の表示（集計）（機能コード１４）

各部門のコピー枚数を表示します。
機能コード「14」を入力したあと、合計コピー枚数を表示させる部門番号の選択をします。

- 部門番号が全く登録されていない場合は「14E」のエラーコードが表示されます。

1 **%キーで部門番号を選択する**

2 **“０”キーを押し続けると、コピー枚数が表示される**

- コピー枚数は２回に分けて表示されます。
  例：12,345枚の場合
  -12 ⇨ 345
- 他の部門のコピー枚数を表示させたいときは引き続き同様の操作（手順１～２）で行ってください。

3 **必要な部門の表示が終わったらクリアキーⓒを押す**

コピー枚数の消去（集計消去）（機能コード１５）

各部門のコピー枚数を消去します。
機能コード「15」を入力したあと、全部門まとめて消去するか、または特定部門だけ消去するかを選択します。

- 部門番号が全く登録されていない場合は「15E」のエラーコードが表示されます。

全部門の集計を一度に消去する方法

1 **“１”キーを押す**

2 **スタートキーを押す**

特定部門の集計を消去する方法

1 **“０”キーを押す**

2 **%キーで消去する部門番号を選択する**

3 **スタートキーを押す**

- 他の部門番号を消去したい場合は、88ページ手順２から繰り返します。

索引

■あ

■か

■さ

■た

■な

■は

■ま

■や

■ら

■わ